

〔第5章〕 学生の受け入れ

1. 現状の説明

（1）学生の受け入れ方針を明示しているか。

〔1〕 大学全体

学生の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）については、東海大学ガイドブック（E-1）に、それぞれ記載されている。また、学部の入学試験要項（E-2～15）にも『東海大学は、「建学の精神」に基づき、専門だけにとらわれることなく幅広い視野をもち、自ら考えることで未来を切り拓く多様な人材の育成を目指しています。東海大学はこのことに共鳴し自ら学ぶ意欲をもった人を求めています。』と記載している。大学院の場合は、研究科ごとに大学院ガイド（E-16）にアドミッション・ポリシーを記載している（各研究科ごとに報告する）。本学オフィシャルサイト アドミッション・ポリシー（E-17）において学部・研究科毎にアドミッション・ポリシーを掲載し、広く周知を図っている。なお、専門職大学院は 2015 年度、国際地域学研究科・理工学研究科は 2016 年度より学生募集を取りやめたため、前者は 2014 年度より、後者の 2 研究科は 2015 年度より学生募集活動を行っていない。そのため、この 3 研究科については、研究科個別の報告書は作成しない。

出願資格は、各種「入学試験要項」（E-2～15、E-18～23）において設定し、各学部・研究科の期待する知識の内容及び水準についても明示している。また、本学オフィシャルサイト（E-24）においても同様に掲載しており、近年導入したインターネット出願での受験生にも対応している。

障がいを持つ学生については、取組みの基本方針として、

1. 本学の全ての教職員及び学生は、障がいを理由とする修学上の差別の解消に取り組むとともに、障がい学生が、障がいのない学生と平等に教育研究、課外活動等に参加できるよう機会の確保に努めます。
2. 本学は、共生社会の形成に向けて、障がいの有無にかかわらず、全ての教職員及び学生が、相互理解と尊重の精神を培うための教育環境の整備に努めます。
3. 本学は、障がいの有無にかかわらず、すべての学生が、社会で活躍できる人材に成長できるよう支援に努めます。

の 3 つの方針を掲げている。（E-25）

本学では上記の方針のもと障がい者を受け入れ、2016 年 5 月 1 日現在で大学全体で 340 名の学生（うち 2016 年度の入学生は 57 名）を受け入れている。（E-26）

受験及び修学上特別の配慮を必要とする場合は、各種「入学試験要項」（E-2～15、E-18～23 出願手続）にて、出願前に申し出るように注意喚起を行っている。申し出のあった受験生については、文書にて本人の希望と本学の配慮内容のすり合わせを行い、配慮内容について合意の上で出願を認めている。

以下、学部・研究科単位で現状について記述するが、学部、研究科の現状の活動が、全体報告書で記述されている場合は、重複を避けるために個別では記述しない。

〔2-1〕文学部

学生の受入れ方針（アドミSSION・ポリシー）は、大学全体の方針に基づき、文学部については「東海大学 TOKAI UNIVERSITY GUIDE BOOK 2016（大学案内）」（5-2-1-1 p.87）、各学科・専攻については「学科案内」（5-2-1-2）に記載されている。また、東海大学オフィシャルサイトに文学部及び各学科・専攻ごとにアドミSSION・ポリシー（5-2-1-3）を掲載し、広く周知している。

各学科・専攻への入学に際して修得しておくべき知識等の内容・水準については、各種「入学試験要項」（5-2-1-4）及び東海大学オフィシャルサイト（5-2-1-5）において出願資格と併せて明示している。

障がいを持っている学生については、本学の3つの基本方針に沿って対応している。

〔2-2〕政治経済学部

政治経済学部における学生の受入れ方針（アドミSSION・ポリシー）については、「大学案内」（5-2-2-1 p.107）に記載しており、政治経済学部を構成する政治、経済、経営の各学科については、「学科案内」に記載している（5-2-2-2～4）。また、本学オフィシャルサイトにおいても学部、学科それぞれについて掲載し、周知を図っている（5-2-2-5）。

政治経済学部及び各学科のアドミSSION・ポリシーは以下の通りである。

（政治経済学部）政治経済学部では、本学部の教育目標「我が国及び国際社会の一層の発展と向上に寄与しうる『冷静な頭脳と温かい心』」に立脚した『社会力』を持つ人材の養成」に共鳴し、自ら学ぶ意欲を持った人を求めます。

（政治学科）政治学科では、本学科の教育目標「政治、地方行政、国際政治についての幅広い知識を持ち、様々な現代の政治課題を多面的に検討して政策提言できる人材を養成すること」に共鳴し、自ら学ぶ意欲を持った人を求めます。

（経済学科）経済学科では、本学科の教育目標「経済現象を理論的に解明し、経済現象に関する資料を分析し、経済問題に関して政策提言できる人材を養成すること」に共鳴し、自ら学ぶ意欲を持った人を求めます。

（経営学科）経営学科では、本学科の教育目標「経営理論と実践的能力を身につけ、これを実社会で十分生かしていけるような能力を備えた人材を養成すること」に共鳴し、自ら学ぶ意欲を持った人を求めます。

各学科に入学するにあたって修得しておくべき知識等の内容・水準について、学部としては明示していない。

障がいのある学生の受入れ方針については全学的に対応しており、政治経済学部もそれに沿って受け入れている。

〔2-3〕法学部

法学部の学生受入方針は、大学案内（5-2-3-1 p.113）、学部、学科案内 法学部法律学科（5-2-3-2 p.2）のほか、本学ウェブサイトに掲載され（5-2-3-3）に以下のとおり明示されている。

「法学部では次のように教育目標を定めています。

第5章 学生の受け入れ

法学的な素養と能力を生かして自分自身の人間的な成長と発展を遂げるとともに、その活動を通して自分が所属する団体・企業、地域社会の発展、ひいては日本及び国際社会の発展に寄与しうる人材を育成することを目標とします。具体的には、法学的素養及びリーガルマインドに基づいた提案や問題の処理ができる人材及び、人間の尊厳と人権の尊重を基調とする現代の社会で責任をもって活動できる自立した人材の育成です。

この教育目標を理解し、その目標を達成するために自ら学ぶ意欲を持った人を求めます。」

入学試験要項で出願資格として「1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び2017年3月卒業見込みの者」等を列挙している。また、入学試験要項で試験の種別ごとに試験科目を指定している——例えば一般入学試験（A方式）であれば英語（コミュニケーション英語ⅠⅡⅢ、英語表現ⅠⅡ）、国語（国語総合。古文漢文を除く）、選択科目（数学Ⅰ・Ⅱ・A、日本史B、世界史B、政治・経済から1科目）。これにより入学するにあたり修得しておくべき知識等の内容・水準が示されている。さらに、入試に当たり、身体機能等に障がいがある志願者への特別配慮が行われている。ただし、これらのことを超える、学部としての“入学するに当たって修得しておくべき知識”、“障がいのある学生の受け入れ方針”は、明示されていない。

〔2-4〕教養学部

学生の受け入れ方針は、大学全体の方針の下に、学部のアドミッション・ポリシーを「本学部の教育目標である「広い視野で総合的な判断力を有する均衡の取れた文理融合型の人材育成」に共鳴し、自ら学ぶ意欲を持った人材を求めます」として、「東海大学オフィシャルサイト」（5-2-4-1 アドミッション・ポリシー）で明示・公開している。また、各学科・課程のアドミッション・ポリシーについても同様に明示・公開している。

なお、入学するにあたり修得しておくべき知識等の内容・水準については、各種「入学試験要項」（5-2-4-2）において出願資格と共に明示している。また、障がいのある学生についても、各種「入学試験要項」（5-2-4-2）において「受験及び修学上特別の配慮を必要とする志願者は、受験方法等について事前に問い合わせ」を行うよう記載しているが、受け入れ方針については明示していない。

〔2-5〕体育学部

体育学部における学生の受け入れ方針（アドミッションポリシー）は、「大学案内」（5-2-5-1 p.125）、本学オフィシャルサイト（5-2-5-2）に、「体育・スポーツ科学の学修を通じて、それらに関する知識・技能・態度を修得すると同時に心身を錬磨し、これらの英知を生かして柔軟な思考力と国際性豊かな視野、さらには総合的判断能力を有する人間を育成すると共に、体育・スポーツ科学の専門家として、指導的・実践的な役割を果たし、平和で健康的な世界の創造に貢献する事のできる人間を育成します。この教育目標を理解し、その目標を達成するために自ら学ぶ意欲を持った人を求めます。」と記載している。この学生の受け入れ方針については、本学オフィシャルサイトで、広く周知を図っている。

「入学試験要項」において、本学部の出願資格を設定し、期待する知識及び身体能力の内容や水準について明示している（5-2-5-3～8）。また、本学オフィシャルサイト（5-2-5-9）にも同様

第5章 学生の受け入れ

に掲載しているため、インターネット出願での受験生にも対応している。

障がいをもつ学生については、出願前の申し出に応じ、配慮内容等を吟味し、合意の上で出願を認めている。

〔2-6〕 理学部

理学部及び各学科（数学科、情報数理学科、物理学科、化学科）の学生の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）は、それぞれ以下のように明示されている（5-2-6-1～6）。

【理学部】

「理学部は、教育理念に挙げた社会のニーズや学生の希望を取り入れ、建学の精神及びそれらを具現化した4つの力「自ら考える力」「集い力」「挑み力」「成し遂げ力」を踏まえ、理学部独自の内容を教育に生かした指導を行います。理学部の教育は、「専門性に対応できる基礎力」「総合的な判断力」「協力し合って問題に対処できる能力」を持つ人材を養成することを目指しています。この教育目標を理解し、その目標を達成するために自ら学ぶ意欲を持った人を求めます。」

【数学科】

「現代数学の研究成果は、数学そのものの内容を豊かにするとともに計算機数学・理工学・経済学等における強力な研究道具になっています。数学科では、このような現代数学の基礎を教授し、論理的・抽象的思考力、図形的・直感的発想力、高度で正確な計算力という数学の専門性に対応できる基礎力を育成します。演習科目・卒業研究によって、総合的な判断力と協力し合って問題に対応する能力を育成します。また、社会で活躍する市民に必要な幅広い教養を育成します。この教育目標を理解し、その目標を達成するために自ら学ぶ意欲を持った人を求めます。」

【情報数理学科】

「現代は、コンピュータの発達とインターネットの普及が原動力となり、情報化が急速に進んだ高度情報化社会と言われています。このような社会にあって、代数学、幾何学、解析学といった伝統的数学から確率論・統計学、数理論理学、離散数学といった現代数学を理解し、情報処理・情報科学の知識に基づく広い視野を持ち、「数理的センス」と「コンピュータサイエンスの力」を身に付け、さまざまな側面から高度情報化社会に貢献できる実践的な人材を育成することを目指しています。

この教育目標を理解し、その目標を達成するために自ら学ぶ意欲を持った人を求めます。」

【物理学科】

「物理学科では、あらゆる物質、素粒子、宇宙、生命の謎に挑み、現象を支配する法則の解明のため、実験と理論の両面から学問を深めます。現代物理の幅広い領域にわたる教育・研究を通して、科学技術の基礎を担い、社会の発展に貢献できる人材の養成を目指しています。このため、「物理学への知的探究心を持つ」、「物事の本質を知る習慣と能力を身に付ける」、「自ら考える力を養う」人材を養成することが物理学科の教育目標です。

この教育目標を理解し、その目標を達成するために自ら学ぶ意欲を持った人を求めます。」

【化学科】

「化学の基礎から専門までを学び研究することを通して自然を理解し、自然との調和を知るとともに、自ら問題点を提起できる豊かな創造力と思考力を持ち、かつ学問や研究の対象が自然科学

第5章 学生の受け入れ

の範囲にとどまることなく、広い視野と豊かな人間性を備えた人材を育成することです。そのため4年間で、「知識を応用する力」、「問題を解決する力」、「社会で協調して生きる力」を身に付けてもらいます。

この教育目標を理解し、その目標を達成するために自ら学ぶ意欲を持った人を求めます。」

〔2-7〕情報理工学部

本学部の学生の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）である『確かな歴史観、倫理観、人生観を構築し、豊かな世界観、思想観を身に付けて総合的な判断力を発揮できる人材を育成します。さらに、情報理工学分野の基礎知識を有し、グローバルな視点を持って次世代情報技術の創成に貢献できる国際的な人材を育成することを目標としています。』

この教育目標を理解し、その目標を達成するために自ら学ぶ意欲を持った人を求めます。』は、「大学案内」（5-2-7-1 p. 139）、本学オフィシャルサイト（5-2-7-2）に記載している。また、本学部の学生の受け入れ方針については、本学オフィシャルサイトで学部学科毎に掲載し、広く周知を図っている。

「入学試験要項」において、出願資格を設定し各学部・学科の期待する知識の内容及び水準について明示している（5-2-7-3～8）。また、本学オフィシャルサイト（5-2-7-9）においても同様に掲載しており、近年導入したインターネット出願での受験生にも対応している。

〔2-8〕工学部

工学部の学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）については、「東海大学 TOKAI UNIVERSITY GUIDE BOOK 2016（大学案内）」（5-2-8-1 pp. 142-157）ならびに各種「入学試験要項」（5-2-8-2～9）、受験生向けの「学科案内（工学部各学科専攻）」（5-2-8-10～23）に明確に記載している。また、広報・周知を企図して本学オフィシャルサイトにも入試情報（5-2-8-24）を掲載している。なお、「入学試験要項」において出願資格を設定し、工学部各学科専攻が期待する知識の内容及び水準について明示すると共に、本学オフィシャルサイトにも同様に掲載している。さらに、インターネット経由で出願する受験生にも対応している。

〔2-9〕観光学部

本学オフィシャルサイトにおいて本学部も学生の受け入れ方針を掲載（5-2-9-1）するとともに、大学ポートレート（5-2-9-2）にも掲載しており、広報の機会を確保している。その内容は、『観光学部・観光学科では、本学部・学科の教育目標「現代の文化・社会・自然の多様性に関する知識と理解、問題発見解決力・創造力を始めとする汎用的な能力と技能、協調性を保ちつつ独自性を発揮できる自己管理力等、学士の学位をもって社会で生きる基礎的な力を有し、観光・サービス産業に広く貢献しうる独創的人材を育成する」に共鳴し、自ら学ぶ意欲をもった人を求める』というものである（5-2-9-3 p. 103）。

また、上記のような学生の受け入れ方針について共鳴する者に対しては、次のような対応を行っている。すなわち、「入学試験要項」（5-2-9-4 2016 年度東海大学入試要項 一般入学試験・センター試験利用入学試験 p. 4）において、出願資格を設定し本学部の期待する知識の内容及び水

第5章 学生の受け入れ

準について明示している。また、留学生については、本学のオフィシャルサイトの英語サイトに学生の受け入れ方針を掲出している（5-2-9-5）。このように、学生の受け入れ方針を明示・公表するのみでなく、学生の受け入れ方針に賛同するあらゆる入学希望者に対して、差別のない受け入れ姿勢を示している。

〔2-10〕情報通信学部

本学部の学生受入れ方針（アドミッション・ポリシー）は、「大学案内」（5-2-10-1 p.81）、本学オフィシャルサイト（5-2-10-2）に『本学部では、知育に偏らず心身ともに健康で高度情報化社会の発展と創造に寄与できる人材を育成します。すなわち、本学部では、情報通信に関する基礎知識と基礎技術を身に付け、さらに、それらを社会で十分に応用できる柔軟な思考能力を備え、幅広い知識、国際性豊かな視野、英語コミュニケーション能力を有すると共に、情報通信技術者としての高度な使命感、倫理観を身に付けた人材の養成を図ります。この教育目標を理解し、その目標を達成するために自ら学ぶ意欲を持った人を求めます。』と記載している。

各学科の学生受け入れ方針は「学科案内」（5-2-10-3～6）に記載している。本学部の学生受入れ方針は本学オフィシャルサイト（5-2-10-2）に掲載し、広く周知を図っている。

各種「入学試験要項」（5-2-10-7～11）において、出願資格を設定し本学部の期待する知識の内容及び水準について明示している。これらは本学オフィシャルサイト（5-2-10-12）にも掲載している。

障がいを持つ学生の受け入れについては、大学全体の方針「東海大学の障がい学生支援に関する取り決めについて」（5-2-10-13）に則って対応している。「入学試験要項」にて、受験及び修学上特別の配慮を必要とする場合は出願前に申し出るよう注意喚起している。申し出のあった場合は、学生本人の希望と本学部の配慮内容のすり合わせを行った上で、出願を認めている。

〔2-11〕海洋学部

学生の受け入れ方針については、大学案内（5-2-11-1 p.167）に以下のように明示している。『海洋学部では、本学部の教育目標『「地球と人類の抱える諸問題に対する海洋を通した深い理解」、「学際的知識と専門知識や技術の複眼的活用力」、「具体的な問題の解決策を導き出せる、発想力と創造力」をもち、人間・社会・環境の相互影響を正しく理解し、高い倫理と責任感をもって調和のとれた持続可能な文明社会の実現に貢献できる人間性豊かな人材の育成』に共鳴し、自ら学ぶ意欲を持った人を求めます。』

また、学部案内（5-2-11-2 p.3、）にも記載されており、本学オフィシャルサイト 学科紹介（5-2-11-3）及び本学オフィシャルサイト アドミッション・ポリシー（5-2-11-4）で各学部・学科ごとに掲載している。

各種「入学試験要項」（5-2-11-5、6）において、出願資格を設定し本学部の期待する知識の内容及び水準について明示している。これらは本学オフィシャルサイト（5-2-11-7）にも掲載している。

障がいを持つ学生については、各種「入学試験要項」にて、受験及び修学上特別の配慮を必要とする場合は出願前に申し出るよう注意喚起している。申し出のあった場合は、学生本人の希望

第5章 学生の受け入れ

と本学部の配慮内容のすり合わせを行った上で、出願を認めている。

〔2-12〕医学部

東海大学ホームページ（5-2-12-1）及び医学部パンフレット（5-2-12-2 p.2）に、医学部のアドミッション・ポリシーを掲載し、求める人材像を明示している。

医学部では、学生の受け入れ方針を「医学部では次のように教育目標を定めています。

医学部の卒業時学習目標及び成果は、次の6領域を設定します。

- ①豊かな人間性：温かで柔軟な包容力を持ち、それを表現できる
- ②社会的役割の認識：医師の社会的役割を認識し、生涯実践できる
- ③論理的・創造的思考力：科学的問題を発見し、論理的に分析することができる
- ④応用可能な医学的知識：正常な構造・機能や病態を理解し、病気の診断・治療のための知識を有し応用できる
- ⑤総合的医療実践技能：患者個人を尊重し、診断・治療につながる臨床能力を持ち実践できる
- ⑥グローバルな視点：自分の置かれた環境にグローバルな視点から柔軟に対応できる

この教育目標を理解し、その目標を達成するために自ら学ぶ意欲を持った人を求めます。」と明示している。

これらは、本学オフィシャルサイト（5-2-12-1）及び医学部パンフレット（5-2-12-2 p.2）に掲載し、広く周知を図っている。医学部入学にあたり、修得しておくべき知識等の内容、水準は特に明示していない。また、障がいのある学生の受け入れについても明示していない状況である。

〔2-13〕健康科学部

健康科学部の学生の受け入れ方針は、「健康科学」が対象とするのは、「人間」とくに「人の心」です。温かい人間性と謙虚さ、幅広い教養をもとにしたコミュニケーション力を育成し、保健・医療・福祉の専門職として、人権擁護を基盤としたヒューマンケアが実践できる能力の育成をします。多職種間の連携をはかり、チームの一員として活躍できる力をつけ、自ら学び、国内外で活躍し得る人材の育成を目指します。この教育目標を理解し、その目標を達成するために自ら学ぶ意欲を持った人を求めます。」である。大学オフィシャルサイト（5-2-13-1）で公開され、学科パンフレット（5-2-13-2 p.2、5-2-13-3 p.2）にも同様に掲載し、広く周知をはかっている。またオープンキャンパスにおいて、学部の育成する人材像や学生の受け入れ方針を説明している。

各種「入学試験要項」（5-2-13-4～10）において、出願資格を設定し、本学部の期待する知識の内容及び水準について明示している。これらは、大学オフィシャルサイトにも掲載している（5-2-13-11）。

障がいを持つ学生に対しては、「入学試験要項」にて、受験及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、出願前に申し出るように記載されている。申し出があった場合は、学科主任と入学課で検討し、配慮内容を学生本人の希望とすり合わせをし、出願を認めている。

〔2-14〕経営学部

学部・学科の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）（5-2-14-1）は、本学オフィシ

第5章 学生の受け入れ

ャルサイト上の理念・憲章において次のように明示している。

経営学部については、「経営学部では、「理論と実践の融合」を重視しており、企業経営における基礎理論と実践的応用の両面を学ぶことで、企業経営の実践的センスと時代の変化にあわせて的確に対応できる柔軟な思考力を身につけます。それをもって、グローバル社会における海外戦略の展開を見すえた上で、地域の産業活性化（特に農業ビジネス、スポーツビジネス、観光ビジネス分野）に寄与する人材を育成することを、教育目標としています。

この教育目標を理解し、その目標を達成するために自ら学ぶ意欲を持った人を求めます。」に適う人を求めている。

経営学科については、「本学の掲げる建学の精神、教育理念及び学科コンセプトである経営における「理論と実践の融合」に共鳴し、自ら学ぶ意欲を持って、ビジネスの世界で活躍できる経営センスを持った人材」を求めている。

観光ビジネス学科においても同様に「観光の経営学の知識と技能を身につけ、観光による地域づくりを実践的に学び、国内外の旅行者を受け入れるために必要なホスピタリティを英語・中国語・韓国語の語学と共に修得する」ことを目指す人材を求めている。

入学するにあたり、修得しておくべき知識等の内容・水準は、入試要項等にて明示している（5-2-14-2）。

〔2-15〕基盤工学部

学生の受入れ方針（アドミッション・ポリシー）については大学案内（5-2-15-1 p.181）、学部ガイド（5-2-15-2 p.1）、本学オフィシャルサイト（5-2-15-3）に明示されている。

『基盤工学部の専門分野は、グリーンエネルギー、次世代ロボット、情報工学、植物生産工学、臨床工学及び医療情報の分野であり、次世代で重視される安全・安心を確立するエネルギー・ロボット・食品・医療・福祉の分野に欠かせない基盤工学の技術を理解し、幅広い応用分野の中で、その分野の発展に寄与し、人類及び社会の発展に貢献する実践力を持った技術者を育成することを教育の目標としています。

この教育目標を理解し、その目標を達成するために自ら学ぶ意欲を持った人を求めます。』

本学オフィシャルサイトにおいては学部毎に掲載し、広く周知を図っている。

「入学試験要項」において出願資格を設定し、学部の期待する知識の内容及び水準について明示している（5-2-15-4～11）。

障がいのある学生については、受験及び修学上特別の配慮を必要とする場合は、「入学試験要項」（5-2-15-4～11）にて、出願前に申し出るように注意喚起を行っている。申し出のあった学生については、文書にて本人の希望と本学の配慮内容のすり合わせを行い、配慮内容について合意の上で出願を認めている。

〔2-16〕農学部

学生の受入方針としての求める学生像及び当該課程に入学するにあたり習得しておくべき内容等は、大学案内（5-2-16-1 p.185）、学部パンフレット（5-2-16-2 p.1）、大学オフィシャルサイト（5-2-16-3）、等複数の媒体上で明示している。

第5章 学生の受け入れ

『農学部では、本学部の教育目標「最先端の科学技術分野を取り込みながら、実験・実習を通じて実学を尊重し、「食の重要性」と「生命の尊さ」をよく理解する人材を養成する」に共鳴し、自ら学ぶ意欲をもった人を求めます。』

修得しておくべき知識等の内容・水準は入試要項（5-2-16-4）、東海大学オフィシャルサイト（5-2-16-5）に明示している。

また、障がいのある学生については、受験及び修学上特別の配慮を必要とする場合、「入学試験要項」（5-2-16-4）にて、出願前に申し出るように記載している。申し出のあった学生については、文書にて本人の希望と本学の配慮内容のすり合わせを行い、配慮内容について合意の上で出願を認めている。

〔2-17〕国際文化学部

本学部の学生の受入れ方針（アドミッション・ポリシー）については、「本学では、国籍や文化の差異を超克して良好かつ平和な人間関係を構築できる「国境なき社会人」の育成を教育目標としています。この教育目標を達成するためには、知識の蓄積ばかりでなく、コミュニケーション能力や主体性といった今日社会で求められている「行動特性（コンピテンシー）」を育成することが求められます。そのため、本学部では「座学からフィールドへ」というスローガンのもと、（海外）フィールドワークやインターンシップを単位化し、国境なき社会人としての行動力を育成します。

この教育目標を理解し、その目標を達成するために自ら学ぶ意欲を持った人を求めます。」と定めている。この教育目標を達成するためには、知識の蓄積ばかりでなく、コミュニケーション能力や主体性といった今日社会で求められている「行動特性（コンピテンシー）」を育成することが求められるため、「座学からフィールドへ」というスローガンのもと、（海外）フィールドワークやインターンシップを単位化し、国境なき社会人としての行動力を育成する。」このアドミッション・ポリシーは、本学オフィシャルサイト、において掲載し、広く周知を図っている（5-2-17-1, 5-2-17-2 地域創造学科、国際コミュニケーション学科、デザイン文化学科）。

また、障がいを持つ学生については、受験及び修学上特別の配慮を必要とする場合は、大学が出願前に申し出るように注意喚起を行っている。申し出のあった受験生については、文書にて本人の希望と本学の配慮内容のすり合わせを行い、本人と本学（部）が配慮内容について合意の上で出願を認めている。

〔2-18〕生物学部

学生の受入れ方針（アドミッション・ポリシー）については、「大学案内」（5-2-18-1 p.77）、「入学試験要項」（5-2-18-2～9）に明示している。また、東海大学オフィシャルサイト（5-2-18-10）において各学科についても掲載し、広く周知を図っている。

『生物学部は、建学の精神に基づいて、人類が培ってきた文化・文明と自然・地球環境を一体とした視野を持ち、生物多様性の保全、生物資源の持続可能な利用を目指す行動型国際人の養成を目標とします。そのため、地球と人類の抱える諸問題に対して、陸上と海洋のフィールドにおける理解を深め、文理融合の学際的知識と化学物質から生態系に至る専門知識・技術を主体的・複

第5章 学生の受け入れ

眼的に活用して、自ら課題に取り組み解決する能力の育成を目指します。この教育目標を理解し、その目標を達成するために自ら学ぶ意欲を持った人を求めます。』

各学科・専攻への入学に際して修得しておくべき知識等の内容・水準については、各種「入学試験要項」(5-2-18-2~9) 及び東海大学オフィシャルサイト (5-2-18-11) において出願資格と併せて明示している。

障がいを持つ学生については、受験及び修上特別の配慮を必要とする場合は、「入学試験要項」(5-2-18-2~9) 中で、出願前に申し出るよう明示している。申し出のあった学生については、文書にて本人の希望と本学の配慮内容のすり合わせを行い、配慮内容について合意の上で出願を認めている。

〔3-2〕 総合理工学研究科

本学オフィシャルサイト上で、学生の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）を下記のように明示している(5-3-2-1)。

“本学の「建学の精神」と、以下に示す本研究科の教育理念・目標を理解し、自ら学ぶ意欲をもった者を国内外から広く受け入れます。

本研究科の教育理念・目標

「世界に向けて情報発信できる高度な研究能力を備え、国際的な広い視野と見識を合わせ持った人間味豊かなリーダーとして活躍し得る人材」の育成”

また、大学院入学試験要項を通して、出願資格を詳細に設定し、修士以上の学力・知識水準を要求していることを明示している(5-3-2-2~5)。また、本学オフィシャルサイト研究科のページには、所属教員の研究内容を一人1枚にまとめた英文和文併記のファイルを「研究事例紹介」として公開し、所属教員の研究内容がわかるようにしている(5-3-2-6)。

〔3-3〕 地球環境科学研究科

本研究科の学生の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）は、本学オフィシャルサイトに次のように明示している(5-3-2-1)。

“本学の「建学の精神」と、以下に示す本研究科の教育理念・目標を理解し、自ら学ぶ意欲をもった者を国内外から広く受け入れます。

本研究科の教育理念・目標

「幅広い視野に立った国際的、学際的かつ学融的な考究力と豊かな創造性を備え、21世紀の地球環境と人間社会に貢献できる研究者、高度専門職業人」の育成

また、大学院要項の地球環境科学研究科の項目にて目的及び人材像を明確にしている(5-3-3-2 p30)。また、東海大学大学院学則(5-3-3-3 第9章) 及び入学試験要項(5-3-3-4) にて受け入れ方針を明示している。また、HP上で公開している(5-3-3-5)。障がいのある学生については、現状で入学者がいないが、研究内容によっても異なるが、指導教員による指導が可能であれば受け入れる。

〔3-4〕 生物科学研究科

本研究科の学生の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）は、『本学の「建学の精神」と、以下に示す本研究科の教育理念・目標を理解し、自ら学ぶ意欲をもった者を国内外から広く受け入れます。本研究科の教育理念・目標：「国際感覚を有し、人類及び社会が今後遭遇し得る諸問題を発見する高い能力を持ち、その問題を生物科学的アプローチで倫理的かつ自律的に解決できる実践力と広い見識を持つ生物科学研究者・技術者」の育成』と定められており、この方針は、本学オフィシャルサイト アドミッション・ポリシー（5-3-4-1）や「東海大学大学院ガイド」（5-3-4-2 p. 8）において掲載し、明示している。

また各種の「大学院入学試験要項」（5-3-4-3～6）や「東海大学オフィシャルサイト 入試情報、入試概要、大学院入学試験」（5-3-4-7）において出願資格を設定し、本研究科の期待する知識の内容及び水準について明示している。

〔3-5〕 文学研究科

文学研究科では、学生の受け入れ方針を「東海大学大学院ガイド」（5-3-5-1）に専攻ごとに記載している。また本学オフィシャルサイトに文学研究科のアドミッション・ポリシー（5-3-5-2）を掲載し、広く周知を図っている。

入学に際し修得しておくべき知識等の内容・水準については、各種「入学試験要項」（5-3-5-3）に明示している。

障がいを持っている学生については、本学の3つの基本方針に沿って対応している。

〔3-6〕 政治学研究科

政治学研究科は、「知的生産の高い研究能力または高度の専門性を要する職業に必要な能力と、この能力に裏打ちされたリーダーシップを発揮しうる社会に有為な人材の養成」を研究科の教育理念・目標としたうえで、本学の「建学の精神」とこの教育理念・目標を理解し、自ら学ぶ意欲をもつ者を国内外から広く受け入れる、という学生の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）を定めている。アドミッション・ポリシーは、本学オフィシャルサイトをつうじて社会に広く周知されている（「東海大学オフィシャルサイト アドミッション・ポリシー」）（5-3-6-1）。また、この方針は「東海大学大学院ガイド」（5-3-6-2 p. 16）にも明示されている。

本研究科に入学するにあたり修得しておくべき知識の内容・水準については、各種「入学試験要項」（5-3-6-3～6）で出願資格を設定している。

障がいをもつ学生の受け入れについては、大学全体の方針たる「東海大学の障がい学生支援に関する取り組みについて」（5-3-6-7）に則って対応している。

〔3-7〕 経済学研究科

「経済学研究科は、本学の「建学の精神」と、以下に示す本研究科の教育理念・目標を理解し、自ら学ぶ意欲をもった者を国内外から広く受け入れます。

本研究科の教育理念・目標

経済・経営現象を究明できる多角的で学際的な知識・視野と科学的な情報収集技能と分析手法を

第5章 学生の受け入れ

身につけ、経済政策や経営判断の場においては客観的・的確な知見を生み出し、問題を発見してその解決を図る力を発揮し、その過程において積極的にリーダーシップをとって活躍する人材の育成」

これを入学受入れの方針(アドミッション・ポリシー)とし、本学オフィシャルサイト(5-3-7-1 アドミッション・ポリシー)に掲載することで、広く周知を図っている。

〔3-8〕法学研究科

法学研究科では学生の受入れ方針として「アドミッション・ポリシー」を定めて明示している。すなわち、「本学の『建学の精神』と、以下に示す本研究科の教育理念・目標を理解し、自ら学ぶ意欲をもった者を国内外から広く受け入れます」としたうえで、ここにいう「教育理念・目標」として、「『法学の高度な専門知識を生かして社会に貢献する人材及び豊かな学識を備えた法律専門家となる人材』の育成」を掲げている。この「アドミッション・ポリシー」は、東海大学オフィシャルサイト(5-3-8-1)及び「大学院ガイド」(5-3-8-2 p.18)で公表している。

入学するにあたり修得しておくべき知識等の内容・水準は、「入学試験要項」(5-3-8-3～6)において、各種の出願資格を設定することで示している。障がいのある学生等配慮の必要な者に関しては、「入学試験要項」(5-3-8-3～6)において、入試出願前に申し出ることを求め、申し出のある場合には、大学全体及び研究科として配慮が可能な範囲において出願を認めることになる。

〔3-9〕人間環境学研究科

学生の受入れ方針は、大学全体の方針の下に、「本学の『建学の精神』と、本研究科の教育理念・目標である「『人文・社会・自然科学の枠を超えた学際的な視野で人間の生き方を再考し、豊かさの本質を問い直すことができ、従来の固定観念にとらわれることなく人間環境を広い視野で考え、共生社会構築に向けて行動できる人材』の育成」を理解し、自ら学ぶ意欲をもった者を国内外から広く受け入れます」として、研究科のアドミッションポリシー(5-3-9-1)で明示・公開している。

なお、入学するにあたり、修得しておくべき知識等の内容・水準については、「大学院入学試験要項」(5-3-9-2)に出願資格として明示している。また、障がいのある学生の受入れ方針については大学全体の取組みの基本方針(5-3-9-3)に従っている。

〔3-10〕芸術学研究科

大学院要項と学生募集要項で明示している。

研究科全体の学生の受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)は、

『本学の『建学の精神』を理解した以下に示す者で、かつ自ら学ぶ意欲をもった者を国内外から広く受け入れます。

1. 音響芸術または造型芸術の分野で、学問と実技・実践の両面からの学びに意欲を有する者
2. 音響芸術または造型芸術における高度な専門性を支柱としつつ、横断的な思考ができる者』

第5章 学生の受け入れ

として本学オフィシャルサイトの「3つのポリシー」のページ(5-3-10-1)に、明示、公開している。各専攻についても「東海大学大学院ガイド」(5-3-10-2 p.20)に記載している。

また、各「入学試験要項」(5-3-10-3)ならびに「東海大学オフィシャルサイト(入試情報)」(5-3-10-4)において、入学にあたり修得しておくべき知識等の内容・水準に関して記載している。

〔3-11〕体育学研究科

学生の受入れ方針(アドミSSION・ポリシー)については、「本学の「建学の精神」と、以下に示す本研究科の教育理念・目標を理解し、自ら学ぶ意欲をもった者を国内外から広く受け入れます。本研究科の教育理念・目標「体育・スポーツ・健康に関する科学を学び、豊かな創造性、国際性を身につけ、関連する様々な社会や分野における基幹的機能を果たす能力を持つ人材」の育成」と、「大学院ガイド」(5-3-11-1 p.22)、東海大学オフィシャルサイト(5-3-11-2)に記載している。

また、学生の受入れ方針は、東海大学オフィシャルサイトにおいて、広く周知を図っているが、本研究科に入学するにあたり、修得しておくべき知識等の内容・水準については明示出来ていない。

さらに、障がいのある学生の受け入れに関しては、「東海大学の障がい学生支援に関する取り組み」(5-3-11-3)に則り、慎重かつ適切に検討を行い、受け入れを行っている。

〔3-12〕理学研究科

理学研究科の学生の受け入れ方針(アドミSSION・ポリシー)は、「本学の「建学の精神」と、「基礎科学を身につけ、応用できるバランスのとれた人生観・世界観を確立し、先端技術の開発・発展を推進できる能力をもち、科学技術の基礎を支える教育と研究を担う人材」の育成」という本研究科の教育理念・目標を理解し、真理の探究に情熱をもった者を国内外から広く受け入れる」と設定され、本学オフィシャルサイト アドミSSIONポリシー(5-3-12-1)で公開されている。

アドミSSION・ポリシーに入学するにあたり修得しておくべき知識等の内容・水準についての記載はないが、各専攻・コースに対応する学科の学位授与方針に示されている(5-3-12-2)。

〔3-13〕工学研究科

各専攻の「教育目標」「養成すべき人材像」については、「2016年度大学院要項(Ⅱ)」(5-3-13-1 p.100)に記載していたが、2015年度に、本研究科の教育理念・目標「「国際的な視野を持って、知の創造と承継と実践を目指し、複雑な課題にも果敢に挑戦し、問題解決することができる高度職業人の育成」と、本学の「建学の精神」を理解し、自ら学ぶ意欲をもった者を国内外から広く受け入れる、というアドミSSION・ポリシー(5-3-13-2)を定めて明文化した。これにより、学生の受け入れ方針が明示された。

出願資格については、「2016年度大学院入学試験要項」(5-3-13-3)に記載すると共に、本学オフィシャルサイト(5-3-13-4)の「入試情報」欄に記載している。工学研究科では、社会経験を持つ人物を対象とした特別入学試験も設けており、対象者の認定基準や出願規程も同様に周知を図

っている。

身体機能等に障がいがあり、受験及び修学上特別の配慮を必要とする学生については、受験方法等について相談されるよう「2016 年度大学院入学試験要項」(5-3-13-3 p. 3)で周知し、個々の事情に応じて適切に対応している。

〔3-14〕情報通信学研究科

本研究科の学生の受入れ方針（アドミッション・ポリシー）については、「大学院ガイド」(5-3-14-1 p. 31)、本学オフィシャルサイト (5-3-14-2) において『本学の「建学の精神」と、以下に示す本研究科の教育理念・目標を理解し、自ら学ぶ意欲をもった者を国内外から広く受け入れます。

本研究科の教育理念・目標

「情報通信分野に関し、国際的にも通用する深い専門知識と技術力に加え、幅広い関連知識を有する研究者及び技術者として、高度な情報通信分野の研究・開発、技術の高度化・高品質化を担う人材」の育成』

と記載している。また、本学オフィシャルサイト (5-3-14-2) において本研究科のアドミッション・ポリシーを広く周知している。

「入学試験要項」(5-3-14-3～6) において、出願資格を設定し本研究科の期待する知識の内容及び水準について明示している。また、本学オフィシャルサイト (5-3-14-7) においても同様に掲載している。

障がいを持つ学生の受け入れについては、大学全体の方針「東海大学の障がい学生支援に関する取り決めについて」(5-3-14-7) に則って対応している。「入学試験要項」(5-3-14-3～6) にて、受験及び修学上特別の配慮を必要とする場合は出願前に申し出るように注意喚起を行っている。申し出のあった学生については、文書にて本人の希望と本学の配慮内容のすり合わせを行い、配慮内容について合意の上で出願を認めている。

〔3-15〕海洋学研究科

海洋学研究科は、学生の受入れ方針を以下のように定めている。

「本学の「建学の精神」と、海洋学研究科の教育理念・目標「自ら課題を探究し、柔軟かつ総合的な思考・判断し、解決する能力を育成し、広い視野を有し、総合的な判断力を持ち、柔軟で適応力のある人材の育成」を理解し、自ら学ぶ意欲をもった者を国内外から広く受け入れます。」(5-3-15-1)

学生の受入れ方針（アドミッション・ポリシー）は、海洋に関する多様な専門分野の知識を自ら学ぶ意欲を持った人であることを、「大学院ガイド」(5-3-15-2 p. 32)、本学オフィシャル Web サイト(5-3-15-1)において掲載し、広く周知を図っている。入学にあたり修得しておくべき知識等の内容・水準は「大学院入学試験要項」(5-3-15-3)に明示している。

障がいのある学生の受け入れについては、大学全体の方針 (5-3-15-4) に従い、対応することとしている。

〔3-16〕 医学研究科

本学オフィシャルサイト アドミッション・ポリシー (5-3-16-1) において、医学研究科のアドミッション・ポリシー(学生の受け入れ方針)「医学研究科の教育理念・目標を理解し、臨床医学に具体的に還元する研究テーマを進んで作り上げ、自ら学ぶ意欲をもった者を国内外から広く受け入れます。」を掲載し、広く周知を図っている。

「入学試験要項」において、出願資格を設定し医学研究科の期待する知識の内容及び水準について明示している (5-3-16-2 pp. 7-8、5-3-16-3 pp. 7-8)。また、本学オフィシャルサイトにおいても同様に掲載している (5-3-16-4)。

障がいを持つ学生については、取組みの基本方針として、

1. 本学の全ての教職員及び学生は、障がいを理由とする修学上の差別の解消に取り組むとともに、障がい学生が、障がいのない学生と平等に教育研究、課外活動等に参加できるよう機会の確保に努めます。
2. 本学は、共生社会の形成に向けて、障がいの有無にかかわらず、全ての教職員及び学生が、相互理解と尊重の精神を培うための教育環境の整備に努めます。
3. 本学は、障がいの有無にかかわらず、すべての学生が、社会で活躍できる人材に成長できるよう支援に努めます。

の大学全体で掲げている3つの方針に準じている。(5-3-16-5)

受験及び修学上特別の配慮を必要とする場合は、「入学試験要項」(5-3-16-2、3 出願手続)にて、出願前に申し出るように注意喚起を行っている。申し出のあった受験生については、文書にて本人の希望と本学の配慮内容のすり合わせを行い、配慮内容について合意の上で出願を認めている。

〔3-17〕 健康科学研究科

健康科学研究科の学生の受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)は、下記のように明示されている。

『本学の「建学の精神」と、以下に示す本研究科の教育理念・目標を理解し、自ら学ぶ意欲をもった者を国内外から広く受け入れます。』

本研究科の教育理念・目標

「看護、福祉各領域の専門性を尊重し、総合的な視野に立った保健医療福祉サービスの統合を目指しその実現のため、実践の間では指導的な役割を担う専門職者、高等教育機関においては高度専門知識を備えた教育研究職者」の育成』(5-3-17-1)。

また、大学院ガイド(5-3-17-2)では専攻ごとに、より詳細なポリシーを示している。

『看護学専攻では、本専攻の教育目標「保健医療福祉をめぐる社会のニーズが複雑化、多様化している現代において必要とされる看護学の発展に寄与できる教育研究能力の育成、実践の場が必要とされる高度の専門的知識・技術の育成、保健医療福祉に関する国際的な視野の育成、研究や実践におけるチーム連携能力の育成」に共鳴し、自ら学ぶ意欲をもった人を求めます。(5-3-17-2 p. 39)』

『保健福祉学専攻では、本専攻の教育目標「人口の高齢化と少子化、家族形態の変化、経済の急

第5章 学生の受け入れ

速な変化がもたらす現代社会の多様な課題に対応するため、社会福祉、保健、医療を統合できる学際的な研究者の育成、専門職としての理論と技術を統合し実践の場に生かせる実践家の育成、また高等教育における対人援助専門職者養成を担う教育者の育成」に共鳴し、自ら学ぶ意欲をもった人を求めます。(5-3-17-2 p.40)』

「入学試験要項」(5-3-17-3～8)に、両専攻の詳細は「大学院ガイド」(5-3-17-2 pp.48-49)に記載している。また、東海大学大学院オフィシャルサイト(5-3-17-9)においても公開されている。また、期待する知識の内容及び水準についても「入学試験要項」(5-3-17-3～8)に出願資格を設定し明示している。障がいのある学生の受け入れについては、大学全体の方針に基づき、障がいを理由とする修学上の差別の解消に取り組むとともに、平等に教育研究等に参加できるよう機会の確保に努めている。

〔3-18〕産業工学研究科

本研究科の学生の受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)は、東海大学オフィシャルサイトに明示されている。

『本学の「建学の精神」と、以下に示す本研究科の教育理念・目標を理解し、自ら学ぶ意欲をもった者を国内外から広く受け入れます。

本研究科の教育理念・目標 「高度の専門的職業人の育成を目指し、専門性と学際性の両面を素養として持つところの複眼的な思考力を身につけた人材」の育成』(5-3-18-1)

東海大学大学院ガイドでは各専攻別に明示している。その内容は以下のようなものである(5-3-18-2 pp.41-43)。

生産工学専攻では、『「機械制御工学」を中核的な科目として学び、さらに、「エネルギー工学」、「材料開発工学」、「機械加工工学」の3分野を学ぶことを通して産業界の実情に即した複眼的で幅の広い実践的な技術者を育成することを目指し、これに共鳴し、自ら学ぶ意欲を持っている学生を求めていることから、これら3分野の基礎知識を十分に持つ学生をさらに高度な教育を行っていく。』

情報工学専攻では、『「ハードウェア技術」あるいは「ソフトウェア技術」のどちらかを重点的に、あるいは両者をバランスよく教育し、実践的技術者として活躍できる人材を育成することを目指し、これに共鳴し、自ら学ぶ意欲を持っている学生を求めていることから、これら2分野の基礎知識を十分に持つ学生をさらに高度な教育を行っていく。』

社会開発工学専攻では、『「造る」、「守る」のうち一方を重点的に学び、また他方を副次的に学ぶことを通して、産業界の実情に即した複眼的で視野の広い実践的技術者を育成することを目指し、これに共鳴し、自ら学ぶ意欲を持っている学生を求めていることから、これら2分野の基礎知識を十分に持つ学生をさらに高度な教育を行っていく。』

〔3-19〕農学研究科

農学研究科では、建学の精神に則した大学院学則(5-3-19-1 第1条)に基づき、本研究科の教育目標に沿って学生の受入れ方針(アドミッション・ポリシー)を定め、「大学院ガイド」(5-3-19-2 p.44)と本学オフィシャルサイト(5-3-19-3)において明示して公表している。農

第5章 学生の受け入れ

学研究科のアドミッション・ポリシーは以下のとおりである。

『本学の「建学の精神」と本研究科の教育理念・目標である「生物の多様な機能を理解し、生物生産及び生命科学領域に貢献しうる高度な専門性と総合性を併せ持つ学際融合的な研究者・技術者」の育成を理解し、自ら学ぶ意欲をもった者を国内外から広く受け入れます。』

入学するにあたり、修得しておくべき知識等の内容・水準は「大学院入学試験要項」(5-3-19-4)において明示している。

また、障がいを持つ志願者については、受験及び修学上特別の配慮を必要とする場合は、「大学院入学試験要項」(5-3-19-4)において出願前に申し出るように注意喚起を行っている。申し出があった志願者については、文書にて本人の希望と本学の配慮内容の摺り合わせを行い、配慮内容については合意の上で出願を認めている。

(2) 学生の受入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集及び入学者選抜を行っているか。

[1] 大学全体

学生の受入れ方針に基づき、多様な学生を募集するため一般入試、センター試験利用入試、公募制推薦入試、指定校推薦入試、AO入試、留学生入試、付属推薦入試など様々な入試制度を設けている。各入試では、面接、調査書、学科試験等を用いて、アドミッション・ポリシーの理解及び基礎学力を判定し、選抜している。また、学長を委員長とする判定委員会を開催し、合否判定を行っている。

学生募集方法、入学者選抜方法の周知については、各種「入学試験要項」(E-2～15、E-18～23)、「東海大学 入試情報」(E-27)、本学オフィシャルサイト(E-24)での周知に加え、本学主催の高校教員向け説明会、高等学校での説明会、業者主催の進学相談会、オープンキャンパスでの個別相談等で情報提供に努めている。これらの説明については、入学センター職員を中心に大学内の事務部署から動員された入学アドバイザーによって行われている。特に、付属高校生に対しては、学園の方針に従って高大連携を密にし、進学希望者に対して、学科レベルでの全学的説明会を開催し、面談等を通して学科で学ぶために必要な準備を理解させている。

留学生には、本学のオフィシャルサイトの英字サイト(E-28)を通じて、あるいは「留学フェア」への参加や、日本語学校への広報を行い、これらの周知を図っている。

入試制度の策定から試験実施における検討事項や改善要求については、各学部・大学院より選出された委員で構成される入試企画専門委員会を組織し、学部入試及び大学院入試について検討を行っている。この委員会で決定した事項は上位組織の入試企画委員会にて検討され、最終的な承認を得ている。また、広報活動についても各学部・大学院より選出された委員で構成される常任広報委員会にて検討及び承認を行っている。

以上のような入試制度に関する周知と入試制度の策定・実施・検証・改善のプロセスを取っており、学生募集活動は適切に行われている。

各種「入学試験要項」(E-2～15、E-18～23)において各学部・大学院の入学試験における出願手続方法、試験上の注意、合格発表、入学手続方法について記載している。また、試験実施においては試験日当日に持参できるものや不正行為の対処方法についても記載している。これらの措置によって、受験生の受験時の不安低減に努めている。さらに各地のキャンパス及び各地方に試

第5章 学生の受け入れ

験会場を設け、地方在住の受験生の便を図っている。

選抜方法や選考方法については、各種「入学試験要項」(E-2～15、E-18～23)において、学科試験、小論文、面接試験、専門・実技試験や調査書がどのように評価され合否判定に用いられるか明示している。

各入学試験の結果については、本学オフィシャルサイト(E-24)に掲載しているほか、学部については「東海大学 入試情報」(E-27)、大学院については「東海大学 大学院ガイド」(E-16)に記載している。特に学部については「東海大学 入試情報」(E-27)に出願状況の他、得点率や出題者からのアドバイスなども掲載し、本学を志望する学生に有益な情報を提供しつつ透明性も確保している。

このように本学を志望する学生に必要な情報を提供することにより、公正で適切な入学者選抜を行っている。

〔2-1〕文学部

文学部では、一般入試、センター試験利用入試、付属高校推薦入試、公募制推薦入試、指定校推薦入試、AO入試など様々な入学者選抜方法により、公正かつ適切に学生募集及び入学者選抜を行っている。各入試の学生募集方法や入学者選抜方法の周知については、大学が指定する情報媒体を通じて情報を提供している。(5-2-1-1～5)

学生募集に関する広報面での文学部独自の取り組みとしては、学部を構成する学科の特徴を文系、歴史系、言語・文学系、現代社会系の視点から紹介した小冊子(5-2-1-6)、学科紹介ビデオを制作し、学部・学科説明会、オープンキャンパス等で活用し、受験生に対して学科・専攻選びのヒントを提供している。また、ヨーロッパ文学学科、北欧学科、文芸創作学科は教育活動などを紹介したニュースレターを独自に作成し、付属高校、近隣の高校などに配布している。(5-2-1-7)

前年度の入試結果については東海大学オフィシャルサイト(5-2-1-5)に掲載しているほか、「東海大学入試情報」(5-2-1-8)には各入学試験の結果の他、出願状況、得点率なども掲載し、情報として提供するとともに、透明性を確保している。

〔2-2〕政治経済学部

学生の受け入れ方針にもとづき、一般入試、センター試験利用入試、AO入試、公募制推薦入試、指定校推薦入試、留学生入試など、多様な学生を募集するため、様々な入試制度によって学生募集、入学者の選抜を行っている。多様な種類の入試を企画、実施するにあたり、学部からも委員を選出している入試企画専門委員会が大学に設置されており、問題点があれば検討がなされるため、適切性に問題はない(5-2-2-6)。

学生募集の方法、入学者選抜の周知については、「入試情報」(5-2-2-6)、大学オフィシャルサイトで行われている(5-2-2-7)。また、各入試の結果については、「入試情報」に掲載し、受験者の参考に資するとともに、透明性を高めている。

各種入試の中でも、学力系以外の入試においては、受験者に入試の趣旨・特性を周知し(5-2-2-6、7)、選抜に携わる各教員もそれを確認することで公正かつ適切な選抜を実施している。

〔2-3〕法学部

学生受入方針を明示して学生募集を行うとともに、全学の制度的・統一的な取組の中で、学力選抜入試、推薦入試等により公正に、かつ、開示に堪える資料的透明性をもって入学者選抜を行っている（5-2-3-4）。法学部としても、例えば、教授会において募集計画案・合否判定案を審議する機会に或る種別の入学試験を経て入学した学生の入学後の学修状況に係るデータを検討するなど、高等学校教育との関連、社会人の受け入れ等を含む学生募集方法、入学者選抜方法の適切性の確保を図っている（5-2-3-5）。

〔2-4〕教養学部

学生募集方法は、「東海大学オフィシャルサイト（受験生の方）」（5-2-4-3）、入試情報誌「東海大学入試情報」（5-2-4-4）及び「東海大学入学試験要項」（5-2-4-2）などにより明示・公開されている。

入学者の選抜は、大学全体及び学科・課程の受け入れ方針に、自ら学ぶ意欲を持った人材を求めることが示されていることから、その方針に沿って、選抜方法にも学力選抜型入試のほか、学生の個性を重視するような『A0 入試』や『推薦入試』を設けている。

入学者の選抜は、大学全体及び学科・課程の受け入れ方針に、自ら学ぶ意欲を持った人材を求めることが示されていることから、その方針に沿って、選抜方法にも学力選抜型入試のほか、学生の個性を重視するような『A0 入試』や『推薦入試』を設けている。

入学者の選抜基準については、学内の入試企画委員会などにより学部・学科・課程の意見を取り入れて決定され、各種「東海大学入学試験要項」（5-2-4-2）に記載されている。その選抜基準に従った合否の判定案は、学部・学科・課程レベル及び、入試判定委員会にて検討するなど複数段階の合否判定の検討が行われており、入学者選抜における透明性を確保するための適切な措置がとられている。

〔2-5〕体育学部

本学部では、一般入試、公募制推薦入試、A0 入試（学科課題型）、SA0 入試、留学生入試等多様な学生を募集するために、様々な入学者選抜方法により、公正かつ適切に学生募集入学選抜を行っている（5-2-5-3～9）。

学生募集方法、入学者選抜方法の周知については、「入学試験要項（5-2-5-3～8）」、本学オフィシャルサイトでの「入試情報」（5-2-5-9）での周知に加え、大学主催の高校教員向け説明会、高等学校での説明会、業者主催の進学相談会、オープンキャンパスでの個別相談等で情報提供に努めている（5-2-5-10～11）。

入学制度の策定から試験実施における検討事項や改善要求については、入試企画専門委員会に参加し、学部入試の検討を行っている（5-2-5-12）。この委員会での決定事項は上位組織にて検討され、承認を受けている。学生受入れのための広報活動については、常任広報委員会の方針の下、本学部で学科ごとに広報委員を選出し、検討、推進している（5-2-5-13）。

本学部の入学試験における出願手続き方法、試験上の注意、合格発表、入学手続き方法は、「入学試験要項」（5-2-5-3～8）に記載している。出願手続については、入試制度毎に書類が異なるた

第5章 学生の受け入れ

め、詳細に記載している。試験実施に際しては、試験当日の不正行為の対処方法の1つとして、当日の持参物に対しても詳細に記載している。これらの措置により、受験生の不安低減及び公正かつ適切な実施に努めている。

選抜方法や選考方法については、「入学試験要項」(5-2-5-3～8)に、学科試験、小論文、面接試験、専門・実技試験及び調査書がどのように評価され合否判定に用いられるかを明示している。

入学試験の結果の閲覧については、本学オフィシャルサイト(5-2-5-9)及び「東海大学 入試情報」(5-2-5-14)に記載している。入試情報には出願状況の他、得点率や過去課題の出題を掲載し、本学部を志望する学生に有益な情報を提供しつつ透明性も確保している。

〔2-6〕理学部

学部・学科のアドミッション・ポリシーに基づき、一般入試、AO入試、付属校推薦、指定校推薦、公募推薦入試、留学生入試を行い、公正かつ適切に入学者選抜を行っている。2016年度入学者のうち各選抜方式で合格したものの割合(%)は、学部全体としては60.29%、6.86%、25.43%、3.14%、4.00%、0.29%である(5-2-6-7、8)。

学生募集方法は、本学オフィシャルサイト(5-2-6-9)、「東海大学 入試情報2016」(5-2-6-10)及び「東海大学入学試験要項」(5-2-6-10～17)により公開されている。

〔2-7〕情報理工学部

学生の受け入れ方針に基づき、一般入試、センター試験利用入試、公募制推薦入試、指定校推薦入試、AO入試、留学生入試など本学で設けている様々な入試制度を通じて募集と選抜を行っている。

学生募集方法、入学者選抜方法の周知については、「入学試験要項」(5-2-7-3～8)、「入試情報」(5-2-7-10)、本学オフィシャルサイト(5-2-7-9)、オープンキャンパス(5-2-7-11)での個別相談、「留学フェア」(5-2-7-12)への参加、など、大学が発行・実施する施策への参加・協力だけでなく、学部学科独自のWebサイトやパンフレット(「情報科学科 おもしろ研究室」(5-2-7-13～15)、「コンピュータ応用工学科 研究案内&トピックス」(5-2-7-16、17) SNSを通じてそれら施策への案内も行っている(5-2-7-18～20)。

入試制度の策定から試験実施における検討事項や改善要求については、学部代表委員一名が入試企画専門委員会に委員として参加し検討を行っている。

入学者選抜における透明性は、大学全体として「入学試験要項」(5-2-7-3～8)で選抜方法や選考方法を明示し、本学オフィシャルサイト及び「入試情報」に入試結果を記載することで確保している。(5-2-7-9、10)

〔2-8〕工学部

学生の受け入れ方針に基づき、一般入試、センター試験利用入試、公募制推薦入試、指定校推薦入試、AO(アドミッションズ・オフィス)入試、留学生入試など、多様な学生を募集するため、様々な入試制度を設けている(5-2-8-2～9)。

学生募集方法、入学者選抜方法については、各種「入学試験要項」、「入試情報」(5-2-8-25)、

第5章 学生の受け入れ

本学オフィシャルサイトでの周知に加え、本学入学センター・入学課がオープンキャンパス時の個別相談をはじめ高等学校での説明会、高校教員向け説明会、さらに入試関連業者や予備校主催の進学相談会で情報提供に努めている。これらの説明については、主に入学センター職員をはじめ学内各部署より選抜された入学アドバイザー（職員）が対応している。また入学センターからの依頼を受けた各学科専攻の教員が対応している。また、留学生については、本学オフィシャルサイトの英字サイト（5-2-8-26）での周知に加え、本学入学センター・入学課と国際教育センターが協働して広報・周知を行っている。

入試制度の策定から試験実施における検討事項や改善要求について、工学部では学部委員を選出して全学的な入試企画専門委員会にて入試に関する検討を行っている。なお、この委員会で決定された事項は上位組織の入試企画委員会にて検討され、最終的な承認を得ている。また、広報活動についても工学部では広報委員会ならびにその代表として常任広報委員を選出して、常任広報委員会にて検討及び承認がなされている。

「入学試験要項」（5-2-8-2～9）には入学試験における出願手続き方法をはじめ試験上の注意、合格発表、入学手続き方法について記載している。特に出願手続きについては入試制度毎に必要な書類が異なるため、書類の種別、提出期限について詳細に記載している。また、試験実施においては試験当日に持参できるものや不正行為への対処等についても記載している。これらの措置によって、学生の受験時の不安低減に努めている。

各入学試験結果については、本学オフィシャルサイトをはじめ「入試情報」（5-2-8-25）に記載している。特に「入試情報」には出願状況の他、得点率や出題者からのアドバイスなども掲載し、工学部各学科専攻を志望する学生へ有益な情報を提供しつつ透明性も確保している。

〔2-9〕観光学部

本学部では、付属推薦入試、一般入試、センター試験利用入試、公募制推薦入試、指定校推薦入試、アドミッション・オフィス（AO）入試、留学生入試など多様な学生を募集するため、様々な入試制度を実施している（5-2-9-4）。

学生募集方法、入学者選抜方法の周知については、「入学試験要項」（5-2-9-4）、「入試情報」（5-2-9-6）、本学オフィシャルサイトでの周知に加え、本学部主催のオープンキャンパスでの個別相談等で情報提供に努めている。これらの説明は、本学部所属教員によって行われている。留学生の受験については、本学のオフィシャルサイトの英文サイトに載せるとともに、別科日本語研修課程との連携等によって、周知を図っている（5-2-9-5）。

各学部から選出された委員で構成される全学的な入試企画専門委員会（5-2-9-7）において、本学部入試についても検討を行っている。この委員会で決定した事項は上位組織の入試企画委員会にて検討され、最終的な承認を得ている。また、広報活動については常任広報委員を本学部からも選出し、全学で構成される常任広報委員会（5-2-9-8）において検討及び承認が行われている。

「入学試験要項」（5-2-9-4）には、募集人員、出願資格、試験日程、試験科目、配点、選抜方法・選考方法、試験場所、試験上の注意、合格発表・入学手続き等が記載されている。以上のように、学生募集は公平かつ適切に行われているとすることができる。

一方、多様な種別の入試がありその時期が異なるため、それぞれ別々の入試判定委員会によっ

第5章 学生の受け入れ

て合格判定を行っているが、その際にも合否判定の公正さを保つようにしている。すなわち、それぞれの入試の合格判定は学部のみで行うのではなく、学長を委員長とし、入学センターを事務局とする入試判定委員会で、本学部の入試判定委員と他学部の入試判定委員の合議の上、公正に判定が行われている。

さらに、本学部の入学試験の結果については、本学オフィシャルサイト（5-2-9-1）及び「入試情報」に記載されている。「入試情報」（5-2-9-6）には出願状況の他、得点率や出題者からのアドバイスなども掲載し、本学部を志望する学生に有益な情報を提供しつつ透明性も確保している。

〔2-10〕情報通信学部

学生の受入れ方針に基づき、一般入試、センター試験利用入試、公募制推薦入試、指定校推薦入試、AO入試、留学生入試など、多様な入試制度を設けている。各入試では、面接、調査書、学科試験等を用いて、アドミッション・ポリシーの理解及び基礎学力を判定し、選抜している。

学生募集方法、入学者選抜方法の周知については、各種「入学試験要項」、「東海大学 入試情報」（5-2-10-14）、本学オフィシャルサイト（5-2-10-12）への掲載の他に、オープンキャンパスの際に相談を受けるなど情報提供に努めている。

留学生には、本学オフィシャルサイト（英字サイト）（5-2-10-15）を通じて、学生募集方法、入学者選抜方法の周知を行っている。

大学全体として、各学部より選出の委員で構成される入試企画専門委員会を組織し、入試について検討を行っている。本学部からこの委員会に委員を選出している。また、大学全体として、各学部より選出の委員で構成される常任広報委員会を組織し、広報活動の検討を行っている。本学部からこの委員会に委員を選出している。さらに、本学部内に広報委員会を設置し、学部の広報活動の検討を行っている（5-2-10-16）。

以上のような入試制度に関する周知と入試制度の策定・実施・検証・改善のプロセスをとっており、学生募集活動は適切に行われている。

各種「入学試験要項」において、入学試験における出願手続方法、試験上の注意、合格発表、入学手続方法について記載している。

選抜方法や選考方法については、各種「入学試験要項」において、学科試験、小論文、面接試験、調査書がどのように評価され合否判定に用いられるかを明示している。

各入学試験の結果については、本学オフィシャルサイト（5-2-10-12）に掲載しているほか、「東海大学 入試情報」に記載している。また、「東海大学 入試情報」には出願状況の他に、得点率や出題者からのアドバイスなども掲載し、本学部を志望する学生に有益な情報を提供しつつ透明性も確保している。

このように本学部を志望する学生に必要な情報を提供することにより、公正で適切な入学者選抜を行っている。

〔2-11〕海洋学部

学部学科での学生の入学者選抜が行えるものは、公募制推薦入試、指定校推薦入試、AO入試、留学生入試の4つの選抜についてである。これらの入試については、各学科の受け入れ方針に基

第5章 学生の受け入れ

づいて、選抜試験が行われている。これらの方針については、それぞれの入学試験要項(5-2-11-5)、東海大学入試情報(5-2-11-6)、東海大学オフィシャルサイト(5-2-11-7)で公開し、それに基づき厳正な選抜試験を行っている。学科判定案については、学部長と検討し、学部案として入試センターに提出している。以上の措置により、学生募集方法及び入学者選抜方法において適切性を確保している。

各入学試験の結果については、本学オフィシャルサイト(5-2-11-7)に掲載しているほか、「東海大学 入試情報」に記載している。また、「東海大学 入試情報」には出願状況の他に得点率なども掲載し、入学者選抜の透明性を確保する措置を適切に行っている。

〔2-12〕医学部

医学部における入学試験については、医学部入学試験企画検討委員会(5-2-12-3)においてその原案を策定し、医学部教授会の承認を受け、全学の入試企画専門委員会(学部部会)において決定される。学生の受入れ方針にもとづき、医師となるうえで必要な知識や技術を修得できる基礎学力と、医師として患者を思いやることのできる人間性を備えた入学者の選抜方法を検討し、実践している。

〔2-13〕健康科学部

学生の受け入れ方針に基づき、両学科とも、一般入試、センター試験利用入試、公募制推薦入試、指定校推薦入試、同窓会アドミッションズ・オフィス入試、留学生入試を行っている。社会福祉学科はその他、課題型A0入試も行っている。多彩な入学試験を実施することで多様な学生を受け入れている。また、健康科学部は、3年次に編入学定員を有するため、編入学入試を行っている(5-2-13-4~10)。

学生募集に関しては、大学オフィシャルサイト(5-2-13-12)に掲載するとともに、高校や進学説明会への参加・説明やオープンキャンパスで説明を行い、公正かつ適切に広報を行っている。

学生の受け入れ方針に基づき、推薦系及びA0入試では、学力とともに面接試験を実施してコミュニケーション能力も評価している。入学者の決定は、推薦系及びA0入試では、学科であらかじめ作成された評価指標にもとづき判定案を作成し、入学者選抜についての透明性を確保している。

各種入試の出願状況、得点率、合格者数を「東海大学 入試情報」(5-2-13-13 pp. 55-76)に掲載し、本学部を志望する学生に有益な情報を提供しつつ、透明性も確保している。

〔2-14〕経営学部

オープンキャンパス、大学のオフィシャルサイト、テレビ広告、主要な全国紙や地方紙等で、オープンに、学生募集を行っている。入学者選抜については、出願資格、募集人数、試験日、試験科目や配点、選抜方法、選考基準などを明示し、公正性、適切性の確保を図っている。(5-2-14-2~4)

〔2-15〕基盤工学部

学生の受入れ方針に基づき、多様な学生を募集するため、一般入試、センター試験利用入試、

第5章 学生の受け入れ

公募制推薦入試、指定校推薦入試、AO入試、留学生入試等の様々な入試制度を設けている。

学生募集方法、入学者選抜方法の周知については、「入学試験要項」(5-2-15-4～11)、「東海大学 入試情報」(5-2-15-12)、本学オフィシャルサイト(5-2-15-3)での周知に加え、本学主催の高校教員向け説明会、高等学校での説明会、業者主催の進学相談会、オープンキャンパスでの個別相談等において、入学広報課と学部学科で協力して情報提供に努めており、公正かつ適切に学生募集及び入学者選抜を行っている。

各入学試験の結果については、「東海大学 入試情報」(5-2-15-12 pp. 55-76)に記載している。

〔2-16〕農学部

学生募集に際して、一般的な入学広報ばかりではなく、教員が各高校で行う移動模擬授業(5-2-16-6)に加え、オープンキャンパスで模擬授業、研究室紹介を実施(5-2-16-6)し、本学部の研究分野、内容を伝える活動を行っている。ただし今年度は震災の影響もあり、オープンキャンパスは1度しか開催できなかった(5-2-16-7)。

また学力による選抜試験以外にも、指定校推薦、一般推薦の推薦入試、AO入試、編転入試を実施しており(5-2-16-4)、求める学生像に適した入学者の選抜を行っている。さらに過去に出題された入試問題、競争倍率を冊子としてまとめている(5-2-16-8 pp. 55-76)。指定校推薦、一般推薦の推薦入試、AO入試、編転入試については、各学科による判定の後学部長の確認を得ている。

〔2-17〕国際文化学部

学生の受入れ方針に基づき、一般入試、センター試験利用入試、公募制推薦入試、指定校推薦入試、AO入試、留学生入試など多様な学生を募集するため、様々な入試制度を設け、特定の入試形態に偏重することのないように公正かつ適切に学生募集及び入学者選抜を行っている(5-2-17-3 pp. 5-6)。

学生募集方法、入学者選抜方法の周知については、「入学試験要項」(5-2-17-4)、「入試情報」(5-2-17-3)、本学オフィシャルサイトでの周知(5-2-17-5)に加え、本学主催の高校教員向け説明会、高等学校における説明会、業者主催の進学相談会、オープンキャンパスにおいて、学部案内(5-2-17-2)をもとに個別相談等で本学部の学びの特色や所属教員の教育研究内容に関する情報提供に努めている。

本学部の入学試験における出願手続方法、試験上の注意、合格発表、入学手続方法については「入試情報」に記載している(5-2-17-3)。

本学部の選抜方法については、「入試情報」において、入試種別ごとに、学科試験、小論文、面接試験がどのように評価され合否判定に用いられるか明示している(5-2-17-3)。

本学部の入学試験の結果については、「入試情報」に記載している。学部の入試結果としては、出願状況の他、得点率や出題者からのアドバイスなども掲載し、本学を志望する学生に有益な情報を提供しつつ透明性も確保している(5-2-17-3 pp. 55-86)。

以上のことから、本学部を志望する学生に必要な情報を提供することにより、公正で適切な入

学者選抜を行っている。

〔2-18〕 生物学部

学生の受入れ方針に基づき、一般入試、大学入試センター試験利用入試、公募制推薦入試、指定校推薦入試、A0入試、留学生入試など多様な学生を受け入れることができる様々な入試制度を設けている（5-2-18-12 p.7-8）。

学生募集方法、入学者選抜方法の周知については、「入学試験要項」（5-2-18-2～9）、「入試情報」（5-2-18-12）、本学オフィシャルサイト（5-2-18-11）での周知に加え、本学主催の高校教員向け説明会等で情報提供に努めている。これらの説明については、入学センター職員を中心に入学アドバイザーによって行われている。

入試制度の策定から試験実施における検討事項や改善要求については、生物学部選出の委員が各学部・大学院より選出された委員で構成される入試企画専門委員会（5-2-18-13）に出席し、生物学部の所属する学部入試について検討を行っている。また広報活動についても生物学部選出の委員が常任広報委員（5-2-18-14）に出席し、検討及び承認を行っている。

選抜方法や選考法については、「入学試験要項」（5-2-18-2～9）において、学科試験、小論文、面接試験や調査書がどのように評価され合否判定に用いられるか明示し、上述したとおり、公正かつ適切に行っている。

各入学試験の結果については、本学HP及び冊子体として発行している「入試情報」（5-2-18-12）に記載している。

〔3-2〕 総合理工学研究科

上記の受入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集及び入学者選抜を行っている。一般入学試験のみならず、推薦入試、社会人特別入試、国際方式等による留学生の受け入れなど、様々な入試制度を設けている。募集方法や日程等についてオフィシャルサイトでの公開（5-3-2-7）や入試課による要項の配布により一般に周知されている（5-3-2-2～5）。場合によっては、入学試験以前に出願資格審査を行い、入学者の学力や研究資質を担保している。入学試験の内容は、研究成果の報告と質疑応答及び面接試験を行っている。留学生の場合には、面接試験は英語で実施し、本学各キャンパスの修士課程からの入学希望者の場合には、TV会議システムを活用し、受験者の利便を図っている。

〔3-3〕 地球環境科学研究科

年に2回の一般入学試験、社会人特別入学試験が行われている。入学試験では、研究科長、主任、指導予定教員の3名によって口述試験並びにプレゼンテーションに対する質疑の形式で行い、透明性を確保している。

〔3-4〕 生物科学研究科

入学試験要項、大学院ガイド等に記載されている方針に基づき、大学院の入試試験における出願手続き方法、試験上の注意、合格発表、入学手続き方法について記載し学生募集を行っている。

第5章 学生の受け入れ

特に、出願手続きについては、書類の種別、提出期限について詳細に記載している(5-3-4-3～7)。これにより、受入れ対象となる受験者を書類審査し、基準に達している場合は、プレゼンテーションを含めた学力選抜を行い、適正に入学選抜を行っている。

〔3-5〕文学研究科

アドミッション・ポリシー(5-3-5-2)に沿って、一般入試・推薦入試・社会人入試など多様な入試制度を設けている。学生募集方法、入学選抜方法は、大学全体の方針に則り、各種「入学試験要項」(5-3-5-3)、「東海大学オフィシャルサイト 入試情報」(5-3-5-4)等に記載し周知を図っている。留学生への対応については、大学全体で対応を行っている。

選考方法については、専門試験・外国語試験・面接試験・小論文・調査書がどのように評価され合否判定に用いられるかが「入学試験要項」に明示されている。

前年度の入試結果については「東海大学大学院ガイド」(5-3-5-1)に記載し、情報として提供するとともに、透明性を確保している。

〔3-6〕政治学研究科

学生の受け入れ方針に基づいて、できるだけ広範な応募が可能となるように、一般入学試験、推薦入学試験、社会人特別入学試験を毎年度7月及び2月の2回実施している。学生の募集及び入学の選抜の方法については、各種「入学試験要項」や「東海大学オフィシャルサイト(入試情報)」(5-3-6-8)東海大学大学院ガイド(5-3-6-2 pp.48-49)にわかりやすく記載し、周知をはかっている。

一般入学試験での選抜にあたっては、外国語と専門科目からなる筆記試験のすべての科目について、各出題者を含む複数名の採点者が採点することにより公正性と透明性を担保している。推薦入学試験の受験者に対しては、研究科長・主任・指導を希望されている教員及び学科主任による面接を行い、大学院進学の志望理由や意欲、研究計画等について確認を行っている。一般入学試験及び社会人特別入学試験で行われる面接試験は、研究科長・主任・教務委員、指導を希望されている教員並びにその教員と同じコースの教員によって審査を行い、教授会において全ての資料を開示して合否判定を行い、公正で透明性の高い選抜を行っている。

〔3-7〕経済学研究科

学生の受け入れ方針に基づいて、経済学研究科では、毎年度7月に春学期推薦入学試験(第1期)・春学期一般入学試験(第1期)・春学期社会人特別入学試験(第1期)(4月入学)及び秋学期推薦入学試験・秋学期一般入学試験(10月入学)を実施している。

また、毎年度2月には春学期推薦入学試験(第2期)・春学期一般入学試験(第2期)・春学期社会人特別入学試験(第2期)(4月入学)を実施している。

いずれの入学試験においても、出願基準(推薦基準)並びに出願資格、出願期間(推薦期間)、出題する外国語試験及び出題科目について「入学試験要項」に記載している。(5-3-7-2～5)

入学制度の策定から試験実施までにおける検討事項や改善要求に関しては、大学において設置されている入試企画専門委員会において検討されており、経済学研究科からも入試企画専門委員

第5章 学生の受け入れ

を毎年度1名選出している。委員会で検討課題が出た場合には研究科に持ち帰り、教授会などで議論し、その結果を委員会に報告している。

広報活動についても同様に、常任広報委員会が開催されており、経済学研究科からも委員を毎年度1名選出している。

入学者選抜に際しては、外国語と専門科目からなる筆記試験に加え、面接試験では研究科長、研究科主任、常任教務委員ならびに指導を希望されている教員を含めた最低5名が面接員として審査し評価を行っている。

〔3-8〕法学研究科

学生募集の内容や選抜手続等は入学試験要項に示されており（5-3-8-3～6）、学生の受入れ方針に基づき、公正かつ適切に募集と選抜を行っている。また、学生募集のための方策として、学部生に対するセメスター初めのガイダンスにおいて法学研究科についての説明を行い（5-3-8-7 2016年度法学研究科FD活動計画書）、また、FD委員会が中心となり作成したポスターを掲示している（5-3-8-8）。

入学者選抜においては、一般入試では、研究科構成員のすべてが面接に加わることができ、また、研究科教授会での慎重な議を経ることにより（その際、試験問題と答案について閲覧することができる）、恣意的な判定を排除し、受入れ方針に基づく学生募集、入学選抜を公正かつ適切に行っている。推薦入試では、推薦教員、予定指導教員の他、研究科長、専攻主任が面接をすることが可能であり、適切な選抜になることを確保している。

〔3-9〕人間環境学研究科

学生募集方法は、「大学オフィシャルサイト」（5-3-9-4）及び「大学院入学試験要項」（5-3-9-2）などにより明示・公開されている。

入学者の選抜基準については、本研究科の原案を元に、学内の入試企画委員会及び大学院運営委員会で決定され、「大学院入学試験要項」（5-3-9-2）に記載されている。その選抜基準に従った合否の判定については、各研究科の判定案を大学院入試判定委員会で検討して最終的な合否を決定するなど、複数の合否判定の検討が行われており、入学者選抜において透明性を確保するための適切な措置がとられているといえる。

〔3-10〕芸術学研究科

入学者選抜に係わる出願資格、出願手続方法、試験上の注意、合格発表、入学手続期間等に関しては入試種別毎の「入学試験要項」（5-3-10-3）や「東海大学オフィシャルサイト（入試情報）」（5-3-10-4）に記載し周知している。

試験科目に関しても、各「入学試験要項」（5-3-10-3）においてその詳細（外国語試験・専門試験・面接試験・小論文）が明示されている。

前年度の入試結果についても、「東海大学オフィシャルサイト（入試情報）」（5-3-10-4）及び「大学院ガイド」（5-3-10-2 p.49）に掲出され、透明性を担保している。

〔3-11〕 体育学研究科

「入学試験要項」において大学院の入学試験における出願資格、出願手続方法、試験上の注意、合格発表、入学手続期間について記載している（5-3-11-4）。特に出願手続については入試制度毎に必要な書類が異なるため、書類の種別、提出期限について詳細に記載している。

選抜方法や選考方法については、「入学試験要項」において、試験科目が明示されている。各入学試験の結果については、東海大学オフィシャルサイト（5-3-11-5）及び「大学院ガイド」（5-3-11-1 p. 49）に記載している。

「学生募集方法、入学者選抜方法の適切性」に関しては、全学的な入試企画専門委員会を設けて、体育学研究科からも担当の委員が参加している。この委員会の審議結果は、大学院運営委員会でさらに審議・承認される事で適切性を保っている。

「入学者選抜において透明性を確保するための措置の適切性」に関しては、各入学試験の結果を本学オフィシャルサイト（5-3-11-5）ならびに「東海大学大学院ガイド」（5-3-11-1 p. 49）に記載し、本研究科を志望する学生に有益な情報を提供しつつ透明性も確保している。

〔3-12〕 理学研究科

入学者選抜は推薦入試と一般入試の2通りの方法で行っており、また学生募集も本学オフィシャルサイト等で公に行っている。推薦入試においては、推薦する際には面接を行い、受け入れ方針に適合した学生であるか確認している。一般入試においても、学力試験の結果に加えて、面接による勉学意欲の有無や大学院生としての資質の有無などの確認を行っている（5-3-12-3）。入学者選抜における透明性を確保するために、結果を点数化し所見と共に保管している。

〔3-13〕 工学研究科

工学研究科では、推薦入試・一般入試・社会人特別入試を設け、留学生に配慮して秋入学の入試も実施している。

この学生募集方法及び入学者選抜方法については、「2016 年度大学院入学試験要項」及び本学オフィシャルサイトの「入試情報」欄で情報提供を行っており、留学生向けには本学の英字サイト（5-3-13-5）で周知を図っている。

入試選抜方法については、推薦入試では、推薦基準の内規を研究科で定め、これに基づき学部から推薦を受けている。内規は学科ごとに学生に周知し、出願手続方法、出願期間、合格発表、入学手続方法については「2016 年度大学院推薦入学試験要項」（5-3-13-6）に記載している。

一般入試については、入学者選抜方法を専攻ごとに定め、「2016 年度大学院入学試験要項」に記載して情報を提供している。試験問題については、実施前に、全学から選出された入学試験委員会により正誤や記載の妥当性を精査している。また、工学研究科では、全問題を和文・英文併記として、留学生に配慮している。（5-3-13-7）

さらに、入学試験の概要については、東海大学オフィシャルサイトにて志望する学生に情報を公開している。（5-3-13-4）したがって、推薦入試・一般入試・社会人特別入試のいずれも、公正かつ適切な入学者選抜が行われているといえる。さらに、国際方式入学試験を実施し、留学生の増加を図っている。（5-3-13-8）

〔3-14〕情報通信学研究科

本研究科では、大学全体が定めた学生の受入れ方針に則り、多様な学生を募集するため、一般入試、社会人特別入試、推薦入試などの入試制度を設けている。

学生募集方法、入学者選抜方法の周知については、「入学試験要項」(5-3-14-3～6)、本学オフィシャルサイト(5-3-14-8)での周知を行っている。

留学生については、本学オフィシャルサイトの英字サイト(5-3-14-9)において広報を行い、本研究科の学生募集方法と入学者選抜方法の周知を行っている。

大学全体として、入試制度の策定から試験実施における検討事項や改善要求について、各研究科より選出された委員で構成される入試企画専門委員会を組織し、大学院入試について検討を行っている。本研究科から上記委員会に委員を選出し、入試についての検討に参加している(5-3-14-10)。また、大学全体として、広報活動についても各研究科より選出された委員で構成される常任広報委員会にて検討及び承認を行っている。本研究科から上記委員会に委員を選出し、広報活動の検討・承認に参加している(5-3-14-10)。また、研究科内に広報委員会を設置し、本研究科の広報活動の検討・承認を行っている(5-3-14-10)。

以上のような入試制度に関する周知と入試制度の策定・実施・検証・改善のプロセスをとっており、学生募集活動は適切に行われている。

「入学試験要項」(5-3-14-3～6)において本研究科の入学試験における出願手続方法、試験上の注意、合格発表、入学手続方法について記載している。また、試験実施においては試験日当日に持参できるものや不正行為の対処方法についても記載している。これらの情報によって、受験生の受験時の不安低減に努めている。

選抜方法や選考方法については、「入学試験要項」(5-3-14-1～4)において、筆記試験、面接試験、調査書がどのように評価され合否判定に用いられるか明示している。

一般入試については、本研究科では大学院入試問題作成委員会を組織し、入試問題の作成・検討、そして、採点を行っている。本委員会では、毎回、前回入試結果の評価を踏まえて、各科目の試験問題の作成ならびに妥当性の検討を行っており、これまでに問題文への英語表記の追加なども実施してきている。

各入学試験の結果については、本学オフィシャルサイト(5-3-14-8)に記載しているほか、「東海大学 大学院ガイド」(5-3-14-1 pp. 48-49)に記載しており、本研究科を志望する学生に対する透明性を確保している。

〔3-15〕海洋学研究科

上記受入れ方針に基づいて、毎年度7月に春学期推薦入学試験(第1期)・春学期一般入学試験(第1期)・春学期社会人特別入学試験(第1期)(4月入学)及び秋学期推薦入学試験・秋学期一般入学試験(10月入学)を実施している。また、毎年度2月には春学期推薦入学試験(第2期)・春学期一般入学試験(第2期)・春学期社会人特別入学試験(第2期)(4月入学)を実施している。

いずれの入学試験においても、出願基準(推薦基準)ならびに出願資格、出願期間(推薦期間)、出題する外国語試験及び出題科目について「入学試験要項」に明記している(5-3-15-3)。一般入

第5章 学生の受け入れ

学試験の過去問題については、受験者からの要望に応じて公開している。入学者選抜に際しては、筆記試験に加え、研究指導予定教員を含む複数の教員による面接を行い、これらの結果を研究科教授会において審議して合否判定することで、公正で透明性の高い選抜を実施している。

〔3-16〕 医学研究科

「入学試験要項」において入学試験における出願手続方法、試験上の注意、合格発表、入学手続方法について記載している。特に、出願手続については入試制度毎に必要な書類が異なるため、書類の種別、提出期限について詳細に記載している。また、試験実施においては試験当日に持参できるものや不正行為の対処方法についても記載している。これらの措置によって、学生の受験時の不安低減に努め、本学を志望する学生に必要な情報を提供することにより、公正で適切な入学者選抜を行っている。

選抜方法や選考方法については、「入学試験要項」(5-3-16-2、3)において、学科試験、小論文、面接試験、専門・実技試験や調査書がどのように評価され合否判定に用いられるか明示している。

入学試験の結果については、本学オフィシャルサイト(5-3-16-4)に掲載しているほか、「東海大学 大学院ガイド」(5-3-16-6 p.49)に記載し、本学を志望する学生に有益な情報を提供しつつ透明性も確保している。

このように本学を志望する学生に必要な情報を提供することにより、公正で適切な入学者選抜を行っている。

〔3-17〕 健康科学研究科

「大学院ガイド」(5-3-17-2 pp.48-49)に記載しているように、公正かつ適切に学生募集及び入学者選抜を行っている。また、「入学試験要項」(5-3-17-3～6)において出願手続方法、試験上の注意、合格発表、入学手続方法について記載している。入学試験の結果については、本学オフィシャルサイト(5-3-17-7)に掲載しているほか、大学院については「東海大学 大学院ガイド」(5-3-17-2)に記載している。このように本学を志望する学生に必要な情報を提供し、透明性の確保に努めている。

〔3-18〕 産業工学研究科

学生募集は、本学のパンフレット(5-3-18-2)、オフィシャルサイト(5-3-18-3)などのインターネットで熊本教学課入学広報担当を事務部署として実施している。入学選抜は、推薦入学試験(5-3-18-4、5)、一般入学試験、社会人特別入学試験(おのおの春学期・秋学期)(5-3-18-6、5-3-18-7)を年2回実施し、公正かつ適切に実施している。これらの入試情報は入試情報(5-3-18-8)及び入学試験要項(5-3-18-4～7)に記載されている。

入学試験の透明性を確保するために、推薦入学試験では、推薦基準を学科学生の上位40%以内とし、一般入学試験では、英語の合格最低点を40点(100点満点)、専門科目(2科目)の合格最低点を120点(200点満点)としている。そのため、入学者選抜の透明性を確保するための措置は適切である。

〔3-19〕 農学研究科

アドミッション・ポリシーに基づき、農学研究科の入学選抜は10月入学のための秋学期推薦・一般・社会人特別入学試験ならびに4月入学のための春学期推薦・一般・社会人特別入学試験（各第1期・第2期の2回実施）が設定されており、その応募方法と選抜方法については詳細を「大学院入学試験要項」（5-3-19-4）及びオフィシャルサイト（5-3-19-5）に公表して募集し、組織的に公正かつ適切に行われている。

しかしながら、2016年度は平成28年熊本地震に被災したため、秋学期推薦・一般・社会人特別入学試験を中止するとともに、春学期推薦・一般・社会人特別入学試験（第1期）の実施期間を延期した。

一般入学試験は英語（90分）、研究指導教員の専門科目を含む専門2科目（120分）の筆記試験及び面接試験から成っており、入試業務は阿蘇教学課が担当し、筆記試験問題の作成は完全な情報管理のもとで行う体制を確立させている。また、学力試験と面接試験を課さない推薦入学試験においては、推薦基準を平準化するために出願資格に加えて研究科独自の出願要件を設けており、推薦期間内に専攻主任、予定指導教員及び研究内容の専門分野に近い教員（1～2名）の合計3～4名による事前面接を行い、出願後の書類審査の資料としている。これらの入学選抜は、すべてにおいて農学研究科長の指揮・監督の下で厳正に実施されている。

（3）適切な定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。

〔1〕 大学全体

2016年度大学基礎データ表3（E-29 大学合計）にあるとおり、ここ5年間の学部の入学生定員充足率は、全体で1.04から1.07となっており、学科単位での増減はあるものの適切に管理されている。大学院については、研究科によって充足状況に差異が生じている。これは、学部と異なり研究のトレンドによって出願状況が変動するためであり、質の確保の観点から容認している。

学部における入学生数の定員超過については、各入学試験における合否判定を厳正に行い、入学手続者数の予測精度を上げることで防いでいる。また、未充足学科を減らすために補欠合格を行うことで欠員の回避を行っている。大学院については、入学生定員の未充足や超過が発生しているが、著しい定員超過とならないよう厳正な合否判定を行っている。

定員未充足の研究科の多い文系大学院の収容定員に対する在籍学生数比率については、研究科と本学付置研究所との連携を強化し研究活動を活性化することにより、在籍学生数比率の増加につなげる方針である。そのため、2016年度に本学付置研究所の大幅な見直しを行い、現在の文明研究所の外に、平和戦略研究所、総合社会科学研究所を新規に設置した。今後は、研究科と3つの研究所との連携を図り研究の活性化及び在籍学生数比率の増加を目指すこととしている。

一方収容定員に対する在籍学生比率（収容定員に対する充足率）は、学部によって差があるものの、0.81から1.14の範囲に収まっており（E-30：大学基礎データ表4）、適正に管理されている。大学院においては、研究科間にはかなりの差が見られるが、上述したように、入学生定員の未充足や超過に対する対応策をとることにより、序々に適正化してくると思われる。

第5章 学生の受け入れ

学部

2016年度の 在籍学生数	収容定員に対する 在籍学生数比率	入学定員に対する入学者数比率 (5年間平均)
28,869	1.06	1.06

修士課程

2016年度の 在籍学生数	収容定員に対する 在籍学生数比率	入学定員に対する入学者数比率 (5年間平均)
846	0.93	0.90

博士課程

2016年度の 在籍学生数	収容定員に対する 在籍学生数比率	入学定員に対する入学者数比率 (5年間平均)
150	0.37	0.29

(E-30 大学基礎データ 新表4)

〔2-1〕文学部

2016年度における文学部の在籍学生数は4,044名で、収容定員数3,720名に対する比率は1.09倍となっている。また、文学部の入学定員に対する入学者数の比率(2012～2016年平均)は111%となっている。学科別に見た場合、1学科のみわずかに定員割れ(98.0%)となっているものの、全体としては適切に管理されていると判断できる。(5-2-1-9)

2016年度の 在籍学生数	収容定員に対する 在籍学生数比率	入学定員に対する入学者数比率 (5年間平均)
4,044	1.09	1.11

(E-30 大学基礎データ 新表4)

〔2-2〕政治経済学部

「2016年度版 大学基礎データ」の新表3にあるとおり、政治経済学部の過去5年間の定員充足率は1.06～1.18であり(5-2-2-8)、また、2016年度の収容定員に対する在籍学生比率は1.11(5-2-2-9)である。

年度、学科によって差があるものの適切に管理されている(5-2-2-8～9)。

2016年度の 在籍学生数	収容定員に対する 在籍学生数比率	入学定員に対する入学者数比率 (5年間平均)
1,990	1.11	1.13

(E-30 大学基礎データ 新表4)

〔2-3〕法学部

法学部の2016年度における入学定員は300人(入学者数316人、超過率1.05)、収容定員は1200

第5章 学生の受け入れ

人（在籍学生数 1285 人、超過率 1.07）である。定員は適切に設定されており、これに見合った数の学生を受け入れている（5-2-3-6、7）。

2016 年度の 在籍学生数	収容定員に対する 在籍学生数比率	入学定員に対する入学者数比率 (5 年間平均)
1,285	1.07	1.07

(E-30 大学基礎データ 新表 4)

〔2-4〕教養学部

収容定員に対する在籍学生数比率については、「東海大学 2016 年度大学基礎データ 新表 4」（5-2-4-5）に示されているように、人間環境学科が 1.12、芸術学科が 1.05、国際学科が 1.16 で適正に管理されている。

平成 27 年 4 月 17 日付けで大学基準協会からの「改善報告書（大基委大評第 8 号）（大学基準協会「改善報告書検討結果（東海大学）」）」（5-2-4-6）において、人間環境学科及び芸術学科では、推薦入試や A0 入試で入学者数が定員の 2 倍を超えており改善を要すると指摘された。2016 年度の推薦入試（附属校推薦及び指定校推薦、公募推薦との合算：春学期）においては「東海大学 2016 年度大学基礎データ新表 3」（5-2-4-7）に示されるように、人間環境学科が 1.40 倍、芸術学科が 1.76 倍と改善されている。また A0 入試においては、芸術学科が 1.67 倍と改善したもの、人間環境学科は 2.55 倍、さらに国際学科も 2.40 倍となっており、引き続き改善の必要がある。また附属校推薦単独で見ると、芸術学科において 2.29 倍となっており、合わせて改善に取り組む必要があるものと考えている。

2016 年度の 在籍学生数	収容定員に対する 在籍学生数比率	入学定員に対する入学者数比率 (5 年間平均)
1,469	1.11	1.13

(E-30 大学基礎データ 新表 4)

〔2-5〕体育学部

大学基礎データ新表 4（5-2-5-15）にあるとおり、入学定員に対する入学者比率（5 年間平均）では 1.12、収容定員に対する在籍学生比率は 1.09 となっており、おおむね適切に管理されている。

学部における入学者の定員超過については、各入学試験における合否判定を厳正に行い、入学手続者数の予測精度を上げ定員超過を防ぐ施策を講じている（5-2-5-16）。

2016 年度の 在籍学生数	収容定員に対する 在籍学生数比率	入学定員に対する入学者数比率 (5 年間平均)
1,918	1.09	1.12

(E-30 大学基礎データ 新表 4)

〔2-6〕 理学部

2016 年度大学基礎データ表 3 (5-2-6-7) にある通り、ここ 5 年間の入学定員充足率は、理学部全体で 1.06 から 1.20 (数学科 1.06 から 1.19、情報数理学科 1.08 から 1.19、物理学科 1.05 から 1.31、化学科 1.01 から 1.19) である。直近 3 年間に限ると、理学部全体で 1.06 から 1.09 (数学科 1.06 から 1.16、情報数理学科 1.08 から 1.11、物理学科 1.05 から 1.09、化学科 1.01 から 1.05) であり、学科によって多少上下動はあるものの理学部全体としては適切に管理されている。

また、2016 年度大学基礎データ表 4 (5-2-6-8) にある通り、2016 年度の収容定員に対する在籍学生数比率は、理学部全体としては 1.10 (数学科 1.13、情報数理学科 1.11、物理学科 1.12、化学科 1.05) であり、在籍学生数も適切に管理されている。

2016 年度の 在籍学生数	収容定員に対する 在籍学生数比率	入学定員に対する入学者数比率 (5 年間平均)
1,412	1.10	1.12

(E-30 大学基礎データ 新表 4)

〔2-7〕 情報理工学部

2016 年度大学基礎データ表 3 (5-2-7-21 情報理工学部) にあるとおり、入学者は、2012 年度から 2016 年度まで定員を充足している。ただし、2015 年度は充足率が 1.20 となってしまったため、2016 年度は定員管理を綿密にし、充足率を 1.11 と適正の範囲に収めている。

2016 年度の 在籍学生数	収容定員に対する 在籍学生数比率	入学定員に対する入学者数比率 (5 年間平均)
913	1.14	1.12

(E-30 大学基礎データ 新表 4)

〔2-8〕 工学部

東海大学 2016 年度大学基礎データの表 3 (5-2-8-27) に示すとおり、工学部の 2012～2016 年度の定員充足率は 1.03～1.11 で推移しており、学科専攻単位での変動はあるものの適切に管理されている。入学者数の定員超過については、各入学試験における合否判定を厳正に行い、入学手続者数の予測精度を上げ定員超過を防ぐ施策をとっている。また、未充足を防ぐために補欠合格を行うことで欠員の回避を行っている。収容定員に対する在籍学生比率は、工学部全体として 1.07 となっており適正に管理している。(5-2-8-28)

2016 年度の 在籍学生数	収容定員に対する 在籍学生数比率	入学定員に対する入学者数比率 (5 年間平均)
6,275	1.07	1.06

(E-30 大学基礎データ 新表 4)

〔2-9〕観光学部

2016年度大学基礎データの新表3 観光学部（5-2-9-9）にあるとおり、ここ5年間の定員充足率は、学部開設の初年度は1.20でその後は概ね1.13程度となっており適切に管理されている。本学部では各入学試験における合否判定を厳正に行い、入学手続者数の予測精度を高めて定員超過を防ぐ施策をとっている。これにより著しい定員超過とならないよう厳正な合否判定を行っている。

2016年度の 在籍学生数	収容定員に対する 在籍学生数比率	入学定員に対する入学者数比率 (5年間平均)
915	1.15	1.14

(E-30 大学基礎データ 新表4)

〔2-10〕情報通信学部

本学部では、入学定員を、各学科80名、学部全体で320名と設定している。この数値は、本学部のある高輪校舎施設の収容力ならびに学部の教員体制の制約のもとで一定レベル以上の教育サービスを継続して提供できることを念頭に設定されたものである。大学基礎データ新表4（5-2-10-17）にあるとおり、ここ5年間の定員充足率（新表4：収容定員に対する在学生数比率）は1.11となっており、おおむね適切に管理されている。

本学部における入学者数の定員超過については、各入学試験における合否判定を厳正に行い、入学手続者数の予測精度を上げることで定員超過を防ぐ施策をとっている。

2016年度の 在籍学生数	収容定員に対する 在籍学生数比率	入学定員に対する入学者数比率 (5年間平均)
1,415	1.11	1.13

(E-30 大学基礎データ 新表4)

〔2-11〕海洋学部

入試センターより各試験での目標合格者数が提示され、それに基づき各学科で前述の4つの選抜試験に挑んでいる。2016年度大学基礎データ表3（5-2-11-8）にあるとおり、ここ5年間の定員充足率は、全体で0.98から1.03となっており、学科単位での増減はあるものの適切に管理されている。しかしながら、選抜試験を厳格に行うことから目標合格者数に達しないことがある。反対に同点の場合には双方合格させるために、目標数を多少超えて合格になる場合もある。

在籍学生数は2016年度収容定員3,720名に対し、在籍学生数4,044名であり、在籍学生数比率は1.09となっている（5-2-11-9）。

2016年度の 在籍学生数	収容定員に対する 在籍学生数比率	入学定員に対する入学者数比率 (5年間平均)
2,150	1.01	1.01

第5章 学生の受け入れ

(E-30 大学基礎データ 新表4)

〔2-12〕医学部

入学定員については、文部科学省の指導のもと適切な定員が設定されている。定員に対して欠員が生じないよう、入学者数の管理を行っている。在籍学生数については医学教育の特性上、毎年厳密な進級・卒業判定を行う必要があり、留年や卒業不可者が発生しているが、収容定員に対する在籍学生比率は2016年度0.98であり、適正に管理している。(5-2-12-4)

2016年度の 在籍学生数	収容定員に対する 在籍学生数比率	入学定員に対する入学者数比率 (5年間平均)
690	1.01	0.99

(E-30 大学基礎データ 新表4 脚注に記載したとおり医学部については編入学生数を含めている)

〔2-13〕健康科学部

健康科学部の2016年度の収容定員に対する在籍学生比率は1.00であり適正である。(5-2-13-14) 入学定員に対する入学者数比率(5年間平均)は1.09となっている。2016年度の入学者比率を見ると健康科学部全体で0.94、看護学科では1.07と概ね適正であるが、社会福祉学科では0.82で定員に満たなかった(5-2-13-15)。また、編入学定員に対する編入学生比率は、0.40で定員に達していない。(5-2-13-14)

2016年度の 在籍学生数	収容定員に対する 在籍学生数比率	入学定員に対する入学者数比率 (5年間平均)
694	1.00	1.09

(E-30 大学基礎データ 新表4)

〔2-14〕経営学部

経営学部は2013年度開設の学部で、2016年度で完成年度を迎える。学部の収容定員は920名で、2016年5月1日現在で在籍学生数は790名であり、在籍学生比率は0.86となっている(5-2-14-5)。

経営学科の収容定員は600名で、2016年5月1日現在での在籍学生数は584名であり、在籍学生比率は0.97となっており、収容人数に若干足りない状況である。今後学生数を増やす努力が必要である。一方、観光ビジネス学科の収容定員は320名で、2016年5月1日現在で在籍学生数は206名となっており、在籍学生比率は0.64で、充足率が不十分である(5-2-14-5)。

しかしながら、観光ビジネス学科の在籍学生数は4年生が44名、3年生が47名、2年生が52名、1年生が63名と学科設立当初から少しずつ着実に増加しており(5-2-14-6)、今度継続して学生数を増やしていく努力が必要である。

第5章 学生の受け入れ

2016年度の 在籍学生数	収容定員に対する 在籍学生数比率	入学定員に対する入学者数比率 (5年間平均)
790	0.86	0.71

(E-30 大学基礎データ 新表4)

〔2-15〕 基盤工学部

収容定員に対する在籍学生比率は、0.81、入学定員に対する入学者比率（4年間平均）は0.83となっており定員を満たしていない。（5-2-15-13）

未充足を解消するために、オープンキャンパスの充実、高校への出前授業（5-2-15-14）、ターゲットを絞った高校訪問及び学部学科説明会（5-2-15-15）、高大連携活動（5-2-15-16）等、高校との連携強化を図っている。

2016年度の 在籍学生数	収容定員に対する 在籍学生数比率	入学定員に対する入学者数比率 (5年間平均)
451	0.81	0.83

(E-30 大学基礎データ 新表4)

〔2-16〕 農学部

各学科において実験・実習の実施が必須となることを踏まえ、実施が可能な定員として応用植物科学科、応用動物科学科の2学科では80名、バイオサイエンス学科では70名を定員としている（5-2-16-9）。2016年度も各学科ともこの定員を充足し、かつ定員の1.3倍以下の適切な入学者数（5-2-16-9）となっている。

また、未充足の学年については編転入入試を実施することで対応し、定員の充足を図っている（5-2-16-9）。

2016年度の 在籍学生数	収容定員に対する 在籍学生数比率	入学定員に対する入学者数比率 (5年間平均)
988	1.07	1.08

(E-30 大学基礎データ 新表4)

〔2-17〕 国際文化学部

2016年度入試における本学部への入学者数は、入学定員260名に対し、201名であり、定員充足率は77%であった（5-2-17-6）。特に、デザイン文化学科への入学者数は35名にとどまり、入学定員に対する充足率は50%であった（5-2-17-6）。これらのことから、適切な定員の設定とその設定した定員を充足することが課題となっている。入学定員に対する入学者比率（5年間平均）は、0.86となっている。また、収容定員に対する在籍学生比率は、0.83で定員に達していない。（5-2-17-7）

定員充足状況を改善するために、付属高校における学部・学科に特化した説明会の実施、入学

第5章 学生の受け入れ

広報担当部署と協力した高校訪問による学部・学科の広報活動、ホームページにおける教育成果の発信、国際協力・交流機関(一般財団法人日本国際協力センター)との包括協定締結に基づく国際理解教育の充実といった措置を講じている。

2016年度の 在籍学生数	収容定員に対する 在籍学生数比率	入学定員に対する入学者数比率 (5年間平均)
858	0.83	0.86

(E-30 大学基礎データ 新表4)

〔2-18〕生物学部

2016年度5月1日現在では、生物学部の定員充足率は1.06であり、生物学科291名(定員280名、定員充足率1.04)、海洋生物科学301名(定員280名、定員充足率1.08)、となり、適切に管理されている(5-2-18-15、16)。また、学部における定員超過については、各入学試験における合否判定を厳正に行い、入学手続者数の予測精度を上げ定員超過を防ぐ施策をとっている。

2016年度の 在籍学生数	収容定員に対する 在籍学生数比率	入学定員に対する入学者数比率 (5年間平均)
592	1.06	1.12

(E-30 大学基礎データ 新表4)

〔3-2〕総合理工学研究科

適切な定員を設定し、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理している。本研究科の入学定員は、一学年35名である。入学者数は、2013年度16名、2014年度16名、2015年14名、2016年11名と、充足率は、40%強で推移している(5-3-2-8、9)。研究科全体で入学者の増加を目標にしているが、容易ではないのが現状である。特に、本学修士課程からの進学者を増やすことが喫緊の課題である。進学者を増加させる施策のひとつとしてとして、学費の軽減、奨学金制度の拡充などを大学運営本部と議論している。

2016年度の 在籍学生数	収容定員に対する 在籍学生数比率	入学定員に対する入学者数比率 (5年間平均)
47	0.45	0.37

(E-30 大学基礎データ 新表4)

〔3-3〕地球環境科学研究科

現状では、地球環境科学研究科の入学定員10名(収容定員30名)に対して、多い年で3名、少ない年には進学者がない場合もある。収容定員に近づけるよう各教員が修士の学生に対して進学を喚起している。

第5章 学生の受け入れ

2016年度の 在籍学生数	収容定員に対する 在籍学生数比率	入学定員に対する入学者数比率 (5年間平均)
2	0.07	0.10

(E-30 大学基礎データ 新表4)

〔3-4〕生物科学研究科

本研究科では定員10名であるが、2016年度大学基礎データ新表3(5-3-4-8)にあるとおり、2014年度4名、2015年度2名、2016年度1名の入学生があり、未充足な現状にある。これは研究分野の有無により出願状況が変動するためと考えられる。

2016年度の 在籍学生数	収容定員に対する 在籍学生数比率	入学定員に対する入学者数比率 (5年間平均)
8	0.27	0.24

(E-30 大学基礎データ 新表4)

〔3-5〕文学研究科

2016年度の入学者数は、2015年度の入学者数に比べて、博士課程前期では6専攻のうち4専攻の充足率が上昇し、1専攻が半減、1専攻は2015年度に続いて入学者がいなかった。また、入学定員を満たした専攻は1専攻にとどまった。博士課程後期では、5専攻のうち2専攻で充足率が上がり、1専攻は変化なし、2専攻は入学者がいなかった。また、入学定員を満たした専攻は1専攻にとどまった。(5-3-5-5)

研究科全体(博士前期・修士課程)の収容定員に対する在籍学生数比率は0.58(5-3-5-6)であり、依然として収容定員を満たさない状況が続いている。この状況に関する対応として、2014年度から各大学院専攻を基準に、分野ごとの学術兼会報的定期刊行物の発行を検討し、毎年1冊発行し、学部学生にゼミナール等において紹介し閲覧させ、大学院に対する認知を高める計画(5-3-5-7)を進めている。

博士課程前期

2016年度の 在籍学生数	収容定員に対する 在籍学生数比率	入学定員に対する入学者数比率 (5年間平均)
51	0.58	0.58

博士課程後期

2016年度の 在籍学生数	収容定員に対する 在籍学生数比率	入学定員に対する入学者数比率 (5年間平均)
19	0.35	0.24

(E-30 大学基礎データ 新表4)

〔3-6〕政治学研究科

政治学研究科では博士課程前期の入学定員を10名、博士課程後期の入学定員を5名に設定している（2016年度大学基礎データ 新表4）（5-3-6-9）。学生が学位を取得するために水準の高い研究指導をきめ細かく行わなければならないことを考慮すれば、入学定員数は適切である。

在籍学生比率は、2016年度現在、博士課程前期0.15、博士課程後期0.20である（5-3-6-9）ことからすれば、在籍学生数を定員に基づいて適正に管理できているとはいいいがたい。このような状況に対しては、大学院志望の動機をもつ可能性のある学部生への積極的な対応を学部専任教員に要請し、また学部生向けの進学説明会（5-3-6-10）を行い、広報活動につとめている。

博士課程前期

2016年度の 在籍学生数	収容定員に対する 在籍学生数比率	入学定員に対する入学者数比率 (5年間平均)
3	0.15	0.10

博士課程後期

2016年度の 在籍学生数	収容定員に対する 在籍学生数比率	入学定員に対する入学者数比率 (5年間平均)
3	0.20	0.08

(E-30 大学基礎データ 新表4)

〔3-7〕経済学研究科

経済学研究科では博士課程前期の入学定員を10名、博士課程後期の入学定員を5名に設置している（5-3-7-6）。大学院教育での大きな目標が学位申請論文の作成にあり、その作成のための研究指導を教員がきめ細かく行っていく必要があることを鑑みると、入学定員数は適切である。学生の受入れに関しては、受験生の希望する専門分野との兼ね合いがあるため、研究指導教員単位に委ねられる点が多分にあるため、研究科単位として出願希望の学生がどの程度、初期段階（問い合わせレベル）で来ているのかが把握しきれていない部分がある。また、実際に出願がなされ、入学する学生数については、2015年4月に2名、2015年9月に1名、2016年4月に1名、2016年9月に0名と、若干名であり、収容定員を超過することはないが、その反対に全く入学者がないセメスターも存在するので、適正に管理できているとはいい難い状況下にある。（5-3-7-7）

博士課程前期

2016年度の 在籍学生数	収容定員に対する 在籍学生数比率	入学定員に対する入学者数比率 (5年間平均)
5	0.25	0.16

博士課程後期

2016年度の 在籍学生数	収容定員に対する 在籍学生数比率	入学定員に対する入学者数比率 (5年間平均)
0	0.00	0.00

第5章 学生の受け入れ

(E-30 大学基礎データ 新表4)

〔3-8〕法学研究科

東海大学大学院学則別表2に設定されている定員(5-3-8-9)を超える入学は行われていない(5-3-8-10)。他方、2016年度においては、博士課程前期には在籍学生はなく、また、博士課程後期では在籍学生1名という状況にあり、定員の充足状況に問題を残している(5-3-8-11)。

定員充足をめざし、とくに博士課程前期について、推薦入試の説明とあわせて説明会を推薦の主体となる法律学科と連携して行い(5-3-8-12)、また、前記のようにFD委員会が中心となり研究科で学ぶことに関して紹介するポスターを作成、掲示している(5-3-8-8)。

博士課程前期

2016年度の 在籍学生数	収容定員に対する 在籍学生数比率	入学定員に対する入学者数比率 (5年間平均)
0	0.00	0.04

博士課程後期

2016年度の 在籍学生数	収容定員に対する 在籍学生数比率	入学定員に対する入学者数比率 (5年間平均)
1	0.07	0.04

(E-30 大学基礎データ 新表4)

〔3-9〕人間環境学研究科

2015年度の収容定員に対する在籍学生数比率は0.65(在籍学生数13名、収容定員20名)(5-3-9-5)で、収容定員を確保できていない。この未充足の状況を改善するために、教養学部人間環境学科の4年生などに学内メールなどにより進学のご案内を配信し、進学に興味を示している学生については、研究科長、専攻主任、専攻の教務委員及び各学部指導教員がその都度相談に応じている。

2016年度の 在籍学生数	収容定員に対する 在籍学生数比率	入学定員に対する入学者数比率 (5年間平均)
13	0.65	0.66

(E-30 大学基礎データ 新表4)

〔3-10〕芸術学研究科

定員と充足率については「2016年度大学基礎データ新表3」(5-3-10-5)に示している。

近年の入学者数は定員に対して、2012年度1.50倍、2013年度1.25倍、2014年度1.38倍であったが、2015年度は0.63倍、2016年度は0.25倍と減少傾向に転じている。

これは研究科としての定員数が少なく、入学者の多少の増減が数値の変動を大きくしている側面もあるが、総体としては志願者の減少と厳格な合否判断の結果であり、推移を注視しつつ対応

第5章 学生の受け入れ

している。

2016 年度の 在籍学生数	収容定員に対する 在籍学生数比率	入学定員に対する入学者数比率 (5 年間平均)
10	0.63	0.95

(E-30 大学基礎データ 新表4)

〔3-11〕 体育学研究科

2014 度より定員増が認められ、10 名から 15 名となった。2015 年度入試においては、定員 15 名に対し、入学者は 17 名であり、収容人数に関する定員充足率は 1.13、2016 年度入試においては定員 15 名に対し、入学者 26 名、収容人数に関する定員充足率は 1.73 であった (5-3-11-6)。在籍学生数については、収容定員数 30 名に対し 42 名の在籍があり、収容定員に対する在籍学生比率は 1.40 である。(5-3-11-7) 定員に対する入学者はやや多いものの、在籍学生数を概ね適正に管理することはできた。

2016 年度の 在籍学生数	収容定員に対する 在籍学生数比率	入学定員に対する入学者数比率 (5 年間平均)
42	1.40	1.63

(E-30 大学基礎データ 新表4)

〔3-12〕 理学研究科

2016 年度大学基礎データ新表4 (5-3-12-4) にある通り、2016 年度の定員充足率は、理学研究科全体で 1.21 (数理学専攻 0.73、物理学専攻 1.60、化学専攻 1.13) であり、専攻によって大きく上下しているが、理学研究科全体としては概ね適切に管理されている。収容定員に対する在籍学生数比率も、研究科全体で 1.22 (数理学専攻 0.56、物理学専攻 1.75、化学専攻 1.13) であり、理学研究科全体としては概ね適切に管理されている。

2016 年度の 在籍学生数	収容定員に対する 在籍学生数比率	入学定員に対する入学者数比率 (5 年間平均)
78	1.22	1.21

(E-30 大学基礎データ 新表4)

〔3-13〕 工学研究科

2015 年度入学生の定員充足率は 1.39、2016 年度の定員充足率は 1.08 である。(5-3-13-9) 文部科学省への届け出の関係で第 1 期入試 (7 月実施) を実施していない事が原因であるが定員は充足している。また、専攻によって充足状況に差異があるが、全体として在籍学生数は適切に管理されている。

ただし、現状の定員の設定が志願状況と齟齬をきたしている専攻もあり、大幅な超過は教育の

第5章 学生の受け入れ

質の確保の支障となる恐れがあることから、工学研究科では2016年度大学院改組に伴い、母体学科の定員と進学実績、指導教員数を勘案して収容定員の見直しを行った。今後は、見直した結果の妥当性について毎年追跡を行ってゆく。

2016年度の 在籍学生数	収容定員に対する 在籍学生数比率	入学定員に対する入学者数比率 (5年間平均)
491	1.27	1.24

(E-30 大学基礎データ 新表4)

〔3-14〕情報通信学研究科

本研究科では修士課程の入学定員を30名と設定している。これは、情報通信学部 に接続する大学院修士課程の研究科として、情報通信学部定員320名の約10%という値に設定されたものである。この数値は、理工系の研究科として適切なものと考えられる。2016年度大学基礎データ新表4(5-3-14-11)にあるとおり、本研究科では、2012年度の研究科開設からこれまでの4年間の定員充足率(新表4:収容定員に対する在学生数比率)は0.6となっており、定員割れの状態が続いている。

充足率を上げるための取り組みとして、春に情報通信学部の3年次学生に対して大学院進学説明会を実施して推薦入学志望者の獲得に努めている。また、秋に高輪校舎の建学祭(学園祭)において情報通信学部学生に向けて本研 究科学生の活動内容を展示するなど、広報に努めている。

2016年度の 在籍学生数	収容定員に対する 在籍学生数比率	入学定員に対する入学者数比率 (5年間平均)
36	0.60	0.72

(E-30 大学基礎データ 新表4)

〔3-15〕海洋学研究科

2015年度改組により海洋学研究科海洋学専攻の1専攻となり、定員も20名とした。2016年度の入学者数は22名であり、定員を満たした。(5-3-15-5) また、在籍者は、収容定員40名に対し、42名であり、適正に管理されている。(5-3-15-6)

2016年度の 在籍学生数	収容定員に対する 在籍学生数比率	入学定員に対する入学者数比率 (5年間平均)
42	1.05	0.70

(E-30 大学基礎データ 新表4)

〔3-16〕医学研究科

修士課程の収容定員に対する在籍学生数比率は、0.85であり、適切に管理されている。博士課程の収容定員に対する在籍学生数比率は、入学志望者が臨床研修医の人数と関連することもあり、

第5章 学生の受け入れ

0.50 である(5-3-16-7)。

研究分野によっては、海外からの留学生を厳正な合否判定により積極的に受け入れており、博士課程に3名の留学生が在籍している(5-3-16-8)。

修士課程

2016年度の 在籍学生数	収容定員に対する 在籍学生数比率	入学定員に対する入学者数比率 (5年間平均)
17	0.85	0.82

博士課程

2016年度の 在籍学生数	収容定員に対する 在籍学生数比率	入学定員に対する入学者数比率 (5年間平均)
70	0.50	0.40

(E-30 大学基礎データ 新表4)

〔3-17〕健康科学研究科

2016年度の健康科学研究科看護学専攻の大学院生は定員20名に対し15名、保健福祉学専攻では定員20名に対し13名の大学院生であった。(5-3-17-8)

年度により未充足率の高い場合(5-3-17-9)もあるが、厳正な合否判定を行うとともに、収容定員に基づき適正に管理している

2016年度の 在籍学生数	収容定員に対する 在籍学生数比率	入学定員に対する入学者数比率 (5年間平均)
28	0.70	0.68

(E-30 大学基礎データ 新表4)

〔3-18〕産業工学研究科

産業工学研究科の定員は3専攻共に一学年8名、合計24名の定員である。2015年度の在籍学生数は2年次3名、1年次3名の合計6名で、充足率0.125と大幅な定員割れとなっている(5-3-18-9)。基盤となる産業工学部・総合経営学部の大幅な定員割れに伴い、2013年度改組が実施され、募集停止になったことが主な原因と考えられる。

2016年度の 在籍学生数	収容定員に対する 在籍学生数比率	入学定員に対する入学者数比率 (5年間平均)
3	0.06	0.09

(E-30 大学基礎データ 新表4)

〔3-19〕農学研究科

農学研究科は、生命現象や生物機能の解析及びその応用について総括的に教育・研究するため

第5章 学生の受け入れ

に農学専攻1専攻を設置し、その定員を各学年12名、収容定員24名としている(5-3-19-6)。2012年度～2016年度実施の選抜試験における志願者は8～21名(平均14.0名)であり、受験者数が入学定員を上回っていることから定員の設定は適切であるものとする。また、定員に対する入学者数の各年度の割合は58.3%～133.0%で推移している。2016年度の在籍者数は1年次生7名及び2年次生13名であり(5-3-19-7)、収容定員に対する充足率は0.83となり、若干少ないものの8割を超えており、ほぼ適切に管理されている(5-3-19-6)。今後は、研究指導教員の人数や教育・研究の質の担保を考慮しながら、定員の確保を目指すとともに、慎重な在学生数の管理が必要である。

2016年度の 在籍学生数	収容定員に対する 在籍学生数比率	入学定員に対する入学者数比率 (5年間平均)
20	0.83	0.95

(E-30 大学基礎データ 新表4)

(4) 学生募集及び入学者選抜は、学生の受入れ方針に基づき、公正かつ適切に実施されているかについて、定期的に検証を行っているか。

[1] 大学全体

学生の受入れ方針が、適切に運用されているかを入学時の新入生基礎学力テストを利用して入試制度の改革に活用している。(E-31) 入試制度の検討改革は、入試企画専門委員会での検討、入試企画委員会で検討・承認を得ている(E-32)。また、各種入試制度の募集人数については、過去の志願状況を踏まえ、入学センターを中心に検討し、原案を各学部・研究科に提案し、学部・研究科で検討後、承認されている。(E-33)

[2-1] 文学部

各入試における実施上の問題点、改善要望事項がある場合には、学部代表の委員を通じ入試企画専門委員会での検討することになっている。また、各学科・専攻は、付属高校からの進学希望者との面談や、A0入試・公募推薦入試等での面接試験の結果、各種入試で入学した学生の成績等を踏まえて、受け入れ方針の告知の仕方や入学者選抜基準の見直し等を行っている。

[2-2] 政治経済学部

学生の受入れ方針が適切に運用されているか、入学センターと連携を取りながらデータをチェックしている。入学センターによる入学後の追跡調査の結果等を踏まえ、入試種別ごとの入学後の学修状況などを把握し、各学科の主任が中心となって、学部長と協議しながら、入試種別ごとの目標人数、各学科における指定校推薦の際の指定校選定見直しなどを実施している。これらの協議、見直しについては各年度末に実施している。こうした手続きを通じて、受入れ方針に合致した学生の確保に努めている。

〔2-3〕法学部

入学センター等全学の関係部署において組織的、定期的に検証が行われるほか、法学部としても、教授会における募集計画案、合否判定案の審議に際しての検討などを通じて、随時検証を行っている（5-2-3-5）。ただし、学部における検証は、検証結果を改善に結びつけるプロセスを含め、いっそう体系化する余地がある。

〔2-4〕教養学部

学生募集及び入学者選抜については、入学課などと連携して原則として1年に1回募集要項などの見直しを行っている。また、それらの要項などについては学内の関連部署及び学部長会議などで検証と承認の作業が行われている。

〔2-5〕体育学部

体育学部においては、入学センターが実施している「学生の受入れ方針適切化運用についての入学後追跡調査」を踏まえ、本学部の入試制度の改革・改善に活用している。各入試における実施上の問題点、改善要望事項がある場合には、学部代表の委員を通じ入試企画専門委員会で検討することになっている。加えて、体育学部入試委員会が運営する入試内での問題点や改善要望がある場合には、学部主任・副主任会でのさらなる検討を重ね入試企画専門委員会にて提案を行っている。このような多面的なプロセスを踏まえ、適切な運営に努めている。

〔2-6〕理学部

理学部主任会において定期的に検証を行っており、選抜方式毎の入学定員などの見直しを行っている。変更が必要な場合は、学部案を大学執行部に提出している。

〔2-7〕情報理工学部

入学センターによる入学後の追跡調査の結果を、学部長・学科主任・入試企画専門委員会委員による指定校推薦入試やAO入試・公募制推薦入試での選抜基準の見直しの参考資料としている。

〔2-8〕工学部

学生の募集や受け入れ方針については「東海大学 TOKAI UNIVERSITY GUIDE BOOK 2016（大学案内）」（5-2-8-1 pp.142-157）ならびに各種「入学試験要項」（5-2-8-2～9）、受験生向けの「学科案内（工学部各学科専攻）」（5-2-8-10～23）にて大学、工学部さらには各学科のアドミッション・ポリシーが明示されており、これら資料改訂時に工学部ならびに各学科専攻が必ず見直している。また、入学者の選抜はこれらアドミッション・ポリシーを規範として、様々な入学者選抜試験ごとに入学センター・入学課より提示された入学判定資料に基づき、各学科専攻主任と工学部長が協議して判定案を作成し、工学部長が最終的な判断を行い、上程する。なお、学生の受け入れ方針が適切に運用されているか、入学後の追跡調査が入学センターにて行われ、定期的に検証されている。この結果を踏まえ、入試制度の改革や指定校推薦入試における指定校選定の資料等に活用している。

〔2-9〕観光学部

すでに触れたように、本学には入試企画専門委員会並びにその上位組織である入試企画委員会があり、本学部の学生募集と入学者選抜のあり方について毎年度検証が行われ、公正さと適切さを保つように配慮されている。学部においては、入学者の学業成績（GPA など）を手掛かりとして、成績不振者への学修指導を各指導教員が実施し、学生の受け入れ方針の適切さを随時検証している。

〔2-10〕情報通信学部

学生の受入れ方針が、適切に運用されているかについて入学後の追跡調査を入学センターにて行っている。その結果を入試制度の改革に活用している。

〔2-11〕海洋学部

各学科において、入学形態ごとに学生レベルなどを把握している。これらの状況については、各学科・専攻での会議において情報共有し、学生の受け入れ方針が適切に運用されているかの検討を行っている。

大学全体として、各学部より選出の委員で構成される入試企画専門委員会を組織し、入試について検討を行っている。本学部からこの委員会に委員を選出している。また、大学全体として、各学部より選出の委員で構成される常任広報委員会を組織し、広報活動の検討を行っている。本学部からこの委員会に委員を選出している。また、各種入試制度の募集人数については、過去の志願状況を踏まえ、入学センターを中心に検討し、原案を各学部に提案し、学部で検討後、承認されている。

広報活動については、上記検討に基づいて学生募集や受け入れ方針の戦略が学部の広報委員会で検討された後、各学部・大学院より選出された委員で構成される常任広報委員会（5-2-11-8-10）にて検討及び承認を行っている。

〔2-12〕医学部

上述のとおり、医学部には入学試験企画委員会を設置し、毎年の入学試験要項について前年度実績などをもとに検討している。基本的に入学試験に関しては医学部入学試験企画検討委員会を中心に企画・実施・検証を行うが、その議事内容については、医学部協議会・医学部教授会において説明され、承認を受けている。（5-2-12-3）

〔2-13〕健康科学部

学生募集及び入学者選抜については、受験者数を参考に、改善の必要があれば、入学課と学部長・学科主任とで協議している。また、入学課より学部に、入学者選抜の変更等について提案があった場合は、学部教授会で審議し、入学課へその結果を報告し、入試企画専門委員会・入試専門委員会で、審議・決定されている。

指定校推薦入試について検証し、次年度の指定校推薦入試の指定校について検討し（5-2-13-16、17）、入学課へ提出した。看護学科では質の高い学生を確保するために、2015 年度入試の結果を

第5章 学生の受け入れ

もとに入学課と協議し、一般入試の理科の選択範囲を変更した。社会福祉学科では、AO入試の課題につき検証するとともに、理系文系統一入試に参加をすることとした。

〔2-14〕経営学部

学生募集及び入学者選抜は、学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に実施されているかについては、次年度の入試についての検討の中などで自己点検・評価を行うなかで検証している（5-2-14-7 2016年度第1回入試企画専門委員会議題）。

〔2-15〕基盤工学部

学生の受入れ方針に基づき、学部長、学科主任、入試企画専門委員を中心に公正で適切に実施している。

〔2-16〕農学部

学生募集に関しては年に4回常任広報委員会を開催している他、学部単位での広報委員会を実施し、学生募集に関する活動を検証している（5-2-16-10）。

入学者選抜の結果は月に一度開催される教授会で報告されている（5-2-16-11）。特に指定校推薦では指定校の見直しを行う必要があるため、毎年各学科及び学部で検討し、入試結果についても教授会で検証している（5-2-16-11）。

〔2-17〕国際文化学部

本学部では、1-(1)で述べた学部のアドミッション・ポリシーに基づいて、入学者の選抜を行っている。特に、推薦系入試においては、学部・学科に対する志望動機と学べる内容の理解度を精査し、アドミッション・ポリシーに対する理解度を厳格に評価している。また、本学部の性格上、専門分野の基礎的知識やフィールド指向の学修に対する意欲が求められるため、公募制推薦入試では、これらの入学に際して必要な基礎学力や素養が担保できるような課題を設定している（5-2-17-3 p. 39）。

また、学力選抜系入試では、学部のアドミッション・ポリシーに基づく入試を行うため、英語、社会といった試験科目を重視し、必要な学力を総合的にみられるように配点を設定している（5-2-17-3 p. 17、p. 24）。

〔2-18〕生物学部

学生の受入れ方針が、適切に運用されているか入学後の追跡調査を入学センターで定期的に検証している。その結果を踏まえ、入試制度改革や指定校選定の資料等に活用している。

〔3-2〕総合理工学研究科

学生募集、入学者選抜は、公正かつ適切に実施している。また、セメスター毎に入学者数の推移を教授会に報告するとともに、研究科長、専攻主任、教務委員で検証している。また、2015年度より進学者を増加させるべく、学費の軽減、奨学制度の拡充などを大学運営本部と議論を開始し、2016年度も継続している。

〔3-3〕地球環境科学研究科

入学者選抜に関しては、研究科長、主任、指導予定教員によって専門性や人物評価を行うことで公正かつ適切に実施している。一方、学生募集については、定員を満たしていない点で適切性に欠くが、FD活動（5-3-3-6）によって打開策を検討している。

〔3-4〕生物科学研究科

入学者選抜の結果は、年2回の入試時期に開催される教授会で報告され、学生募集などについて定期的に検証を行っている。

〔3-5〕文学研究科

文学研究科では、学生募集及び入学選抜のあり方について定期的に検証するための委員会組織は設置していない。しかし、研究科長・専攻主任・常任教務委員とで構成し、年間4回から5回程度開催される専攻主任会議において、入試制度全般について検討が行われている。改定の必要があれば、研究科教授会において審議・検討することになっている。

〔3-6〕政治学研究科

学生募集及び入学者選抜のあり方については、研究科内に検証のための常設の機関を設けてはいないが、毎年入学試験要項及び入学試験問題の作成時に、研究科長・主任・教務委員・入試企画専門委員それぞれによる点検の後、問題点等についての協議を行っており、改訂の必要がある場合は研究科教授会において審議を行っている。

〔3-7〕経済学研究科

大学院入試の可否判定の教授会の際に、必要に応じて入試の実施に関する問題点の確認を行っており、その際に検証がなされている。

〔3-8〕法学研究科

研究科内に定期的に検証を行うことを目的とした特別の委員会等は設置していないが、学内の入試企画専門委員会（大学院部会）（5-3-8-13）の委員に法学研究科から1名選出され、学内全体の入試企画の検討に加わり検証を行っている。

〔3-9〕人間環境学研究科

学生募集及び入学者選抜については、学内の関係部署において継続した検証が行われているが、研究科においても入学試験などの機会にその都度検討している。

〔3-10〕芸術学研究科

芸術学研究科では、これらを専門的かつ定期的に検証するための委員会組織は設置していない。しかしながら春秋のⅠ期、Ⅱ期の推薦・一般入学試験を中心とした機会に、両専攻主任ならびに教務委員、研究科長で検証しつつ入学者選抜を行っている。

第5章 学生の受け入れ

また内容を改定する必要がある場合は、規程等で定めてはいないが、研究科教授会において審議・検討の上、大学に上程する手順としている。

〔3-11〕体育学研究科

本学入学センターから定期的に学生募集及び入学者選抜についての確認依頼が来るので、そのタイミングにあわせて定期的に検証を行っている（5-3-11-8、9）。

〔3-12〕理学研究科

研究科主任会において定期的に検証しており、特に推薦入試の推薦基準などについて検討を行っている。

〔3-13〕工学研究科

学生の受入れ方針については、定期的な検証を行っている。2016年度の大学院改組に伴い、各専攻での入学者選抜方法を見直した。（5-3-13-10）

〔3-14〕情報通信学研究科

学生の受入れ方針が、適切に運用されているかについて入学後の追跡調査を入学センターにて行っている。その結果を入試制度の改革等に活用している。また、本研究科では、大学院入試問題作成委員会において、前回入試結果の評価を踏まえて各科目の試験問題の適切性の検証を行っている。

〔3-15〕海洋学研究科

入学者選抜の筆記試験問題の作成においては、研究科教授会の承認により入試問題作成委員を選出し、この委員で、すべての問題を吟味し、公正かつ適切な試験となるよう検討している。改善が必要な場合には研究科教授会に提案し、審議している。

〔3-16〕医学研究科

学生の受入れ方針が、適切に運用されているか入学後の追跡調査を入学センターにて行っている。その結果を踏まえ、入試制度の改革や大学院進学に直結する学部や他大学からの卒業研究生選定の資料等に活用している。

〔3-17〕健康科学研究科

学生の受入れ方針が、適切に適用されているかについては、入試結果等を受け、大学院教授会で審議し、必要に応じて入試制度改革（社会人推薦入試の導入など）を行っている（5-3-17-10）。

〔3-18〕産業工学研究科

学生募集は毎年大学院のパンフレット（5-3-18-2）を作成し、希望者に配布している。入学選抜は入試企画委員会、入試企画専門委員会で毎年、入学選抜の方式、時期などの入試基本要項

第5章 学生の受け入れ

(5-3-18-4～7)を検討し、公正かつ適切に実施するように検討している。

〔3-19〕農学研究科

入試制度については、入学センターを中心に組織的に検討されてきており、研究科からは入試企画専門委員が関与している。農学研究科内には、学生募集及び入学者選抜のあり方について定期的に検証する委員会等の組織は設置されていない。しかしながら、入学者選抜実施における問題・改善点については、次年度入試要項の策定期間が実際的な検証の機会となっており、随時必要な情報は教員間で共有するようにしている。また、検討が必要な場合は研究科評価委員会等で予め審議し、さらに研究科教授会で議論後承認を得ることにしている(5-3-19-8)。2016年度は教員(学部)の異動があったため、次年度以降入試へ向けた専門試験科目の確認と検証を行った(5-3-19-9)。

2. 点検・評価

＜基準5の充足状況＞

学士課程及び修士(博士前期)課程、博士(博士後期)課程の学生の受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)については、オフィシャルサイトに明記するとともに、各種印刷媒体にも掲載している。

各学部、研究科においては、上述した学生の受け入れ方針に基づき、多様な学生を募集するため様々な入試制度を設けている。各入試では、面接、調査書、学科試験等を用いて、アドミッション・ポリシーの理解及び基礎学力を判定し、選抜している。また、学長を委員長とする判定委員会を開催し、合否判定を行うことで、入学者選抜に関する透明性を確保している。

直近5年間の学部の入学定員充足率は、全体で1.04から1.07となっており、適切に管理されている。大学院については、研究科によって充足状況に差異が生じている。これは、学部と異なり研究のトレンドによって出願状況が変動するためであり、質の確保の観点から容認している。

一方収容定員に対する学士課程における在籍学生比率(収容定員に対する充足率)は、学部によって差があるものの、0.81から1.14の範囲に収まっており、適正に管理されている。大学院においては、研究科間にかなりの差が見られるが、上述したように、入学定員の未充足や超過に対する対応策をとることにより、適正化を目指している。

入試制度の策定から試験実施における検討事項や改善要求については、各学部・大学院より選出された委員で構成される入試企画専門委員会を組織し、学部入試及び大学院入試について検討を行っている。この委員会で決定した事項は上位組織の入試企画委員会にて検討され、最終的な承認を得ている。これらの会議体を定期的を開催することによって、入試制度全般の検証を実施している。

以上のことから、基準5は充足している。

① 効果が上がっている事項

〔1〕大学全体

第5章 学生の受け入れ

アドミッション・ポリシーについては、「東海大学ガイドブック」(E-1)、「入学試験要項」(E-2～15、E-18～23)、「大学院ガイド」(E-16)や本学オフィシャルサイト(E-17)を通じ広く公開されており、本学を志望する学生に適切に提示されていると評価できる。

学生募集、入学者選抜については、各種「入学試験要項」(E-2～15、E-18～23)、「東海大学 入試情報」(E-27)にて適切に情報提供を行っており、またその周知についても入学センターの職員だけでなく、学内各部署の協力によって動員された入学アドバイザーが積極的に広報活動を展開しており、適切な周知ができているものと評価できる。

全体の学部の入学定員充足率は1.04から1.07、の範囲におさまっており、適切に管理できている。

入試企画専門委員会、入試企画委員会、常任広報委員会など各会議体にて学生募集、入学者選抜に公平性や適切性について検討を行っている。ここでの決定を踏まえ、次年度の入試制度改革や新規広報企画の策定等の改善が行われており、検証の仕組みが十分機能していると評価できる。

〔2-1〕文学部

学生募集に関して、文学部独自の組織的な取り組みが行われた。学部内に設置された広報部会による小冊子や学科紹介ビデオの制作などを通じ、各学科・専攻の学生受入れ方針（アドミッション・ポリシー）の浸透が図られた。

〔2-2〕政治経済学部

学部のアドミッション・ポリシーについては「大学案内」(5-2-2-1 p.107)、本学オフィシャルサイトで公開されており(5-2-2-5)、政治経済学部を志望する学生に対して適切に提示されていると評価できる。

〔2-3〕法学部

学生の受入れ方針を明示し、それに基づいて学生募集、入学者選抜を行うことにより、また、定員を設定・管理することにより、学部の理念・目的及び教育目標の効果的な実現が図られている。

〔2-5〕体育学部

高校からの出前授業依頼及び予備校からの依頼等に対応していることや、在学生の評判を高めることで、受験希望者を減少させずに維持できている。また競技スポーツで優秀な成果を収めていることも大きな要因となっている。

〔2-6〕理学部

いずれの学科も入学定員充足率は1を超えている。また、2012年度は理学部全体で1.20であったが、年々適正值である定員数に近づくよう調整を行い、2014年度以降は1.06から1.09となっている(5-2-6-8)。

〔2-7〕情報理工学部

学生募集に関して、大学公式 Web サイトへの継続的なニュース記事の掲載、学科独自の Web サイトやパンフレット及び SNS (facebook) を用いた積極的な広報を行い、定員の充足だけでなく、志願者数の大幅増を実現している（全入試種別総計で、2012 年度 1,292 人、2016 年度 1,907 人）（5-2-7-21 情報理工学部）。

〔2-9〕観光学部

学生の定員確保は学部開設以来、堅調に推移しており、定員充足率はほぼ1.1水準で適切に管理できている。さらに受験生の偏差値も向上している（5-2-9-10）。

なお、インターネット出願を前期日程にも適用することで、本学部を志望する学生の利便性向上が図られた。インターネット出願は他大学での導入も進んでおり、本学部を併願先とする受験生の増加が期待できる。また、多様な学生を確保するためにも、本学部を志望する学生の地域的偏在の解消にも資するものである。

〔2-10〕情報通信学部

本学部の学生募集、入学者選抜については、各種「入学試験要項」、「東海大学 入試情報」にて適切に情報提供を行っており、またその周知においても、本学の入学センター職員だけでなく、本学部の教職員も積極的に広報活動に参画しており、適切な周知ができていると評価できる。

本学部の定員充足率は 1.09～1.19 の範囲にあり、おおむね適切に管理できている（5-2-10-17）。

本学部から選出した委員が参加する入試企画専門委員会、入試企画委員会、常任広報委員会などの各会議体において、学生募集、入学者選抜における公平性や適切性について、大学全体として検討を行っている。ここでの決定を踏まえ、次年度の入試制度改革や新規広報企画の策定等の改善が行われ、検証の仕組みが機能していると評価できる。

〔2-11〕海洋学部

学生受け入れ方針は入試要項や本学オフィシャルサイトを通じて広く公開している。学科ごとの学びの特徴などについての詳細事項については、東海大学海洋学部案内 2016 の学科紹介欄（5-2-11-2）に示すとともに、東海大学海洋学部オフィシャルサイト（5-2-11-3）でも公開している。

全体の定員充足率は、全体で 0.98 から 1.03 となっており、適切に管理できている（5-2-11-8）。

〔2-12〕医学部

・一般入学試験において、補欠者は順位を付与して発表するなど、受験生からも不正な繰り上げがなされていないことが確認できる仕組みを取り入れ、透明性を高めている。

・より多様な人材を確保するために、2016 年度入試より、大学入試センター試験利用入学試験（前期）・（後期）を実施した。

〔2-15〕基盤工学部

アドミッション・ポリシーについては、大学案内、学部ガイドや本学オフィシャルサイトを通じ広く公開されており、本学部を志望する学生に適切に提示されていると評価できる。

学生募集、入学者選抜については、学部教員全員がオープンキャンパス、各種大学説明会、高校からの要請による模擬授業、体験授業に積極的に関与している点は評価できる（5-2-15-14）～5-2-15-16）が、まだ成果は上がっていない。

〔2-16〕農学部

今年度のオープンキャンパス実施は震災の影響で1回のみとなったが、例年と同程度の参加者数があった。特に今年度は保護者より高校生の参加割合が上昇しており、本学部への興味を誘起している（5-2-16-7）。

〔2-18〕生物学部

アドミッション・ポリシーについては、「入試要項」や本学オフィシャルサイトを通じ広く公開されており、本学を志望する受験生に適切に提示されていると評価できる。学生募集、入者選抜については「入学試験要項」、「入試情報」にて適切に情報提供を行っている。生物学部については、定員充足率が1.11であり、適切に管理できている（5-2-18-16）。

〔3-2〕総合理工学研究科

一般入学試験のみならず、推薦入試、社会人特別入試、国際方式等による留学生の受け入れなど、様々な入試制度を設けている（5-3-2-2～7）。留学生の場合には、英語で実施し、本学各キャンパスの修士課程からの入学希望者の場合には、TV会議システムを活用している。教員の研究内容は、英文和文併記の個人ファイル「研究事例紹介」をオフィシャルサイトに掲げている（5-3-2-6）。

〔3-6〕政治学研究科

広報委員会を中心に、学部4年生に限定せず、全学年を対象として学部生向けに大学院内部進学説明会（5-3-6-10）をセメスターごとに行い、研究科にたいする学部生の認知の改善をはかっている。

〔3-13〕工学研究科

入学者選抜方法については、留学生に配慮すべく、昨年度から全専攻で和文・英文の併記を実施（5-3-13-7）しており、公正な入学者選抜の実施に努力している。

〔3-16〕医学研究科

アドミッション・ポリシーについては、「入試要項」や本学オフィシャルサイトを通じ広く公開されており、本学を志望する学生に適切に提示されていると評価できる。

〔3-17〕健康科学研究科

社会人推薦入試の導入により、保健福祉学専攻の入学者減少に一定の歯止めはかけられている。保健福祉学専攻では、在籍学生数8名（2014年度）（5-3-17-11）から12名（2015年度）に増加した（5-3-17-12）。

〔3-19〕農学研究科

アドミッション・ポリシーは「大学院ガイド」で広く公開されており、志望する学生に適切に明示されている。また、学内においては入学当初に東海大学農学教育システムの紹介の中でも本研究科の入試制度について言及し対応している。

② 改善すべき事項

〔1〕大学全体

学部・学科毎のアドミッション・ポリシーの掲載が、本学オフィシャルサイト（E-24）、東海大学ガイド（学部）、学部学科案内（学部）（E-34）、大学院ガイド（研究科）の複数媒体でなされているが、今後整理していく必要がある。

〔2-3〕法学部

入学するに当たって修得しておくべき知識及び障がいのある学生の受け入れ方針の明示が不十分である。学生募集及び入学者選抜に係る学部としての検証につき、検証結果を改善に結びつけるプロセスを含め、いっそう体系化する余地がある。

〔2-4〕教養学部

人間環境学科及び国際学科においてA0入試の入学者が募集定員の2倍を超える状況が継続しており、改善に向けた努力が必要である。また芸術学科における附属校推薦入学者についても2倍を超えており、改善を要する。

障がいのある学生に対する受け入れ方針の明示についても対策が必要である。

〔2-6〕理学部

各選抜方式での入学者の割合は、理学部全体では適正であると考えているが、付属校推薦での入学者が募集定員の2倍を超えている学科がある。

〔2-7〕情報理工学部

学部として志願者数の増加、安定的な定員充足を達成しているが、より優秀な入学者を選抜するには、さらに志願者数を増加させる必要がある。特にコンピュータ応用工学科は2013年度から入学者の定員充足は達成しているが、一般入試での志願者数をさらに増やすことで入学者レベルの向上が期待できる。また、情報系学部としては女子学生比率がやや低いので、女子志願者を増やすための施策も必要と考える。

〔2-8〕工学部

前述したように、航空宇宙学科航空操縦学専攻などのように定員充足率が1を割る学科専攻もあるが、通常の入学試験方法の外、適性検査や航空身体検査など選抜上の特殊性が影響していることが考えられる。今後は入学センターや入試広報課と共同して学生募集や入試広報・企画に関する改善を行い、定員充足率向上を図る。

〔2-9〕観光学部

本学部のアドミッション・ポリシーを掲載する際に、本学部が要請する基礎学力の水準についても掲載し、全ての受験生に周知し、厳格に適用していく必要がある。

〔2-10〕情報通信学部

本学部の各学科のアドミッション・ポリシーの掲載が、「学科案内」と本学オフィシャルサイトに限られており、今後は、各種「入学試験要項」にも掲載し、一層の周知を図る必要がある。

〔2-12〕医学部

学生の受け入れ方針として、修得しておくべき知識等の水準、障がいのある学生の受け入れについて明示していない点を改善しなければならない。

〔2-13〕健康科学部

社会福祉学科では2016年度、入学者が定員に達しなかった。
両学科とも、編入学定員を設けているが、受験者数が減少し定員が満たされていない(5-2-13-14)。編入生の定員数変更を計画していく。

〔2-14〕経営学部

観光ビジネス学科の定員の充足率が0.64と低い。学科の認知度をもう少し上げることと、観光ビジネスという分野への理解度を受験生や保護者に深めることが必要であり、そのための努力が必要である。

〔2-15〕基盤工学部

電気電子情報工学科は定員確保ができていない状況であり、定員確保に向けて、新たな学生募集の方法を検討する必要がある。医療福祉工学科については、入試偏差値を上げるために、学力選抜試験の志願者を増やす必要がある。

〔2-16〕農学部

本学部が設置されている熊本県出身学生の割合が、相対的に減少する傾向がみられる(5-2-16-12)。地域貢献を担う研究内容を含むことから、今後、熊本県出身学生に向けた募集活動を積極的に実施する必要がある。

〔2-17〕国際文化学部

本学部設置の3学科のうち、2学科は収容定員を充足できておらず、教育課程及び学生募集活動の早急な改善が求められる(5-2-17-4)。特に、受験生のニーズに合った教育課程の整備や進学する可能性の高い受験生を対象を特定した戦略的な広報活動を実践する。同時に、収容定員が受験生の数に対して適正であるかどうかについて大学執行部と協議する。

〔2-18〕生物学部

学部・学科の内容、アドミッション・ポリシーの一層の周知を図る。

〔3-2〕総合理工学研究科

定員に対する充足率は、50%弱で推移している(5-3-2-8、9)。研究科として入学者の増加を目標にしている。特に、本学修士課程からの進学者を増やすことが課題である。また、留学生用の必要書類が必ずしも英文化されていない。

〔3-3〕地球環境科学研究科

進学者を増やすこと。特に、国際的に大学院生を募集するためには大学として英語の要項やHPの開設が必要と考える。

〔3-4〕生物科学研究科

博士課程後期への進学は明確な志望動機とともに資質も重要な要素になっているため、積極的な志願者確保を行っていないが、学生確保のために高い専門的思考と技術を教育できる魅力ある環境構築を行い、改善に向けた取り組みが必要である。また本研究科は博士課程後期の独立した研究科であるため、修士課程、あるいは博士課程前期の研究科とのつながりが不明確であるため、広報を推進し、改善に努める必要がある。また学生にもわかりやすく一貫性がある体制を考える必要がある。

〔3-5〕文学研究科

定員充足については、未充足の専攻のより一層の広報の推進に加え、育成しようとする人材について検討し、受験生や社会の要請に合わせた教育課程の改定、収容定員の見直し等の施策を行い改善に努める必要がある。

〔3-7〕経済学研究科

定員については未充足の状況が続いているため、改善策を検討する必要がある。

出願希望の学生は、まず指導を希望する教員に個別にメールないし電話で問い合わせて来る場合がほとんどである。

問い合わせがあれば、そのつど当該教員が事前に面談をし、今後について検討しているが、そうしたアプローチ情報の共有が教員間で十分にはできていない。

この点を定期的に報告し、希望人数やアプローチの多い時期、学生の質などの傾向を組織的に

把握し、対応していく。

〔3-8〕 法学研究科

定員の充足状況を改善しなければならない状況にある。

〔3-9〕 人間環境学研究科

収容定員を確保する必要がある。

〔3-10〕 芸術学研究科

収容定員に対する充足率が減少している状況を改善するために、本研究科の設置基盤となっている教養学部芸術学科との連携を強化して、内部進学者数を向上させる必要がある。

〔3-11〕 体育学研究科

学生が希望する研究領域に偏りが見られる事態の解決の方法、ならびに定員増（15 名から 20 名へ）の検討が必要である。

本研究科に入学するにあたり、修得しておくべき知識等の内容・水準を明示できていない。

〔3-12〕 理学研究科

理学研究科としては、充足率が 1.20 を僅かながら超えている。また、数理学専攻では、年度によって定員充足率が 1.00 に達しないことがある。

〔3-13〕 工学研究科

他大学からの学生は、現状では極めて少ない。

〔3-14〕 情報通信学研究科

本研究科では定員充足率が 0.6 と定員割れの状態にあり、適切な管理ができていたとは言えない。本研究科では、他大学の卒業生や留学生を含む多様な人材を受け入れることを表明し、広く門戸を開いている。しかし、一方で、入学者の主な出身大学として本学の情報通信学部を想定している。これまでのところ内部進学者の数が期待値を下回っている。定員充足に向けて、今後、より多くの情報通信学部の卒業生を本研究科に受け入れるようにする必要がある。

〔3-15〕 海洋学研究科

現在の在学生の大部分が学内からの進学者であり、他大学からの進学者は1名である。他大学からの進学者も受け入れられるような魅力を発信することが必要である。

〔3-17〕 健康科学研究科

看護学専攻では収容定員の 75%、保健福祉学専攻では 65% の学生数であり (5-3-17-10)、対応策が必要である。

〔3-18〕産業工学研究科

学生定員の充足率が大幅に低くなっている。

3. 将来に向けた発展方策

① 効果が上がっている事項

〔1〕大学全体

学科毎のアドミッション・ポリシーの周知をより進めるため本学オフィシャルサイト(E-17)への誘導を図る。にまた、アドミッションズ・オフィス入学試験、推薦入学試験、一般入学試験に関するアドミッション・ポリシーを作成し、学生募集を展開する。

定員管理をより厳格に行い、全体の定員充足率を1.05未満とする。

適切な学生募集活動をさらに発展させるためにインターネット出願を拡大し、本学を志望する受験生の出願の利便性を向上させる。

〔2-1〕文学部

今後も、小冊子や学科紹介ビデオの内容の更新を継続して行っていく。

〔2-2〕政治経済学部

各学科のアドミッション・ポリシーが「大学案内」に掲載されていないため、関係部署と協議の上、掲載する。

〔2-3〕法学部

学生の受け入れ方針を基礎とした適切な選抜方法の採用・運用及び適切な学生収容定員・在籍学生数を維持するとともに、これらのことを通じて教育成果を上げる。

〔2-5〕体育学部

今後も在学生の競技スポーツでの優秀な成果等を活用し、受験希望者を獲得すべく、広報活動（高校・中学における出前授業、予備校活用、等）を積極的に推進する。

〔2-6〕理学部

中途退学者が出ることを考慮すると、現在の定員充足率が適正であると考えられるので、合格判定を慎重に行い現在の定員充足率を維持する。

〔2-7〕情報理工学部

積極的な広報活動を継続させ、さらなる志願者の増加を目指す。また、人数だけでなく勉学意欲の高い志願者を集めるために、魅力ある研究成果の発信にも注力する。

〔2-9〕観光学部

学部開設以来、継続して十分な志願者数を確保することができており、さらに受験者の偏差値

第5章 学生の受け入れ

も向上しつつあることから、この傾向をさらに維持し続けるようにする。

〔2-10〕情報通信学部

本学部の各学科のアドミッション・ポリシーの周知をより進めるため、掲載を本学オフィシャルサイトに加えて、「東海大学 大学案内」と「学科案内」へと拡大する。

定員管理をより厳格に行い、学部の定員充足率を1.05未満とする。

適切な学生募集活動をさらに発展させるためにインターネット出願を拡大し、本学部を志望する学生の利便性を向上させる。

〔2-11〕海洋学部

学科ごとの学びの特徴をより周知するため、アドミッション・ポリシーの掲載を本学オフィシャルサイト(5-2-11-3)に加えて「東海大学 大学案内」(5-2-11-1)へと拡大する。

〔2-12〕医学部

・医学部における他大学の動向として、受験者に対する試験結果の開示等の透明性を高める取り組みが進んでいる。入試判定の透明性をより高めるには、他大学の動向をふまえた方策を入学センターとともに検討する。

〔2-15〕基盤工学部

2018年度カリキュラム改訂においても、アドミッション・ポリシーが本学部を志望する学生に浸透するよう広報活動を継続していく。

学生募集については、高校からの要請による模擬授業、工業高校や理数科のある高校との高大連携イベントの支援、SPP, SSH 等の高校のサイエンス系のプログラム支援、小中学校向けの科学の広場やものづくり教室等の活発な学外活動をさらに推進していく。

〔2-16〕農学部

移動模擬授業、オープンキャンパス等、高校生と直接的に接する機会を持つことで学生募集の効果が上がっていることが推察される。今後はその内容の充実、実施時期の見直し等を図るため、今年度は担当教員の一部変更を行い新たな内容を見直す。

〔2-18〕生物学部

生物理工学部から比較して、生物学部は北海道外（本州以南）からの志願者数が多い（約8割）ことは、全国的に生物学部の認知度が上がっていると評価できる（5-2-18-17）。今後も引き続き、情報提供を図る。

〔3-2〕総合理工学研究科

教員の研究内容ファイルの更新や、新たな教員の研究内容掲載など、きめ細かく、素早く、対応を図る。

〔3-6〕政治学研究科

これまでも行われてきた大学院内部進学説明会を、従来入学の実績のある学部学科を中心に、政治学科以外の他学部他学科生に対しても周知するかたちで開催する。

〔3-13〕工学研究科

入試の和文・英文の併記については、各専攻において試験問題に対するミスがないよう、十分な相互チェックを行うようにする。

他大学からの学生に対する推薦入試制度の導入を東海大学入学課に提案した。(5-3-13-11) 今後も継続して提案、検討を重ねていく。

〔3-16〕医学研究科

多様な医学研究分野を医学研究科ホームページ等(5-3-16-9)で広報することにより、学内だけでなく、学外及び海外からも本学を志望する学生を受け入れることにつながっている。今後、英語での広報を拡充するなど、多様な学生を確保する方策をさらに充実させていく。

〔3-17〕健康科学研究科

社会人向けの広報活動(リーフレットの配布)は、現在、神奈川県のみであるが、東京都などに拡大を検討する。

〔3-19〕農学研究科

今後より適切な学生募集ならびに入学者選抜の実施のために学生の受入れ方針を適切に公開するとともに、その透明性を維持していく。

② 改善すべき事項

〔1〕大学全体

学部・学科毎のアドミッション・ポリシーの掲載が、本学オフィシャルサイト(E-24)、東海大学ガイド(学部)、学部学科案内(学部)(E-34)、大学院ガイド(研究科)の複数媒体でなされているため、2017年度中に整理する。

〔2-3〕法学部

入学前に修得しておくべき知識及び障がいのある学生の受け入れ方針を学部として設定することにつき、次回アドミッション・ポリシー改訂時までには検討する。また、学生募集及び入学者選抜に係る体系的な検証について、学部としての検討を直ちに開始する。

〔2-4〕教養学部

人間環境学科、国際学科のA0入試、ならびに芸術学科の附属校推薦入試について入学者が募集定員の2倍を超えていることについては、学科・課程での選抜方法を厳格化するとともに、学生

第5章 学生の受け入れ

募集定員の振り分けについて、入学課など関連部署と連携して検討を続ける。

また、障がいのある学生の受け入れ方針については、「障がいを持つ学生に対する基本方針」(5-2-4-8)に従い、明示する。

〔2-6〕理学部

付属校推薦での入学者が募集定員の2倍を超えないよう、定員管理を厳しく行う。

〔2-7〕情報理工学部

コンピュータ応用工学科の志願者増のため、コンピュータシステムやロボットといった、学科の特徴的な教育研究分野の広報強化を行う。また、女子志願者増に向けて、これまで継続して行っている女子在学生向けイベントの開催とその広報に加えて、活躍する在学生や卒業生の紹介などロールモデルの提示も有効と考える。これらも学科 web サイト及び facebook ページを利用して積極的な広報を行う方針である。

〔2-8〕工学部

前述したように、工学部としての定員充足率はほぼ1を超えているが、1を割り込む学科専攻が存在することも事実である。そこで、AO（アドミッションズ・オフィス）入学試験や指定校・公募制推薦入学試験の受験者数増加のために、オープンキャンパスの質（内容）の充実を考えている。

〔2-9〕観光学部

今後重視しなければならないのは、入学生の基礎学力水準の確保であり、一定水準以上の学生を選抜する仕組みの導入を図る。具体的には、学生の受け入れ方針に、本学部が要請する基礎学力の水準について明記し、さらに受験に際して統一テストや公開模擬試験等での成績を提出させるなどして、基礎学力をチェックする過程を組み込む。

また、本学部の広報活動のさらなる推進を図る。増加しつつある外国人留学生のために、英語の入学試験要項の作成や本学オフィシャルサイト(5-2-9-6)の英字サイトのさらなる充実を図るとともに、高校、予備校等への周知も強化する。

〔2-10〕情報通信学部

本学部の各学科のアドミッション・ポリシーの掲載を今後は「東海大学 大学案内」や「学科案内」にも掲載し、一層の周知を図る。

本学部では2018年度にカリキュラム改定が行われる計画であり、改定されたカリキュラム・ポリシーに合わせてアドミッション・ポリシーを再検討・改定する。

〔2-12〕医学部

大学入試センター試験利用入試（前期・後期）を導入したことにより、神奈川県地域枠入学試験において志願者数の減少と合格最低点の低下が見られている。入学試験間で難易度の差が生じ

第5章 学生の受け入れ

ないようにするとともに、入学者の質の低下を生じないような方策の検討を行う。

学生の受け入れ方針として、修得しておくべき知識等の水準、障がいのある学生の受け入れについて明示できていないため、今後検討する。

〔2-13〕健康科学部

社会福祉学科の志願者数を増やすために、学科ホームページでの情報発信の充実等、広報活動を充実させる。A0入試の課題の検証、指定校推薦入試の指定校の拡充などを行う。

編入学定員に関しては、編入学の社会的意義をふまえ、今後のあり方を検討し、看護学科では、2018年度に向け、定員を廃止し、若干名の募集とすることを検討する。社会福祉学科では、学部の収容定員の変更をせずに編入学定員を廃止し、若干名の募集に移行できるかの検討を行う。

〔2-14〕経営学部

観光ビジネス学科の定員の充足率が現状では低い、学科の存在が社会に少しずつ認知され、わずかながらでも入学者数が増加傾向にあるので、今後、学科教育内容や活動内容をより多くの人々に知って頂くような広報活動を強化する。

〔2-15〕基盤工学部

電気電子情報工学科は、外部に対して学科の魅力を伝える努力が不足している可能性があるため、Facebookや学科ホームページをさらに充実させることにより、学科の活動を広く知らしめていく。

医療福祉工学科は臨床工学技士を育成する学科であるが、一般的には未だ臨床工学技士の認知度が低い。熊本県臨床工学技士会と協力して、特に熊本県内の進学校を中心に認知度向上のための説明会や高校訪問を積極的に行っていく。

〔2-16〕農学部

次年度以降も今年度とほぼ同一の定員を設定し、募集活動、入学者選抜を実施するが、募集活動と選抜試験の関連性を検証し、適切な内容と開催時期を見直す。

〔2-17〕国際文化学部

- 1) 定員充足率が著しく低い学科については大学執行部と協議し、募集活動の改善を図る。
- 2) 2018年度カリキュラム改訂においては、受験生のニーズに合った教育課程を整備することにより、海外留学の充実、全国規模でのキャリア支援等、東海大学のスケールメリットに基づく魅力を提示することにより、入学難易度以上の付加価値を受験生にアピールする。

〔2-18〕生物学部

生物学部では、付属高校からの推薦入学者が大学全体で定めた目標より少ない傾向にある。今後は、本学が目指す一貫教育に向けて、各付属高校での学部学科説明会などで生徒だけでなく、保護者や高校教員などともコミュニケーションをはかり、学部・学科の内容、アドミッション・

第5章 学生の受け入れ

ポリシーの一層の周知を図る。今後も北海道内を始め、全国に向けて生物学部の情報を積極的に発信してゆく。具体的な企画の一つとしては2016年9月に学部独自のリーフレットを作成し、関西圏の高校を中心に配布する。

〔3-2〕 総合理工学研究科

修士課程の各研究科と密接に連携し、進学者の向上を目指したい。本学修士課程からの進学者に対する入学時負担金の軽減、奨学金制度の拡充などを提案する。また、必要書類の英文化を、国際部、教務課大学院担当等と連携して推進する。

〔3-3〕 地球環境科学研究科

FD活動で議論した結果や、英語のHP開設について研究科長から大学院運営委員長に意見具申してゆく。

〔3-4〕 生物科学研究科

学生の受け入れ方針などは明確に示されているので、本学オフィシャルサイト(5-3-4-7)を通して積極的に学内外に拡大する。また、外国人留学生の増加を図るために、英字の入学試験要項の作成や本学オフィシャルサイトの英字サイト(5-3-4-9)を充実させる。さらに、総合理工学研究科や地球環境科学研究科との専攻分野の見直しについて検討する。定員に対して未充足である原因について関連研究科の学生にアンケートをとるなど、その原因を客観的に調査する。

〔3-5〕 文学研究科

各専攻において、文学部との連続性を重視し、専攻ごとに発行した学術雑誌等をもとに、学部学生への大学院への認知度を高める努力をし、より幅広い知識と学問的経験を得るという大学院進学の意味を提起する。

〔3-7〕 経済学研究科

広報活動については主に研究科長、研究科主任、常任教務委員、常任広報委員までの関与に留まっているので、FD活動ともリンクさせながら、全教員が学生募集活動に関わり、指導教員としての受け持ちや、研究生の受け入れを積極的に行っていく必要がある。

特に、一般学生の進学をいかに増やすか、また、社会人の入学をいかに促すかについては改善の余地が大きく残っており、そのためにはアピールが必要である。具体的には、現在、担当科目だけが記載されているオフィシャルサイトでの教員紹介(5-3-7-8)に、最新の研究内容や研究論文のPDF、教員に関する記事(大学新聞への寄稿、学内外での活動など)といったものがリンクされるような作りにして、それをもとに発信力の強い広報活動を積極的に行っていくことが求められるため、関係部署に改善の要望を行う。

そうしたアピールを通じて、各教員に問い合わせのあったものについてはすべて教員間で情報を共有し、組織的に対応を実施していくことで定員充足につなげていく。

〔3-8〕 法学研究科

入学者を増加させ収容定員の充足率を高めるため、上記の説明会の実施（5-3-8-12）及びポスター（5-3-8-8）の作成、掲示は続ける。また、法学研究科への進学への動機づけをはかるため、「資格試験に役立つコース」に関して、今年度FD委員会で検討する（5-3-8-7）。

〔3-9〕 人間環境学研究科

収容定員の確保に向けて教授会を構成する教員をはじめ、その他の学部やセンター所属教員及び非常勤教員などとも意見交換を行い、具体的な方策を検討するとともに、ホームページなどを通じて学内外へ広報を行う。

〔3-10〕 芸術学研究科

充足率改善に向け、研究科としての広報活動の充実を推進する他、内部進学が見込まれる教養学部芸術学科や国際文化学部文化デザイン学科との連携を一層緊密なものとする。

そのため、教務委員会を中心に双方の学部学生に働きかけを行う他、「先行履修制度」の認知度を高め、積極的に利用させる活動も展開する。また、近年増加している留学生についても、「国際教育センター」や「別科日本語研修課程」と連携し、継続的な受験生確保を続ける。

以上を通して、研究科全体として入学定員（8名）を確保する。

〔3-11〕 体育学研究科

体育学研究科において適切な収容定員の再考が必要である。学生が希望する研究領域に偏りが見られる事態の解決の方法、ならびに定員増（15名から20名へ）にむけて、継続して検討する。既に、高等教育課、入試課をはじめとする関係各部署と連携して、手続き等について検討している最中である。

修得しておくべき知識等の内容・水準の明示については、今年度中に詳細の検討を実施する。

〔3-12〕 理学研究科

物理学専攻と化学専攻では、入学試験の合否判定において、充足率が1.20を超えないように十分検討を行う。

数学科と情報数理学科の学部教育において、大学院進学の意味や利点を説明し、大学院進学希望者を増やす。さらに、数理学専攻では、研究の魅力や修了後の就職について、大学院進学希望者が増えるような情報を学部生に与える。

〔3-13〕 工学研究科

他大学からの学生に対する推薦入試制度の導入を東海大学入学課に提案した。（5-3-13-11） 今後も継続して提案、検討を重ねていく。

〔3-14〕 情報通信学研究科

これまでも情報通信学部の各学科3年次生向けに進学説明会を開催したり、建学祭で活動内容

第5章 学生の受け入れ

を展示したり、広報に努めてきたが、本研究科の存在ならびに本研究科の3つのポリシーについて一層の周知を図る。情報通信学部からの内部進学者のみでの定員充足を目指し、進学説明会の回数を増やすなど、広報を強化する。

〔3-15〕海洋学研究科

大学院の魅力を学部生及び他大学、社会に発信することを目指し、毎年、海洋学部で開催している公開セミナー、シンポジウムに大学院生を参加させることを企画する。

〔3-17〕健康科学研究科

保健福祉学専攻の大学院生数を充足させるべく、広報活動を拡大していく。

看護学専攻では、博士課程設置を視野に入れ、教育内容を充実させていく。さらに、社会人も学びやすい仕組みづくり（サテライト講義、長期履修制度の導入など）を作るための調整も進めていく。

〔3-18〕産業工学研究科

学生募集停止が決定されているため、特になし。

4. 根拠資料

〔1〕大学全体

- E-1 東海大学 大学案内 2016（既出 A-4）
- E-2 2016 年度東海大学入学試験要項 アドミSSIONズ・オフィス入学試験（学科課題型）
- E-3 2016 年度東海大学入学試験要項 アドミSSIONズ・オフィス入学試験（学科課題型）第二次選考
- E-4 2016 年度東海大学入学試験要項 スポーツ・音楽優秀者アドミSSIONズ・オフィス入学試験
- E-5 2016 年度東海大学入学試験要項 アドミSSIONズ・オフィス入学試験（適性面接型）
- E-6 2016 年度東海大学入学試験要項 同窓会アドミSSIONズ・オフィス入学試験
- E-7 2016 年度東海大学入学試験要項 公募制推薦入学試験
- E-8 2016 年度東海大学入学試験要項 指定校推薦入学試験
- E-9 2016 年度東海大学入学試験要項 企業推薦入学試験
- E-10 2016 年度東海大学入学試験要項 一般入学試験・センター試験利用入学試験
- E-11 2016 年度東海大学入学試験要項 工学部航空宇宙学科航空操縦学専攻入学試験
- E-12 2016 年度東海大学入学試験要項 医学部神奈川県地域枠入学試験
- E-13 2016 年度東海大学入学試験要項 スポーツ優秀者特別入学試験
- E-14 2016 年度東海大学入学試験要項 健康科学部編入学試験（学园内推薦・学园内社会人推薦）
- E-15 2016 年度東海大学入学試験要項 健康科学部編入学試験（一般）
- E-16 東海大学 大学院ガイド 2016（既出 A-13、14）

第5章 学生の受け入れ

- E-17 東海大学オフィシャルサイト アドミッション・ポリシー
http://www.u-tokai.ac.jp/about/philosophy_history/concept/admission_policy.html
- E-18 2016 年度東海大学大学院春学期一般・社会人特別入学試験要項
- E-19 2016 年度東海大学大学院春学期推薦入学試験要項
- E-20 2015 年度東海大学大学院秋学期一般・社会人特別入学試験要項
- E-21 2016 年度東海大学大学院 工学研究科春学期一般・社会人特別（第2期）入学試験要項
- E-22 2016 年度東海大学大学院 工学研究科春学期推薦（第1期・第2期）入学試験要項
- E-23 2016 年度東海大学大学院秋学期推薦入学試験要項
- E-24 東海大学オフィシャルサイト 入試情報
http://www.u-tokai.ac.jp/prospective_students/admission_app/
- E-25 東海大学の障がい学生支援に関する取り組みについて
<http://www.u-tokai.ac.jp/effort/activities/support.html>
- E-26 平成28年度（2016年度）障害のある学生の修学支援に関する実態調査〔提出調査票7. 障害学生数 写し〕
- E-27 東海大学 入試情報2016（既出A-38）
- E-28 東海大学オフィシャルサイト 英字サイト
<http://www.u-tokai.ac.jp/english/>
- E-29 大学基礎データ 2016 新表3_学部・学科、大学院研究科、専門職大学院の志願者・合格者・入学者の推移
- E-30 大学基礎データ 2016 新表4_学部・学科、大学院研究科、専門職大学院等の学生定員及び在籍学生数
- E-31 2016 年度第2回学部長会議 資料28-2-2
- E-32 東海大学入学試験運用組織及び業務分掌規程
- E-33 2016 年度東海大学大学院入試要項人数（案）について
- E-34 東海大学 学部・学科案内（既出A-39～101）

〔2-1〕文学部

- 5-2-1-1 東海大学 TOKAI UNIVERSITY GUIDE BOOK 2016（大学案内）（既出A-4）
- 5-2-1-2 文学部 各学科案内（既出A-39～52）
- 5-2-1-3 東海大学オフィシャルサイト アドミッション・ポリシー（既出E-17）
- 5-2-1-4 入学試験要項（既出E-2～10, 13）
- 5-2-1-5 東海大学オフィシャルサイト 入試情報（既出E-24）
- 5-2-1-6 東海大学文学部14学科・専攻ガイド（抜粋）
- 5-2-1-7 学科紹介ニュースレター（ヨーロッパ文明学科、北欧学科、文芸創作学科）
- 5-2-1-8 東海大学入試情報（既出A-38）
- 5-2-1-9 大学基礎データ 2016 新表4_学部・学科、大学院研究科、専門職大学院等の学生定員及び在籍学生数（既出E-30）

第5章 学生の受け入れ

[2-2] 政治経済学部

- 5-2-2-1 東海大学 TOKAI UNIVEERSITY GUIDE BOOK 2016 (大学案内) (既出 A-4)
- 5-2-2-2 2016 年度 政治学科案内 (既出 A-53)
- 5-2-2-3 2016 年度 経済学科案内 (既出 A-54)
- 5-2-2-4 2016 年度 経営学科案内 (既出 A-55)
- 5-2-2-5 東海大学オフィシャルサイト アドミッション・ポリシー (既出 E-17)
- 5-2-2-6 東海大学入試情報 (既出 A-38)
- 5-2-2-7 東海大学オフィシャルサイト 入試情報 (既出 E-24)
- 5-2-2-8 大学基礎データ 2016 新表 3_学部・学科、大学院研究科、専門職大学院の志願者・合格者・入学者の推移 (既出 E-29)
- 5-2-2-9 大学基礎データ 2016 新表 4_学部・学科、大学院研究科、専門職大学院等の学生定員及び在籍学生数 (既出 E-30)

[2-3] 法学部

- 5-2-3-1 東海大学 TOKAI UNIVEERSITY GUIDE BOOK 2016 (大学案内) (既出 A-4)
- 5-2-3-2 学部、学科案内 GUIDE BOOK 法学部法律学科 (既出 A-56)
- 5-2-3-3 東海大学オフィシャルサイト アドミッション・ポリシー (既出 E-17)
- 5-2-3-4 入学試験要項 (既出 E-2～E-10, E-13, E-18)
- 5-2-3-5 スポーツ優秀者 A0 入試検討資料
- 5-2-3-6 大学基礎データ 2016 新表 3_学部・学科、大学院研究科、専門職大学院の志願者・合格者・入学者の推移 (既出 E-29)
- 5-2-3-7 大学基礎データ 2016 新表 4_学部・学科、大学院研究科、専門職大学院等の学生定員及び在籍学生数 (既出 E-30)

[2-4] 教養学部

- 5-2-4-1 東海大学オフィシャルサイト アドミッションポリシー (既出 E-17)
- 5-2-4-2 東海大学入学試験要項 (既出 E-2～4, 6～10, 13～14)
- 5-2-4-3 東海大学オフィシャルサイト 受験生の方
http://www.u-tokai.ac.jp/prospective_students/
- 5-2-4-4 東海大学入試情報 (既出 A-38)
- 5-2-4-5 大学基礎データ 2016 新表 4_学部・学科、大学院研究科、専門職大学院等の学生定員及び在籍学生数 (既出 E-30)
- 5-2-4-6 大学基準協会「改善報告書検討結果 (東海大学)」
- 5-2-4-7 大学基礎データ 2016 新表 3_学部・学科、大学院研究科、専門職大学院の志願者・合格者・入学者の推移 (既出 E-29)
- 5-2-4-8 東海大学の障がい学生支援に関する取り組みについて (既出 E-25)

第5章 学生の受け入れ

〔2-5〕 体育学部

- 5-2-5-1 東海大学 TOKAI UNIVEERSITY GUIDE BOOK 2016 (大学案内) (既出 A-4)
- 5-2-5-2 東海大学オフィシャルサイト アドミッションポリシー (既出 E-17)
- 5-2-5-3 2016 年度東海大学入試要項 アドミッション・オフィス入学試験 (学科課題型) (既出 E-2)
- 5-2-5-4 2016 年度東海大学入試要項 スポーツ・音楽優秀者アドミッション・オフィス入学試験 (既出 E-4)
- 5-2-5-5 2016 年度東海大学入試要項 同窓会アドミッション・オフィス入学試験 (既出 E-6)
- 5-2-5-6 2016 年度東海大学入試要項 公募制推薦入学試験 (既出 E-7)
- 5-2-5-7 2016 年度東海大学入試要項 一般入学試験・センター試験利用入学試験 (既出 E-10)
- 5-2-5-8 2016 年度東海大学入試要項 スポーツ優秀者特別入学試験 (既出 E-13)
- 5-2-5-9 東海大学オフィシャルサイト 入試情報 (既出 E-24)
- 5-2-5-10 2015 年度 模擬授業 学科依頼状況
- 5-2-5-11 2015 年度 体育学部 広報関係業務 (オープンキャンパス 説明会) 関係スケジュール
- 5-2-5-12 2015 年度 入試企画専門委員会 (学部部会) 議事録
- 5-2-5-13 東海大学常任委員及び広報員の選出について (依頼)
- 5-2-5-14 東海大学 入試情報 (既出 A-38)
- 5-2-5-15 大学基礎データ 2016 新表 4_学部・学科、大学院研究科、専門職大学院等の学生定員及び在籍学生数 (既出 E-30)
- 5-2-5-16 2016 年度 (秋学期)・2017 年度 (春学期) 入学試験関係各種委員会等予定表

〔2-6〕 理学部

- 5-2-6-1 東海大学オフィシャルサイト アドミッションポリシー (既出 E-17)
- 5-2-6-2 東海大学 TOKAI UNIVERSITY GUIDE BOOK 2016 (大学案内) (既出 A-4)
- 5-2-6-3 理学部数学科 学科案内 (既出 A-68)
- 5-2-6-4 理学部情報数理学科 学科案内 (既出 A-69)
- 5-2-6-5 理学部物理学科 学科案内 (既出 A-70)
- 5-2-6-6 理学部化学科 学科案内 (既出 A-71)
- 5-2-6-7 大学基礎データ 2016 新表 3_学部・学科、大学院研究科、専門職大学院の志願者・合格者・入学者の推移 (既出 E-29)
- 5-2-6-8 大学基礎データ 2016 新表 4_学部・学科、大学院研究科、専門職大学院等の学生定員及び在籍学生数 (既出 E-30)
- 5-2-6-9 東海大学オフィシャルサイト 入試情報 (既出 E-24)
- 5-2-6-10 東海大学 入試情報 2016 (既出 A-38)
- 5-2-6-11 2016 年度東海大学入学試験要項 アドミSSIONズ・オフィス入学試験 (学科課題型) (既出 E-2)
- 5-2-6-12 2016 年度東海大学入学試験要項 スポーツ・音楽優秀者アドミSSIONズ・オフィス

第5章 学生の受け入れ

入学試験（既出 E-4）

- 5-2-6-13 2016 年度東海大学入学試験要項 同窓会アドミッションズ・オフィス入学試験（既出 E-6）
- 5-2-6-14 2016 年度東海大学入学試験要項 公募制推薦入学試験（既出 E-7）
- 5-2-6-15 2016 年度東海大学入学試験要項 指定校推薦入学試験（既出 E-8）
- 5-2-6-16 2016 年度東海大学入学試験要項 企業推薦入学試験（既出 E-9）
- 5-2-6-17 2016 年度東海大学入学試験要項 一般入学試験・センター試験利用入学試験（既出 E-10）

〔2-7〕情報理工学部

- 5-2-7-1 東海大学 TOKAI UNIVEERSITY GUIDE BOOK 2016（大学案内）（既出 A-4）
- 5-2-7-2 東海大学オフィシャルサイト アドミッション・ポリシー（既出 E-17）
- 5-2-7-3 2016 年度東海大学入学試験要項 アドミッションズ・オフィス入学試験（学科課題型）（既出 E-2）
- 5-2-7-4 2016 年度東海大学入学試験要項 スポーツ・音楽優秀者アドミッションズ・オフィス入学試験（既出 E-4）
- 5-2-7-5 2016 年度東海大学入学試験要項 同窓会アドミッションズ・オフィス入学試験（既出 E-6）
- 5-2-7-6 2016 年度東海大学入学試験要項 公募制推薦入学試験（既出 E-7）
- 5-2-7-7 2016 年度東海大学入学試験要項 指定校推薦入学試験（既出 E-8）
- 5-2-7-8 2016 年度東海大学入学試験要項 一般入学試験・センター利用入学試験（既出 E-10）
- 5-2-7-9 東海大学オフィシャルサイト 入試情報（既出 E-24）
- 5-2-7-10 東海大学入試情報（既出 A-38）
- 5-2-7-11 東海大学オフィシャルサイト オープンキャンパス
<http://www.tokai-adm.jp/opencampus/>
- 5-2-7-12 平成 28（2016）年度日本留学フェア（大学間交流促進プログラム：北米）実施要項
- 5-2-7-13 アクセス進学ラボ 家族みんなで使える進学サイト おもしろゼミ・研究室紹介
<https://naninaru.net/shingakulab/special/tekigaku/>
- 5-2-7-14 情報科学科 おもしろ研究室 パンフレット
- 5-2-7-15 情報科学科 web サイト
<http://www.ds.u-tokai.ac.jp>
- 5-2-7-16 コンピュータ応用工学科 web サイト
<http://www.da.u-tokai.ac.jp>
- 5-2-7-17 コンピュータ応用工学科 研究案内&トピックス パンフレット
- 5-2-7-18 情報理工学部 facebook ページ
<https://www.facebook.com/info.sci.tech.tokai>
- 5-2-7-19 情報科学科 facebook ページ
<https://www.facebook.com/info.sci.tokai>

第5章 学生の受け入れ

5-2-7-20 コンピュータ応用工学科 facebook ページ

<https://www.facebook.com/ace.tokai>

5-2-7-21 大学基礎データ 2016 新表 3_学部・学科、大学院研究科、専門職大学院の志願者・合格者・入学者の推移（既出 E-29）

〔2-8〕工学部

5-2-8-1 東海大学 TOKAI UNIVEERSITY GUIDE BOOK 2016（大学案内）（既出 A-4）

5-2-8-2 2016 年度東海大学入学試験要項アドミSSIONズ・オフィス入学試験（学科課題型）（既出 E-2）

5-2-8-3 2016 年度東海大学入学試験要項スポーツ・音楽優秀者アドミSSIONズ・オフィス入学試験（既出 E-3）

5-2-8-4 2016 年度東海大学入学試験要項同窓会アドミSSIONズ・オフィス入学試験（既出 E-6）

5-2-8-5 2016 年度東海大学入学試験要項公募制推薦入学試験（既出 E-7）

5-2-8-6 2016 年度東海大学入学試験要項指定校推薦入学試験（既出 E-8）

5-2-8-7 2016 年度東海大学入学試験要項一般入学試験・センター試験利用入学試験（既出 E-10）

5-2-8-8 2016 年度東海大学入学試験要項工学部航空宇宙学科航空操縦学専攻入学試験（既出 E-11）

5-2-8-9 2016 年度東海大学入学試験要項スポーツ優秀者特別入学試験（既出 E-13）

5-2-8-10～23 学科案内 GUIDE BOOK 2016（工学部各学科専攻）（既出 A-74～87）

5-2-8-24 東海大学オフィシャルサイト 入試情報（既出 E-24）

5-2-8-25 東海大学入試情報（既出 A-38）

5-2-8-26 東海大学オフィシャルサイト 英字サイト（既出 E-28）

5-2-8-27 大学基礎データ 2016 新表 3_学部・学科、大学院研究科、専門職大学院の志願者・合格者・入学者の推移（既出 E-29）

5-2-8-28 大学基礎データ 2016 新表 4_学部・学科、大学院研究科、専門職大学院等の学生定員及び在籍学生数（既出 E-30）

〔2-9〕観光学部

5-2-9-1 東海大学オフィシャルサイト アドミSSION・ポリシー（既出 E-17）

5-2-9-2 大学ポートレート（東海大学観光学部）（既出 4-①-2-9-6）

5-2-9-3 東海大学 TOKAI UNIVERSITY GUIDE BOOK 2016（大学案内）（既出 A-4）

5-2-9-4 2016 年度東海大学入学試験要項（各種・学部・大学院）（既出 E-2～10）

5-2-9-5 東海大学オフィシャルサイト 英字サイト（既出 E-28）

5-2-9-6 東海大学オフィシャルサイト 入試情報（既出 E-24）

5-2-9-7 2016 年度第 1 回入試企画専門委員会議題

5-2-9-8 東海大学常任広報委員会規程（既出 C-20）

5-2-9-9 大学基礎データ 2016 新表 3_学部・学科、大学院研究科、専門職大学院の志願者・合格者・入学者の推移（既出 E-29）

第5章 学生の受け入れ

5-2-9-10 二大予備校別 学科・専攻・課程別偏差値一覧表

〔2-10〕情報通信学部

- 5-2-10-1 東海大学オフィシャルサイト アドミッション・ポリシー (既出 E-17)
- 5-2-10-2 東海大学 大学案内 2016 (既出 A-4)
- 5-2-10-3 2016 年度東海大学学科案内 情報通信学部 情報メディア学科 (既出 A-89)
- 5-2-10-4 2016 年度東海大学学科案内 情報通信学部 組込みソフトウェア工学科 (既出 A-90)
- 5-2-10-5 2016 年度東海大学学科案内 情報通信学部 経営システム工学科 (既出 A-91)
- 5-2-10-6 2016 年度東海大学学科案内 情報通信学部 通信ネットワーク工学科 (既出 A-92)
- 5-2-10-7 2016 年度東海大学入学試験要項 アドミッションズ・オフィス入学試験 (学科課題型) (既出 E-2)
- 5-2-10-8 2016 年度東海大学入学試験要項 同窓会アドミッションズ・オフィス入学試験 (既出 E-6)
- 5-2-10-9 2016 年度東海大学入学試験要項 公募制推薦入学試験 (既出 E-7)
- 5-2-10-10 2016 年度東海大学入学試験要項 指定校推薦入学試験 (既出 E-8)
- 5-2-10-11 2016 年度東海大学入学試験要項 一般入学試験・センター試験利用入学試験 (既出 E-10)
- 5-2-10-12 東海大学オフィシャルサイト 入試情報 (既出 E-24)
- 5-2-10-13 東海大学の障がい学生支援に関する取り組みについて (既出 E-25)
- 5-2-10-14 東海大学 入試情報 (既出 A-38)
- 5-2-10-15 東海大学オフィシャルサイト 英字サイト (既出 E-28)
- 5-2-10-16 2016 年度情報通信学研究科・情報通信学部 各種委員一覧 (既出 1-2-10-7)
- 5-2-10-17 大学基礎データ 2016 新表 4_学部・学科、大学院研究科、専門職大学院等の学生定員及び在籍学生数 (既出 E-30)

〔2-11〕海洋学部

- 5-2-11-1 東海大学 大学案内 2016 (既出 A-4)
- 5-2-11-2 東海大学海洋学部 学部案内 2016 (既出 A-93)
- 5-2-11-3 東海大学海洋学部オフィシャルサイト 学科紹介
<http://www.scc.u-tokai.ac.jp/>
- 5-2-11-4 東海大学オフィシャルサイト アドミッション・ポリシー (既出 E-17)
- 5-2-11-5 2016 年度東海大学入学試験要項 (既出 E-2～10)
- 5-2-11-6 東海大学 入試情報 (既出 A-38)
- 5-2-11-7 東海大学オフィシャルサイト 入試情報 (既出 E-24)
- 5-2-11-8 大学基礎データ 2016 新表 3_学部・学科、大学院研究科、専門職大学院の志願者・合格者・入学者の推移 (既出 E-29)
- 5-2-11-9 大学基礎データ 2016 新表 4_学部・学科、大学院研究科、専門職大学院等の学生定員及び在籍学生数 (既出 E-30)

第5章 学生の受け入れ

5-2-11-10 東海大学常任広報委員会規程（既出 C-20）

〔2-12〕医学部

5-2-12-1 東海大学オフィシャルサイト アドミッション・ポリシー（既出 E-17）

5-2-12-2 学部、学科案内 GUIDE BOOK 医学部（既出 A-94）

5-2-12-3 2016 年度第1回医学部入学試験企画検討委員会議事録

5-2-12-4 大学基礎データ 2016 新表 4_学部・学科、大学院研究科、専門職大学院等の学生定員及び在籍学生数（既出 E-30）

〔2-13〕健康科学部

5-2-13-1 東海大学オフィシャルサイト アドミッション・ポリシー（既出 E-17）

5-2-13-2 学部、学科案内 GUIDE BOOK 健康科学部看護学科（既出 A-95）

5-2-13-3 学部、学科案内 GUIDE BOOK 健康科学部社会福祉学科（既出 A-96）

5-2-13-4 2016 年度東海大学入試要項 アドミッションズ・オフィス入学試験（学科課題型）（既出 E-2）

5-2-13-5 2016 年度東海大学入試要項 同窓会アドミッションズ・オフィス入学試験（既出 E-6）

5-2-13-6 2016 年度東海大学入試要項 公募制推薦入学試験（既出 E-7）

5-2-13-7 2016 年度東海大学入試要項 指定校推薦入学試験（既出 E-8）

5-2-13-8 2016 年度東海大学入試要項 一般入学試験・センター試験利用入学試験（既出 E-10）

5-2-13-9 2016 年度東海大学入試要項健康科学部編入学試験（学园内推薦・学园内社会人推薦）（既出 E-14）

5-2-13-10 2016 年度東海大学入試要項健康科学部編入学試験（一般）（既出 E-15）

5-2-13-11 大学オフィシャルサイト（入試情報）（既出 E-24）

5-2-13-12 東海大学健康科学部ホームページ（既出 1-2-13-5）

5-2-13-13 東海大学入試情報（既出 A-38）

5-2-13-14 大学基礎データ 2016 新表 4_学部・学科、大学院研究科、専門職大学院等の学生定員及び在籍学生数（既出 E-30）

5-2-13-15 大学基礎データ 2016 新表 3_学部・学科、大学院研究科、専門職大学院の志願者・合格者・入学者の推移（既出 E-29）

5-2-13-16 2016 年度 第3回看護学科 学科会議 議事録 抜粋

5-2-13-17 2016 年度 社会福祉学科入試委員会議事録 抜粋

〔2-14〕経営学部

5-2-14-1 東海大学オフィシャルサイト アドミッションポリシー（既出 E-17）

5-2-14-2 2016 年度東海大学入学試験要項（既出 E-2、7、8、10）

5-2-14-3 東海大学オフィシャルサイト 入試情報（既出 E-24）

5-2-14-4 学部、学科案内 GUIDE BOOK 経営学部（既出 A-97）

5-2-14-5 大学基礎データ 2016 新表 4_学部・学科、大学院研究科、専門職大学院等の学生定

第5章 学生の受け入れ

員及び在籍学生数（既出 E-30）

5-2-14-6 東海大学オフィシャルサイト 2016 年度大学在籍者数一覧（5月1日現在）

http://www.u-tokai.ac.jp/about/profile/num_student/

5-2-14-7 2016 年度第1回入試企画専門委員会議題

〔2-15〕基盤工学部

5-2-15-1 東海大学 TOKAI UNIVEERSITY GUIDE BOOK 2016（大学案内）（既出 A-4）

5-2-15-2 学部、学科案内 GUIDE BOOK 基盤工学部（既出 A-98）

5-2-15-3 東海大学オフィシャルサイト 入試情報（既出 E-24）

5-2-15-4 2016 年度東海大学入学試験要項 アドミSSIONズ・オフィス入学試験（学科課題型）（既出 E-2）

5-2-15-5 2016 年度東海大学入学試験要項 アドミSSIONズ・オフィス入学試験（学科課題型）第二次選考（既出 E-3）

5-2-15-6 2016 年度東海大学入学試験要項 スポーツ・音楽優秀者アドミSSIONズ・オフィス入学試験（既出 E-4）

5-2-15-7 2016 年度東海大学入学試験要項 アドミSSIONズ・オフィス入学試験（適性面接型）（既出 E-5）

5-2-15-8 2016 年度東海大学入学試験要項 同窓会アドミSSIONズ・オフィス入学試験（既出 E-6）

5-2-15-9 2016 年度東海大学入学試験要項 公募制推薦入学試験（既出 E-7）

5-2-15-10 2016 年度東海大学入学試験要項 指定校推薦入学試験（既出 E-8）

5-2-15-11 2016 年度東海大学入学試験要項 一般入学試験・センター試験利用入学試験（既出 E-10）

5-2-15-12 東海大学 入試情報（既出 A-38）

5-2-15-13 大学基礎データ 2016 新表 4_学部・学科、大学院研究科、専門職大学院等の学生定員及び在籍学生数（既出 E-30）

5-2-15-14 基盤工学部出前授業一例 ～熊本県立第一高等学校 キャリアガイダンス「夢の架け橋」（第3回）～

<http://sh.higo.ed.jp/dailsh/shinro/キャリアガイダンス/>

5-2-15-15 基盤工学部 入試広報活動

5-2-15-16 基盤工学部 高大連携活動

〔2-16〕農学部

5-2-16-1 東海大学 TOKAI UNIVEERSITY GUIDE BOOK 2016（大学案内）（既出 A-4）

5-2-16-2 学部、学科案内 GUIDE BOOK 農学部（既出 A-99）

5-2-16-3 東海大学オフィシャルサイト アドミSSION・ポリシー（既出 E-17）

5-2-16-4 2016 年度東海大学入学試験要項（既出 E-2～3、5～10）

5-2-16-5 東海大学オフィシャルサイト 入試情報（既出 E-24）

第5章 学生の受け入れ

- 5-2-16-6 2015 年度入試広報関係業務一覧（農学部）
- 5-2-16-7 オープンキャンパス案内 2016_8_7
- 5-2-16-8 東海大学入試情報（既出 A-38）
- 5-2-16-9 大学基礎データ 2016 新表 4_学部・学科、大学院研究科、専門職大学院等の学生定員及び在籍学生数（既出 E-30）
- 5-2-16-10 2016 年_第 1 回常任広報委員会議事録
- 5-2-16-11 農学部教授会議事録
- 5-2-16-12 2015 年度都道府県別在籍数（阿蘇校舎 農学部学生）

〔2-17〕国際文化学部

- 5-2-17-1 東海大学オフィシャルサイト アドミッション・ポリシー（既出 E-17）
- 5-2-17-2 東海大学デジタルライブラリー 学部・学科案内 2017 国際文化学部
（地域創造学科、国際コミュニケーション学科、デザイン文化学科分冊）
<http://tokai-adm.jp/library.html>
- 5-2-17-3 東海大学 入試情報（既出 A-38）
- 5-2-17-4 2016 年度東海大学入学試験要項（既出 E-2～E-10）
- 5-2-17-5 東海大学オフィシャルサイト 入試情報（既出 E-24）
- 5-2-17-6 大学基礎データ 2016 新表 3_学部・学科、大学院研究科、専門職大学院の志願者・合格者・入学者の推移（既出 E-29）
- 5-2-17-7 大学基礎データ 2016 新表 4_学部・学科、大学院研究科、専門職大学院等の学生定員及び在籍学生数（既出 E-30）

〔2-18〕生物学部

- 5-2-18-1 東海大学 TOKAI UNIVEERSITY GUIDE BOOK 2016（大学案内）（既出 A-4）
- 5-2-18-2 2016 年度東海大学入学試験要項 アドミSSIONズ・オフィス入学試験（学科課題型）（既出 E-2）
- 5-2-18-3 2016 年度東海大学入学試験要項 アドミSSIONズ・オフィス入学試験（学科課題型）2 次選考（既出 E-3）
- 5-2-18-4 2016 年度東海大学入学試験要項 アドミSSIONズ・オフィス入学試験（適性面接型）（既出 E-5）
- 5-2-18-5 2016 年度東海大学入学試験要項 スポーツ・音楽優秀者アドミSSIONズ・オフィス入学試験（既出 E-4）
- 5-2-18-6 2016 年度東海大学入学試験要項 一般入学試験・センター試験利用入学試験（既出 E-10）
- 5-2-18-7 2016 年度東海大学入学試験要項 公募制推薦入学試験（既出 E-7）
- 5-2-18-8 2016 年度東海大学入学試験要項 指定校推薦入学試験（既出 E-8）
- 5-2-18-9 2016 年度東海大学入学試験要項 同窓会アドミSSIONズ・オフィス入学試験（既出 E-6）

第5章 学生の受け入れ

- 5-2-18-10 東海大学オフィシャルサイト アドミッション・ポリシー (既出 E-17)
- 5-2-18-11 東海大学オフィシャルサイト (入試情報) (既出 E-24)
- 5-2-18-12 東海大学入試情報 (既出 A-38)
- 5-2-18-13 東海大学入学試験運営組織及び業務分掌規程 (既出 E-32)
- 5-2-18-14 東海大学常任広報委員会規程 (既出 C-20)
- 5-2-18-15 大学基礎データ 2016 新表 3_学部・学科、大学院研究科、専門職大学院の志願者・合格者・入学者の推移 (既出 E-29)
- 5-2-18-16 大学基礎データ 2016 新表 4_学部・学科、大学院研究科、専門職大学院等の学生定員及び在籍学生数 (既出 E-30)
- 5-2-18-17 生物学部と生物理工学部との比較 (志願者)

[3-2] 総合理工学研究科

- 5-3-2-1 東海大学オフィシャルサイト アドミッション・ポリシー (既出 E-17)
- 5-3-2-2 2016 年度東海大学大学院春学期一般・社会人特別入学試験要項 (既出 E-18)
- 5-3-2-3 2016 年度東海大学大学院春学期推薦入学試験要項 (既出 E-19)
- 5-3-2-4 2016 年度東海大学大学院秋学期一般・社会人特別入学試験要項 (既出 E-20)
- 5-3-2-5 2016 年度東海大学大学院秋学期推薦入学試験要項 (既出 E-23)
- 5-3-2-6 東海大学オフィシャルサイト 総合理工学研究科 総合理工学専攻 (博士課程) (既出 1-3-2-2)
- 5-3-2-7 東海大学オフィシャルサイト 入試情報 (既出 E-24)
- 5-3-2-8 大学基礎データ 2016 新表 3_学部・学科、大学院研究科、専門職大学院の志願者・合格者・入学者の推移 (既出 E-29)
- 5-3-2-9 大学基礎データ 2016 新表 4_学部・学科、大学院研究科、専門職大学院等の学生定員及び在籍学生数 (既出 E-30)

[3-3] 地球環境科学研究科

- 5-3-3-1 東海大学オフィシャルサイト アドミッション・ポリシー (既出 E-17)
- 5-3-3-2 2016 年度東海大学大学院要項 (I) (既出 A-36)
- 5-3-3-3 東海大学大学院学則 (既出 A-7)
- 5-3-3-4 東海大学入試情報 (既出 A-38)
- 5-3-3-5 東海大学オフィシャルサイト 入試情報 (既出 E-24)
- 5-3-3-6 2016 年度 FD 活動計画書 (大学院) (既出 C-61)

[3-4] 生物科学研究科

- 5-3-4-1 東海大学オフィシャルサイト アドミッション・ポリシー (既出 E-17)
- 5-3-4-2 2016 年度 東海大学大学院ガイド (既出 A-13)
- 5-3-4-3 2016 年度東海大学大学院春学期一般・社会人特別入学試験要項 (既出 E-18)
- 5-3-4-4 2016 年度東海大学大学院春学期推薦入学試験要項 (既出 E-19)

第5章 学生の受け入れ

- 5-3-4-5 2015 年度東海大学大学院秋学期一般・社会人特別入学試験要項（既出 E-20）
- 5-3-4-6 2016 年度東海大学大学院秋学期推薦入学試験要項（既出 E-23）
- 5-3-4-7 東海大学オフィシャルサイト 入試情報 入試概要 大学院入学試験 生物科学研究科（博士課程）
http://www.u-tokai.ac.jp/prospective_students/admission_app/examination_about/graduate/d03.html
- 5-3-4-8 大学基礎データ 2016 新表 3_学部・学科、大学院研究科、専門職大学院の志願者・合格者・入学者の推移（既出 E-29）
- 5-3-4-9 東海大学オフィシャルサイト 英字サイト（既出 E-28）

〔3-5〕文学研究科

- 5-3-5-1 2016 年度 東海大学大学院ガイド（既出 A-13）
- 5-3-5-2 東海大学オフィシャルサイト アドミッション・ポリシー（既出 E-17）
- 5-3-5-3 入学試験要項（既出 E-18～20, 23）
- 5-3-5-4 東海大学オフィシャルサイト 入試情報（既出 E-24）
- 5-3-5-5 大学基礎データ 2016 新表 3_学部・学科、大学院研究科、専門職大学院の志願者・合格者・入学者の推移（既出 E-29）
- 5-3-5-6 大学基礎データ 2016 新表 4_学部・学科、大学院研究科、専門職大学院等の学生定員及び在籍学生数（既出 E-30）
- 5-3-5-7 2015 年度ミッション・シェアリング・シート（文学研究科）（既出 1-3-5-6）

〔3-6〕政治学研究科

- 5-3-6-1 東海大学オフィシャルサイト アドミッション・ポリシー（既出 E-17）
- 5-3-6-2 東海大学大学院ガイド（既出 A-13）
- 5-3-6-3 2016 年度東海大学大学院春学期一般・社会人特別入学試験要項（既出 E-18）
- 5-3-6-4 2016 年度東海大学大学院春学期推薦入学試験要項（既出 E-19）
- 5-3-6-5 2015 年度東海大学大学院秋学期一般・社会人特別入学試験要項（既出 E-20）
- 5-3-6-6 2016 年度東海大学大学院秋学期推薦入学試験要項（既出 E-23）
- 5-3-6-7 東海大学の障がい学生支援に関する取り組みについて（既出 E-25）
- 5-3-6-8 東海大学オフィシャルサイト 入試情報（既出 E-24）
- 5-3-6-9 大学基礎データ 2016 新表 4_学部・学科、大学院研究科、専門職大学院等の学生定員及び在籍学生数（既出 E-30）
- 5-3-6-10 政治学研究科 大学院内部進学説明会ポスター

〔3-7〕経済学研究科

- 5-3-7-1 東海大学オフィシャルサイト アドミッション・ポリシー（既出 E-17）
- 5-3-7-2 2016 年度東海大学大学院春学期一般・社会人特別入学試験要項（既出 E-18）
- 5-3-7-3 2016 年度東海大学大学院春学期推薦入学試験要項（既出 E-19）

第5章 学生の受け入れ

- 5-3-7-4 2015 年度東海大学大学院秋学期一般・社会人特別入学試験要項（既出 E-20）
- 5-3-7-5 2016 年度東海大学大学院秋学期推薦入学試験要項（既出 E-23）
- 5-3-7-6 大学基礎データ 2016 新表 4_学部・学科、大学院研究科、専門職大学院等の学生定員及び在籍学生数（既出 E-30）
- 5-3-7-7 大学基礎データ 2016 新表 3_学部・学科、大学院研究科、専門職大学院の志願者・合格者・入学者の推移（既出 E-29）
- 5-3-7-8 東海大学オフィシャルサイト(経済学研究科 教員紹介)
<http://www.u-tokai.ac.jp/academics/graduate/economics/academic/>

〔3-8〕 法学研究科

- 5-3-8-1 東海大学オフィシャルサイト アドミッション・ポリシー（既出 E-17）
- 5-3-8-2 2016 年度東海大学大学院ガイド（既出 A-13）
- 5-3-8-3 2016 年度東海大学大学院春学期一般・社会人特別入試試験要項（既出 E-18）
- 5-3-8-4 2016 年度東海大学大学院春学期推薦入学試験要項（既出 E-19）
- 5-3-8-5 2016 年度東海大学大学院秋学期一般・社会人特別入学試験要項（既出 E-20）
- 5-3-8-6 2016 年度東海大学大学院秋学期推薦入学試験要項（既出 E-23）
- 5-3-8-7 2016 年度 FD 活動計画書（大学院）（既出 C-61）
- 5-3-8-8 掲示ポスター（法学研究科）
- 5-3-8-9 東海大学大学院学則 別表 2
- 5-3-8-10 大学基礎データ 2016 新表 3_学部・学科、大学院研究科、専門職大学院の志願者・合格者・入学者の推移（既出 E-29）
- 5-3-8-11 大学基礎データ 2016 新表 4_学部・学科、大学院研究科、専門職大学院等の学生定員及び在籍学生数（既出 E-30）
- 5-3-8-12 掲示（一部）大学院法学研究科進学に関する説明会のお知らせ
- 5-3-8-13 2016 年度学部選任学内諸委員 学部専任学部内諸委員（既出 3-3-8-5）

〔3-9〕 人間環境学研究科

- 5-3-9-1 東海大学オフィシャルサイト アドミッション・ポリシー（既出 E-17）
- 5-3-9-2 東海大学大学院入学試験要項（既出 E-18、E-19、E-20、E-23）
- 5-3-9-3 東海大学の障がい学生支援に関する取り組みについて（既出 E-25）
- 5-3-9-4 東海大学オフィシャルサイト 入試情報 大学院入学試験（既出 E-24）
- 5-3-9-5 大学基礎データ 2016 新表 4_学部・学科、大学院研究科、専門職大学院等の学生定員及び在籍学生数（既出 E-30）

〔3-10〕 芸術学研究科

- 5-3-10-1 東海大学オフィシャルサイト アドミッション・ポリシー（既出 E-17）
- 5-3-10-2 東海大学大学院ガイド（既出 A-13）
- 5-3-10-3 各種入学試験要項

第5章 学生の受け入れ

2016 年度東海大学大学院春学期一般・社会人特別入学試験要項（既出 E-18）

2016 年度東海大学大学院春学期推薦入学試験要項（既出 E-19）

2015 年度東海大学大学院秋学期一般・社会人特別入学試験要項（既出 E-20）

2016 年度東海大学大学院秋学期推薦入学試験要項（既出 E-23）

5-3-10-4 東海大学オフィシャルサイト 入試情報（既出 E-24）

5-3-10-5 大学基礎データ 2016 新表 3_学部・学科、大学院研究科、専門職大学院の志願者・合格者・入学者の推移（既出 E-29）

〔3-11〕体育学研究科

5-3-11-1 2016 年度 東海大学大学院ガイド（既出 A-13）

5-3-11-2 東海大学オフィシャルサイト アドミッションポリシー（既出 E-17）

5-3-11-3 東海大学の障がい学生支援に関する取り組みについて（既出 E-25）

5-3-11-4 2016 年度東海大学大学院入学試験要項（既出 E-18～19、23）

5-3-11-5 東海大学オフィシャルサイト 大学院入学試験 体育学研究科

http://www.u-tokai.ac.jp/prospective_students/admission_app/examination_about/graduate/m13.html

5-3-11-6 大学基礎データ 2016 新表 3_学部・学科、大学院研究科、専門職大学院の志願者・合格者・入学者の推移（既出 E-29）

5-3-11-7 大学基礎データ 2016 新表 4_学部・学科、大学院研究科、専門職大学院等の学生定員及び在籍学生数（既出 E-30）

5-3-11-8 2016 年度東海大学大学院入試要項人数（案）について（既出 E-33）

5-3-11-9 2016 年第4回研究科議事録

〔3-12〕理学研究科

5-3-12-1 東海大学オフィシャルサイト アドミッション・ポリシー（既出 E-17）

5-3-12-2 東海大学オフィシャルサイト 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）（既出 D-①-18）

5-3-12-3 2016 年度東海大学大学院春学期一般・社会人特別入学試験要項（既出 E-18）

5-3-12-4 大学基礎データ 2016 新表 4_学部・学科、大学院研究科、専門職大学院等の学生定員及び在籍学生数（既出 E-30）

〔3-13〕工学研究科

5-3-13-1 2016 年度東海大学大学院要項（Ⅱ）（既出 A-37）

5-3-13-2 東海大学オフィシャルサイト アドミッション・ポリシー（既出 E-17）

5-3-13-3 2016 年度東海大学大学院 工学研究科春学期一般・社会人特別（第2期）入学試験要項（既出 E-21）

5-3-13-4 東海大学オフィシャルサイト 入試情報（既出 E-24）

5-3-13-5 東海大学オフィシャルサイト 英字サイト（既出 E-28）

第5章 学生の受け入れ

- 5-3-13-6 2016 年度東海大学大学院推薦入学試験要項（既出 E-22、23）
- 5-3-13-7 2015 年度大学院入学試験問題の 1 例
- 5-3-13-8 2016 年度東海大学大学院入試要項 秋学期国際方式入学試験
- 5-3-13-9 大学基礎データ 2016 新表 3_学部・学科、大学院研究科、専門職大学院の志願者・合格者・入学者の推移（既出 E-29）
- 5-3-13-10 工学研究科推薦入試改革案

〔3-14〕情報通信学研究科

- 5-3-14-1 東海大学 大学院ガイド 2016（既出 A-13）
- 5-3-14-2 東海大学オフィシャルサイト アドミッション・ポリシー（既出 E-17）
- 5-3-14-3 2016 年度東海大学大学院春学期一般・社会人特別入学試験要項（既出 E-18）
- 5-3-14-4 2016 年度東海大学大学院春学期推薦入学試験要項（既出 E-19）
- 5-3-14-5 2016 年度東海大学大学院秋学期一般・社会人特別入学試験要項（既出 E-20）
- 5-3-14-6 2016 年度東海大学大学院秋学期推薦入学試験要項（既出 E-23）
- 5-3-14-7 東海大学の障がい学生支援に関する取り組みについて（既出 E-25）
- 5-3-14-8 東海大学オフィシャルサイト 入試情報（既出 E-24）
- 5-3-14-9 東海大学オフィシャルサイト 英字サイト（既出 E-28）
- 5-3-14-10 2016 年度情報通信学研究科・情報通信学部 各種委員一覧（既出 1-2-10-7）
- 5-3-14-11 大学基礎データ 2016 新表 4_学部・学科、大学院研究科、専門職大学院等の学生定員及び在籍学生数（既出 E-30）

〔3-15〕海洋学研究科

- 5-3-15-1 東海大学オフィシャルサイト アドミッション・ポリシー（既出 E-17）
- 5-3-15-2 2016 年度 東海大学大学院ガイド（既出 A-13）
- 5-3-15-3 大学院入学試験要項（既出 E-18、E-19、E-20、E-23）
- 5-3-15-4 東海大学の障がい学生支援に関する取り組みについて（既出 E-25）
- 5-3-15-5 大学基礎データ 2016 新表 3_学部・学科、大学院研究科、専門職大学院の志願者・合格者・入学者の推移（既出 E-29）
- 5-3-15-6 大学基礎データ 2016 新表 4_学部・学科、大学院研究科、専門職大学院等の学生定員及び在籍学生数（既出 E-30）

〔3-16〕医学研究科

- 5-3-16-1 東海大学オフィシャルサイト アドミッション・ポリシー（既出 E-17）
- 5-3-16-2 2016 年度東海大学大学院春学期一般・社会人特別入学試験要項（既出 E-18）
- 5-3-16-3 2016 年度東海大学大学院秋学期一般・社会人特別入学試験要項（既出 E-20）
- 5-3-16-4 東海大学オフィシャルサイト 入試情報（既出 E-24）
- 5-3-16-5 東海大学の障がい学生支援に関する取り組みについて（既出 E-25）
- 5-3-16-6 東海大学大学院ガイド（既出 A-13）

第5章 学生の受け入れ

- 5-3-16-7 大学基礎データ 2016 新表 4_学部・学科、大学院研究科、専門職大学院等の学生定員及び在籍学生数（既出 E-30）
- 5-3-16-8 2016 年 5 月時点 研究科別大学院在籍人数表（留学生）
- 5-3-16-9 東海大学大学院医学研究科ホームページ（既出 1-3-16-7）

〔3-17〕健康科学研究科

- 5-3-17-1 東海大学オフィシャルサイト アドミッション・ポリシー（既出 E-17）
- 5-3-17-2 2016 年度 東海大学大学院ガイド（既出 A-13）
- 5-3-17-3 2016 年度東海大学大学院春学期一般・社会人特別入学試験要項（既出 E-18）
- 5-3-17-4 2016 年度東海大学大学院春学期推薦入学試験要項（既出 E-19）
- 5-3-17-5 2015 年度東海大学大学院秋学期一般・社会人特別入学試験要項（既出 E-20）
- 5-3-17-6 2016 年度東海大学大学院秋学期推薦入学試験要項（既出 E-23）
- 5-3-17-7 東海大学オフィシャルサイト 大学院入学試験 健康科学研究科 http://www.u-tokai.ac.jp/prospective_students/admission_app/examination_about/graduate/ml5.html
- 5-3-17-8 大学基礎データ 2016 新表 4_学部・学科、大学院研究科、専門職大学院等の学生定員及び在籍学生数（既出 E-30）
- 5-3-17-9 大学基礎データ 2016 新表 3_学部・学科、大学院研究科、専門職大学院の志願者・合格者・入学者の推移（既出 E-29）
- 5-3-17-10 「社会人推薦入試」案内パンフレット
- 5-3-17-11 東海大学 2014 年度大学基礎データ 表 18_大学院研究科の学生定員及び在籍学生数
- 5-3-17-12 東海大学 2015 年度大学基礎データ 新表 4_学部・学科、大学院研究科、専門職大学院等の学生定員及び在籍学生数

〔3-18〕産業工学研究科

- 5-3-18-1 東海大学オフィシャルサイト アドミッション・ポリシー（既出 E-17）
- 5-3-18-2 2016 年度 東海大学大学院ガイド（既出 A-13）
- 5-3-18-3 東海大学オフィシャルサイト 入試情報（既出 E-24）
- 5-3-18-4 2016 年度東海大学大学院春学期推薦入学試験要項（既出 E-19）
- 5-3-18-5 2016 年度東海大学大学院秋学期推薦入学試験要項（既出 E-22）
- 5-3-18-6 2016 年度東海大学大学院春学期一般・社会人特別入学試験要項（既出 E-18）
- 5-3-18-7 2015 年度東海大学大学院秋学期一般・社会人特別入学試験要項（既出 E-20）
- 5-3-18-8 東海大学 入試情報 2016（既出 A-38）
- 5-3-18-9 大学基礎データ 2016 新表 3_学部・学科、大学院研究科、専門職大学院の志願者・合格者・入学者の推移（既出 E-29）

第5章 学生の受け入れ

〔3-19〕 農学研究科

- 5-3-19-1 東海大学大学院学則（既出 A-7）
- 5-3-19-2 2016 年度東海大学大学院ガイド（既出 A-13）
- 5-3-19-3 東海大学オフィシャルサイト アドミッション・ポリシー（既出 E-17）
- 5-3-19-4 大学院入学試験要項（既出 E-18～E-20, E-23）
- 5-3-19-5 東海大学オフィシャルサイト 入試情報（既出 E-28）
- 5-3-19-6 大学基礎データ 2016 新表 4_学部・学科、大学院研究科、専門職大学院等の学生定員及び在籍学生数（既出 E-30）
- 5-3-19-7 大学基礎データ 2016 新表 3_学部・学科、大学院研究科、専門職大学院の志願者・合格者・入学者の推移（既出 E-29）
- 5-3-19-8 2016 年度第2回農学研究科教授会議事録
- 5-3-19-9 2016 年度第2回農学研究科教授会資料3（2016 年度農学研究科教員名簿）